

# 万引き被疑者・万引き被害店舗 アンケート調査結果

その万引き



見てくださいよ

愛知県警察・愛知県万引防止対策協議会

愛知県警察本部  
生活安全部地域安全対策課

## 万引き被疑者及び万引き被害店舗を対象としたアンケート調査の実施結果

### 1 アンケート調査実施の目的

愛知県内における万引きの発生状況は、昨年8,162件で前年に比べて僅かながら減少しましたが、これまでは増加の一途をたどっており、10年前と比べて約2.5倍となり刑法犯認知件数を底上げしている状況にあります。

また、検挙被疑者は少年から高齢者に至るまで幅広く、社会の規範意識の低下が指摘されるとともに、被害者である各種販売店に深刻な打撃を与えていることから、今後の万引き防止対策に資することを目的として、被疑者・被害者双方を対象に「万引きに対する意識」についてアンケート調査を実施しました。

### 2 アンケート調査の概要

#### (1) 万引き被疑者を対象としたアンケート調査

##### ア 調査期間

平成22年6月～9月及び11月～12月

##### イ 対象者

上記調査期間中に検挙した万引き被疑者（14歳未満の少年を除く。）

##### ウ サンプル数

- 少年（14歳～19歳）・・・276人
- 中間層（20歳～64歳）・・・490人
- 高齢者（65歳以上）・・・234人      合計1,000人

#### (2) 万引き被害者（販売店管理者等）を対象としたアンケート調査

##### ア 調査期間

平成22年7月～12月

##### イ 対象事業者

県内に所在のショッピングセンター30店舗、スーパー69店舗、家電量販店39店舗、ホームセンター39店舗、ドラッグストア42店舗、コンビニエンスストア100店舗、書店99店舗、百貨店104店舗

##### ウ サンプル数

522店舗

### 3 分析結果

被疑者、被害者双方のアンケートを分析した結果は別添のとおりです。

## 目 次

第1	アンケート調査・分析結果まとめ	
	【被疑者】	1
	1 少年 2 中間層 3 高齢者	
	【被害者】	3
	【今後の課題】	4
第2	被疑者調査・結果の概要	5
	1 少年 2 中間層 3 高齢者	
第3	アンケート結果	
1	対象者	8
	【年齢】【男女別】【国籍】【職業】	
2	生活状況	9
	【同居者】【配偶者】【資産】【収入】【生活保護】【借金】【交友関係】 【素行不良社との交友】【相談できる者】【健康状態】	
3	犯行の態様	13
	【場所】【時間帯】【目的物】【被害額】【共犯者】【共犯関係】【計画性】 【バッグ使用の有無】【行為目的】【売却の場合の売却先】	
4	動機、原因等	16
	【心理的背景】【店舗の選定理由】【時間帯の選定理由】 【どうしたら万引きを断念したか】【犯行時の所持金】	
5	規範意識等	19
	【規範意識】【万引きが犯罪であることの認識】 【万引きが犯罪であることの教示元】【今の気持ち】	
6	社会的支援等	21
	【社会的支援～今後受けたい支援】【生き甲斐～こころの支えは何か】	
7	常習性	23
	【万引きをして見つからなかったことの有無】 【万引きをして警察に通報されなかったことの有無】【犯歴】 【初犯万引きの検挙処分結果】【処分に対する感想】 【モラルに対する意識】【今後の自己展望】	
8	少年項目	26
	(1) 学識【学識】	
	(2) 家庭環境【保護者の状況】【保護者との関係】【兄弟の状況】 【兄弟との関係】	
	(3) 金銭関係【小遣い金額】【小遣いの使い道】	
	(4) 養育関係【保護者の接し方】【躰】【保護者に期待すること】	

第4	被害者（販売店、管理者等）調査・結果の概要	29
1	ショッピングセンター	
2	スーパー	
3	家電量販店	
4	ホームセンター	
5	ドラッグストア	
6	コンビニ	
7	書店	
8	百貨店	
第5	アンケート結果	
1	影響	30
	【万引き被害の影響】	
2	意識	31
	【万引き犯への意識（処罰意思）】【万引き被害の損害賠償請求への意識】	
3	対応要領	34
	【不審な来店客に対する対応】	
4	防犯対策	37
	【ハード面の防犯対策】【ソフト面の防犯対策】	
5	在庫確認	43
	【在庫確認の頻度】	
6	警察への届出	43
	【万引き被害の届出状況】【万引き犯人を捕まえたときの届出状況】	
7	届出しない理由	44
	【届出しない理由】	
8	通報基準	47
	【万引き犯人を捕まえた時の警察への通報基準】	
9	事件処理時間	50
	【今までに万引き犯人を警察に通報した場合の事件処理平均時間】	
	【万引き犯人を警察に通報した場合の事件処理許容時間】	
その他資料		
	万引き被疑者に関するアンケート用紙	52
	万引き被害者に関するアンケート用紙	55

# 第1 アンケート調査・分析結果まとめ

## 【被疑者】

### 1 少年（14歳～19歳、男性184人、女性92人、合計276人）

- 少年層の被疑者は、「横のつながり」により万引きに手を染めていることがうかがわれる。
  - ・ **「素行不良者との交友」** ……中間層、高齢者がそれぞれ3.5%、1.3%であったのに、**少年は25.4%**であった。
  - ・ **「共犯」** ……「共犯者の有無」に関する質問に対して中間層、高齢者がそれぞれ3.3%、0.4%が共犯者有りであったのに対して、**少年は40.6%**が「共犯者有り」であった。
  
- 少年層の被疑者は、他の年齢層に比べて「規範意識の低さ」が窺われる。
  - ・ **「ゲーム感覚」** ……中間層、高齢者がそれぞれ0.8%、0.0%であったのに、**少年は8.4%**であった。
  - ・ **「捕まらない」** ……「万引きをしても捕まらない」と考えていた者の割合が、中間層、高齢者がそれぞれ10.4%、9.4%であったのに、**少年は28.3%**であった。
  - ・ **「運が悪かった」** ……万引き犯人として検挙された被疑少年に現在の気持ちについて質問したところ、**「運が悪かった」**を選択した者が**36.2%**で中間層(20.8%)、高齢者(23.9%)に比べて多数を占めた。
  
- 犯行場所は、「量販店」と「コンビニ」の割合が高い。
  - ・ 犯行場所は、**「量販店」と「コンビニ」**で**全体の50.0%**となり、中間層(27.8%)、高齢者(13.7%)に比べて占有率が高かった。
  
- 店員による声かけが万引きの防止に最も有効である。
  - ・ **「どうしたら万引きを断念したか」** ……店員による声掛け、警備員の巡回で**87.5%**を占める。

## 2 中間層（20歳～64歳、男性309人、女性181人、合計490人）

- 生活困窮者による犯行が多数を占める。
  - ・ 「非定職者」…「無職」「パート、アルバイト」が333人で全体の68.0%を占めた。
  - ・ 「資産、収入なし」…「中間層」であるにもかかわらず、「資産なし」が63.5%、「収入なし、月収10万円以下」が65.7%を占めた。
  - ・ 「社会的支援」…「就労」が24.5%と他の世代に比べ多かった。
- 犯行動機は「生活が苦しい」が他の年代より割合が多い
  - ・ 犯行動機は「お金を使いたくなかった」が最も多く、その理由は「生活が苦しい」が38.9%と他の世代に比べ多かった。

## 3 高齢者（65歳以上、男性107人、女性127人、合計234人）

- 衝動的に犯行に及んでいることがうかがわれる。
  - ・ 「計画性が低い」…「計画性あり」を選択した者が10.3%で少年(29.0%)、中間層(18.6%)に比べて少なかった。
  - ・ 「店舗の選定理由はなし」…「店舗を選定した理由」は「理由なし」が最も多く(74.4%)、「店員、警備員が少ない」「防犯カメラがない」「死角がない」を選択した者が合計4.3%で少年(21.2%)、中間層(11.3%)に比べて少なかった。
- 犯行動機は「お金がもったいない」が一番多い。
  - ・ 「お金がもったいない」…犯行動機(複数回答)は、「お金を使いたくなかった」を選択した者が74.7%で最も多く、少年79.2%、中間層75.3%とそれほど隔たりはなかった。

また、高齢者の「お金を使いたくなかった」の理由の内訳では、「お金がもったいない」が70.7%で一番多かった。
  - ・ 「孤独」はわずか…「孤独」を理由に犯行に及んでいる者は12.4%で中間層10.6%とそれほど隔たりはなかった。
- 店員による声かけが万引きの防止に最も有効である。
  - ・ 「どうしたら万引きを断念したか」…店員による声掛けが最も多く(72.6%)、警備員の巡回も含めると89.2%になる。

## 【被害者】

### ○ 万引き被害は「死活問題」

いずれの業界も万引き被害を死活問題と捉えている。

### ○ 万引き犯は絶対に許せないとの店舗が約8割

「万引きは絶対に許せない」と考えている店舗が全体の80.1%であった。一方、一部の店舗(6.9%)では、「弁償してくれれば大げさにしたくない」との意見もあり、警察への届出に消極的な店舗も見受けられた。

### ○ 万引き犯への損害賠償請求は増える傾向に！

万引き犯への損害賠償請求は、アンケート調査実施時点でスーパー、書店、家電量販店を中心に全体の10.1%であったが、「請求を検討している」と回答した店舗が28.5%あり、今後、万引き犯に対して損害賠償請求をする店舗が増加するものと思われる。

### ○ 防犯対策の中心は防犯カメラ

防犯対策面では、**防犯カメラを設置している店舗が全体で75.3%**で一番多かった。但し、ショッピングセンター、ホームセンター及びドラッグストアが100%設置されているのに対して**書店(58.6%)**及び**百貨店(31.7%)**においては防犯カメラが設置されている割合が低く、更なる防犯設備の充実を促進していく必要がある。

### ○ 「警察への届出」は業種によって隔たり有り

・ **「被害の全件届出」**・・・ショッピングセンター、スーパー及び家電量販店はそれぞれ28.6%、30.9%、30.8%と3割前後であるが、ドラッグストア、書店は、9.5%、7.6%と**業種間で隔たり**が大きかった。

・ **「犯人検挙時の全件届出」**・・・家電量販店76.3%の他、ドラッグストア66.7%、スーパー59.4%、ホームセンター59.0%が5割以上の店舗で全件届出がされていた。一方、**百貨店では**、犯人を検挙した47店舗中、24店舗(51.1%)において届出の割合が2割以下であったなど、他の業種に比べて**届出率が低かった**。

犯人を検挙したものの届出をしなかった店舗において届出をしなかった理由(複数回答)は、「**時間がかかる**」が多数意見を占めるが、「**書店**」では、「**時間がかかる**」は29店舗(58.0%)で、「**処理対応店員の代替者がいない**」を選択した店舗が35店舗(70.0%)で最も多く、**届出をしたくても**

**きないという現状にある**との結果が出た。

○ **事件処理時間は短時間で！**

過去、警察に通報した際の事件処理時間は、1時間以内が22.0%、2時間以内では62.9%という結果であったが、「事件処理許容時間」となると1時間以内が59.9%、2時間以内が85.7%となり、**事件処理時間の短縮を希望**している状況がうかがえた。

## 【今後の課題】

○ **規範意識の醸成**

少年層に対しては、「**規範意識の醸成**」が最大のポイントである。家庭教育、学校教育、非行防止教室等あらゆる機会を捉えて、繰り返し「万引き防止」を訴えていく必要がある。

一方、中間層及び高齢者層についてもあらゆる機会を通じて「万引きが犯罪であること」を認識させ、社会全体で規範意識を高めていく必要がある。

○ **狙われない店舗作り**

被害店舗側については店舗の規模、防犯設備など千差万別であることから、各店舗においてソフト面の防犯対策、ハード面の防犯対策について出来ること、しなければならぬことを検討し、**万引きのやりにくい店舗づくり**を行う必要がある。

また、衝動的に犯行に及ぶケースが多いことから、各店舗において犯行を思い止まるような効果的な広報が必要である。

一例として、アンケート結果からもわかるとおり、店員による積極的な声掛けは最も効果のある未然防止対策であるので、より一層の店舗に対する周知と取り組みが必要である。

○ **届出の徹底**

「事件処理時間の短縮」が第一である。一部の捜査書類が簡略化されたのも被害店舗側の負担を軽減するためのものであるが、**警察官個々人の捜査能力の向上も必須**である。

また、本アンケート調査は、書類の簡素化がなされる前に実施したものであり、それ以降、店舗側も対応が変わっているものであるが、引き続き店舗側の理解と届出の徹底を働きかける必要がある。

## 第2 被疑者調査・結果の概要

### 1 少年

#### (1) 生活状況

- 学生が80.1%と多く、うち高校生が44.2%、中学生が29.7%を占めている。
- 交友関係が「多い」と答えた者が半数(54.6%)を超え、他の世代(中間層6.6%、高齢者5.6%)と比べて圧倒的に多い。
- 7割以上に両親がおり、関係も「良い」ないし「普通」であるとの回答が8割以上であるとともに、約9割に兄弟がおり、関係も「良い」ないし「普通」との回答が約9割を占めており、家庭環境を問題視している少年は少ない。
- 保護者の接し方や躰について、多数が「普通」と回答しており、保護者に期待することについても「なし」が圧倒的多数であり、家庭を問題視している少年は少ない。

#### (2) 犯行の態様

- 犯行場所は量販店(家電、ホームセンターなど)が最も多い。(他の世代はスーパーが最も多い。)
- 午後1時以降の犯行が88.8%を占め、最も多い時間帯は午後4時から午後7時までの34.1%である。
- 親の監護があるため、他の世代では比率の高い「食料品」が高くなく、被害品は多岐にわたる。
- 共犯での犯行が40.6%と他の世代(中間層3.3%、高齢者0.4%)に比べ圧倒的に多い。
- 行為目的は他の世代と同様、自己消費が96.4%と圧倒的に多い。

#### (3) 動機、原因

- 「お金を使いたくなかった」と答えた者が217人おり、その理由では「もったいない」が91.7%(無回答13人を除く。)と多く、生活苦や生活不安ではない。
- 店員等の少なさや死角の多さを店舗選定理由に挙げている割合が他の世代に比べて多いが、多くは「理由なし」と答えている。
- 犯行時間帯の選定理由は、他の世代に比べて、より多くの者が「理由なし」と答えている。
- 店員等からの声掛けや警備員の巡回があれば犯行を断念すると理由に挙げている者が87.5%と多数を占めている。

#### (4) 規範意識

- 万引きについて、「悪いことではない」、「捕まらない」、「弁償で済む」、「将来に影響ない」という規範意識の低さをうかがわせる回答が36.6%を占め、他の世代(中間層22.8%、高齢者27.8%)に比べて多かった。
- 万引きが犯罪であることの教示元は「学校」が45.4%を占め、他の世代(中間層19.9%、高齢者10.6%)より多い。また、「家庭」が41.0%を占めているが、他の世代(中間層33.8%、高齢者31.7%)と大きな差は見られなかった。
- 検挙された際の気持ちについて「運が悪かった」と答えた者は36.2%を占め、他の世代(中間層20.8%、高齢者23.9%)に比べ多かった。

#### (5) 社会的支援

- 受けたい社会的支援は「なし」が圧倒的に多い。
- 生き甲斐について「なし」が31.4%で最も多く、次いで「家族」21.9%、「人との触れ合い」21.5%、「趣味」19.3%となっている。

#### (6) 常習性

- 過去に「万引きをして見つからなかった」との回答が42.4%で他の世代(中間層34.1%、高齢者25.6%)に比べて多かった。
- 再犯者42人のうち、初犯が万引きであったものは27人であった。

- 今後の自己展望では、「努力して立ち直りたい」が 65.4%と最も多かったが、「ある程度の年齢になったら考えると思う」、「またやってしまうかもしれない」がともに 15.4%と他の世代に比べて多かった。

## 2 中間層

### (1) 生活状況

- 職業では「無職」が 56.7%で最も多く、次いで「会社員」16.5%、「パート・アルバイト」が 11.2%となっている。
- 独身者が 69.2%、独居者が 37.3%である。
- 資産のない者が 63.5%、収入のない者が 45.7%である。
- 友人が「少ない」、「ほとんどいない」が 93.4%である。

### (2) 犯行の態様

- 場所はスーパーが 50.8%で最も多い。
- 時間帯は午後 1時から午後 4時までが 30.4%で最も多く、次いで午前 10時から午後 1時まで 26.3%、午後 4時から午後 7時まで 25.7%となっている。
- 目的物は食料品が 58.2%で最も多い。
- 共犯関係は少なく、96.7%が単独の犯行である。

### (3) 動機、原因

- 「お金を使いたくなかった」と答えた者が 368 人と最も多く、その理由では「もったいない」が 56.3%、「生活が苦しい」が 38.9%となっている。
- 店舗選定理由は「理由なし」が 66.7%と最も多い。
- 時間帯の選定理由では、「理由なし」が 71.1%と最も多いが、次いで「いつも買い物をする時間帯」が 15.2%である。

### (4) 規範意識

- 「何も考えていない」が 43.8%と最も多かった。
- 万引きが犯罪であることの教示元は、「家庭」が 33.8%で最も多く、次いで「学校」19.9%、「新聞、テレビ」18.4%となっている。
- 今の気持ちでは特に回答に偏りはなかった。

### (5) 社会的支援

- 受けたい社会的支援では「なし」が 59.8%と最も多いが、「就労」では 24.5%と他の世代（少年 6.3%、高齢者 2.6%）と比べ多かった。
- 生き甲斐では「なし」44.6%と「家族」33.8%に回答が偏っていた。

### (6) 常習性

- 再犯者 164 人のうち、初犯が万引きであったものは 132 人で 80.5%を占める。
- 初犯が万引きの場合の処分結果では「微罪処分」が 56.8%と最も多い。「懲役」や「罰金」の有罪処分は 15.2%であった。
- 今後の自己展望については、「努力して立ち直りたい」が 77.3%と多数を占めた。

## 3 高齢者

### (1) 生活状況

- 無職が 92.7%と多数を占める。
- 資産のある者が 55.1%と半数以上を占める。
- 収入のない者が 41.4%を占めている。
- 交友関係が「少ない」、「ほとんどいない」と答えた者が 94.4%と大多数である。
- 相談できる者がいると答えた者は 64.1%であるが、他の世代（少年 89.5%、中間層 65.3%）と比べるとやや少ない。
- 健康状態が「不健康」と答えた者が 24.8%と、他の世代（少年 2.2%、中間層 17.1%）と比べ多かった。

### (2) 犯行の態様

- 犯行場所は「スーパー」が 67.9%と最も多く、他の世代（少年 21.4%、中間層 50.8%）と比べても最も多い。

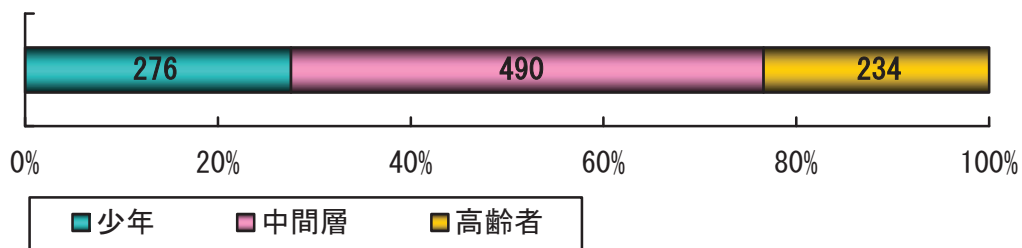
- 時間帯は午前 10 時から午後 1 時までが 38.5%と最も多く、他の世代(少年 9.8%、中間層 26.3%)と比べても最も多い。
  - 目的物は「食料品」が 73.1%と最も多く、他の世代(少年 28.6%、中間層 58.2%)と比べても最も多い。
  - 被害金額はほぼ半数の 49.6%が 1,000 円以下と少額である。
  - 計画性は、「あり」が 10.3%で他の世代(少年 29.0%、中間層 18.6%)に比べて少ない。
- (3) 動機、原因
- 「生き甲斐がない」(5.6%)、「孤独」(12.4%)と答えた者が他の世代(少年：前者 1.5%、後者 2.9%・中間層：前者 4.5%、後者 10.6%)と比べて多い。
  - 「生き甲斐がない」の内訳では「スリル、刺激が欲しい」が 76.9%を占める。
  - 「孤独」の内訳では「金銭面で不安」が 51.7%で最も多く、次いで「孤独を紛らわすため」37.9%となっている。
  - 店舗選定理由は「理由なし」が 74.4%で最も多く、他の世代(少年 56.8%、中間層 66.7%)と比べても多い。
  - 時間選定理由は「いつも買い物をする時間帯」が 21.4%を占め、他の世代(少年 5.1%、中間層 15.2%)と比べて多い。
  - 犯行時の所持金は「あり」が 90.2%で、他の世代(少年 77.2%、中間層 74.5%)と比べて多い。
- (4) 規範意識
- 「何も考えていない」が 41.5%で最も多く、次いで「厳しく処罰される」29.5%、「弁償で済む」15.0%となっている。なかでも「弁償で済む」は他の世代(少年 5.8%、中間層 7.5%)と比べて多い。
  - 万引きが犯罪であることの教示元について、他の世代と比べて「学校」より「家庭」と答える者が多い。
- (5) 社会的支援
- 受けたい社会的支援では「生活保護」(15.3%)、「介護」(6.6%)と答えた者が他の世代(少年：前後者とも 0.0%・中間層：前者 12.4%、後者 0.6%)と比べ多い。
  - 生き甲斐は「家族」と答えた者が 33.6%と最も多かったが、一方で「なし」と答えた者が 48.0%と、他の世代(少年 31.4%、中間層 44.6%)と比べ多い。
- (6) 常習性
- 再犯者 73 人のうち、初犯が万引きであったものは 65 人で 89.0%を占める。
  - 今後の自己展望では「どうなっても構わない」が 16.4%と、他の世代(少年 3.8%、中間層 6.2%)と比べ多い。

### 第3 アンケート結果

#### 1 対象者

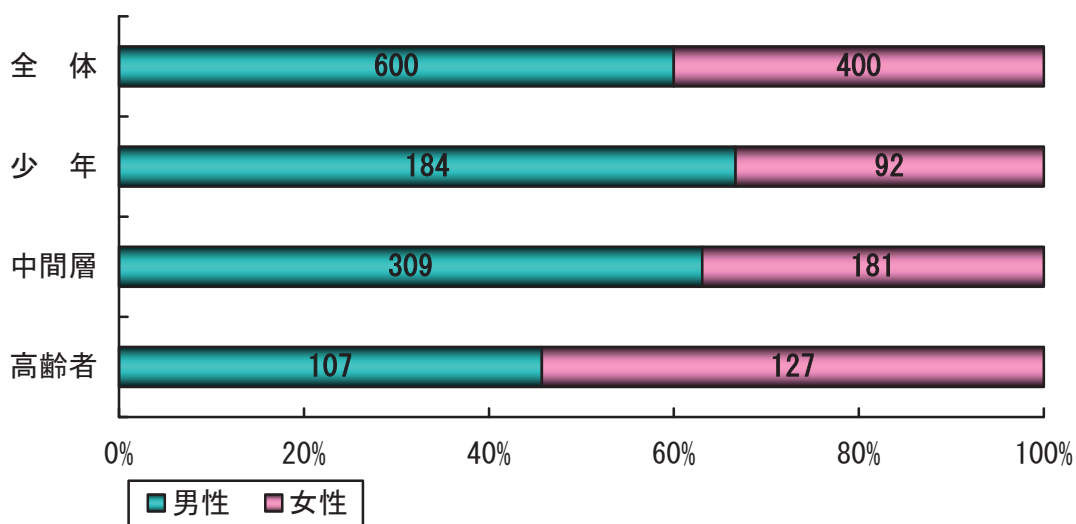
【年齢】(回答者数:1,000人)

平成22年中の検挙人員の世代別割合(少年26.6%、中間層50.3%、高齢者23.2%)と概ね合致する調査対象となっている。



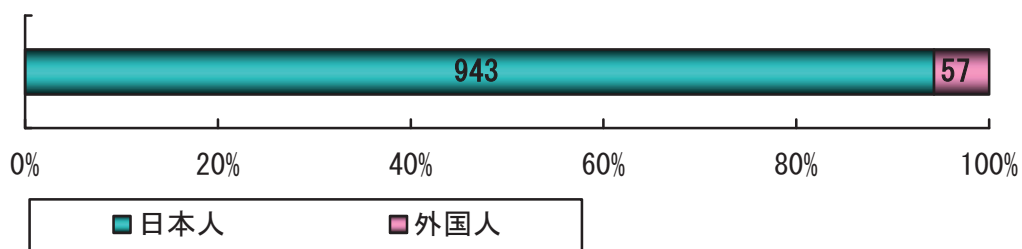
【男女別】(回答者数:1,000人)

全体ではやや男性の割合が多いが、高齢者では男性より女性の割合が上回っている。



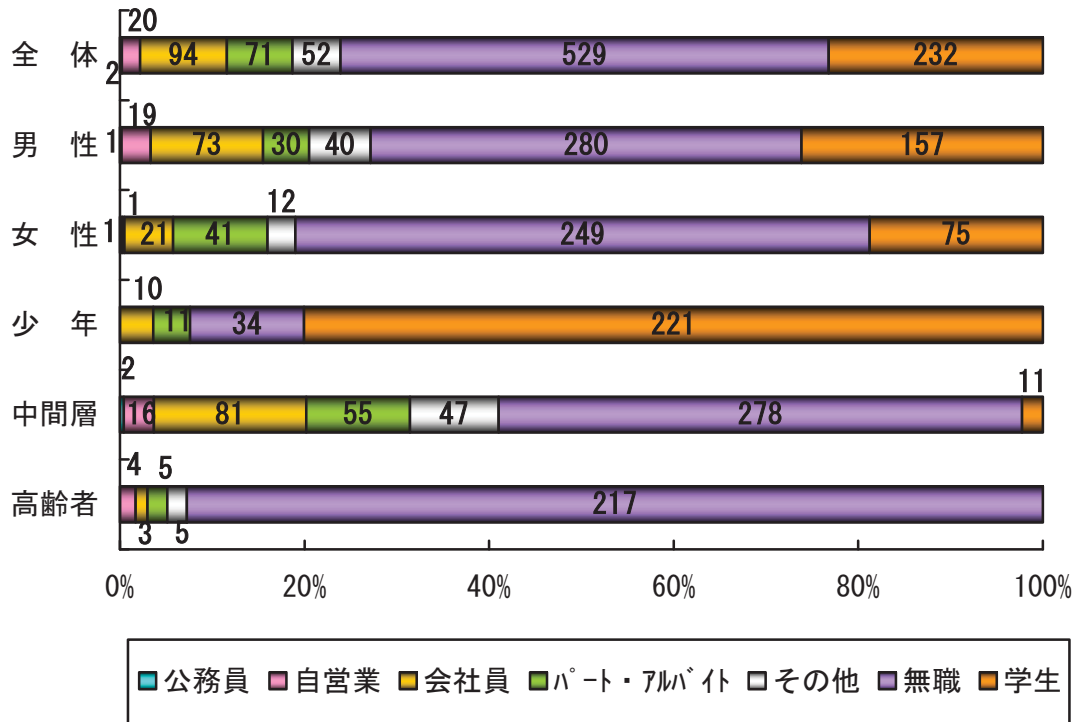
【国籍】(回答者数:1,000人)

ほぼ日本人(94.3%)で占められている。外国人では多い国で中国(1.7%)、ベトナム(1.7%)、韓国(1.0%)のほか、少数でペルー、ブラジル、フィリピンなどがある。



【職業】（回答者数：1,000人）

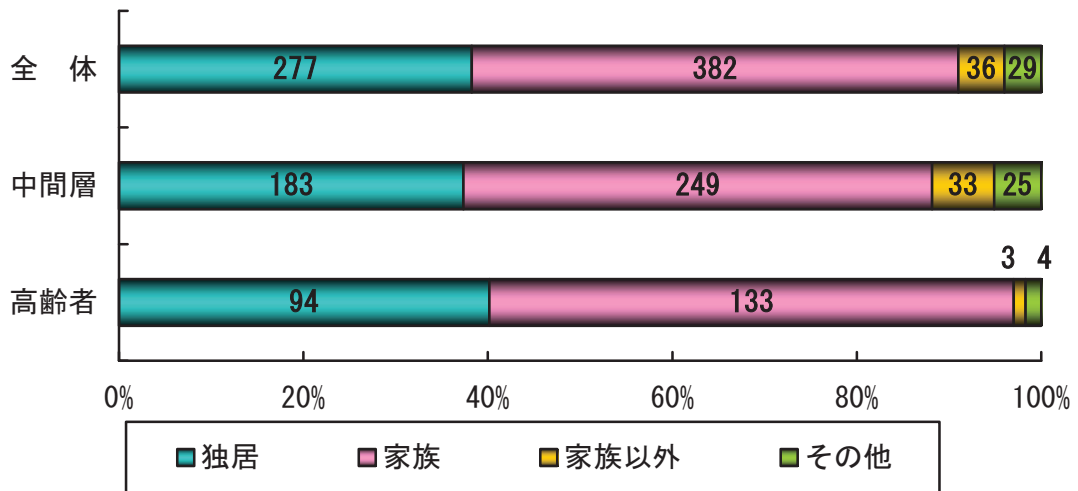
全体では76.1%が無職又は学生であった。男女別では女性の無職の割合が多い。



## 2 生活状況

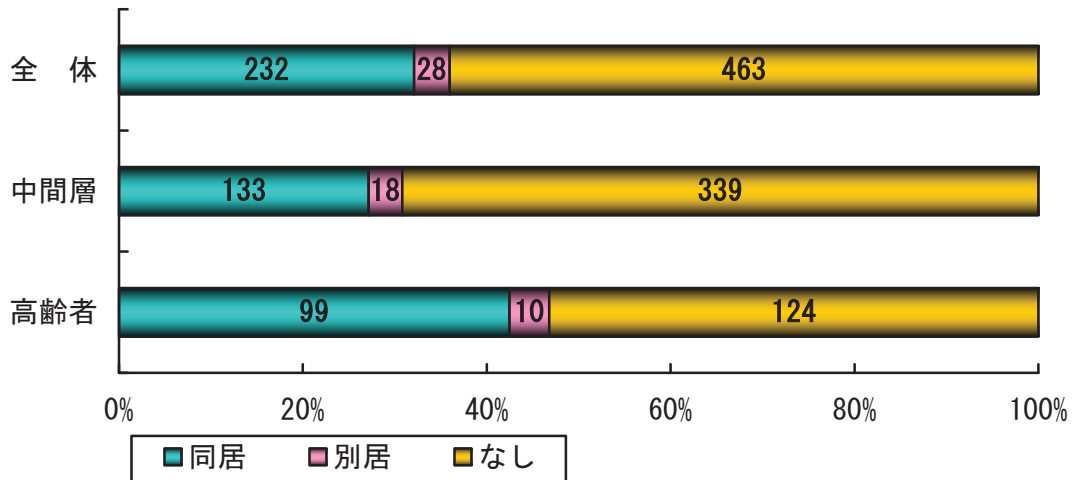
【同居者】（回答者数：724人）（内訳 中間層：490人 高齢者：234人）

独居の者が38.3%、家族と同居が52.8%であった。



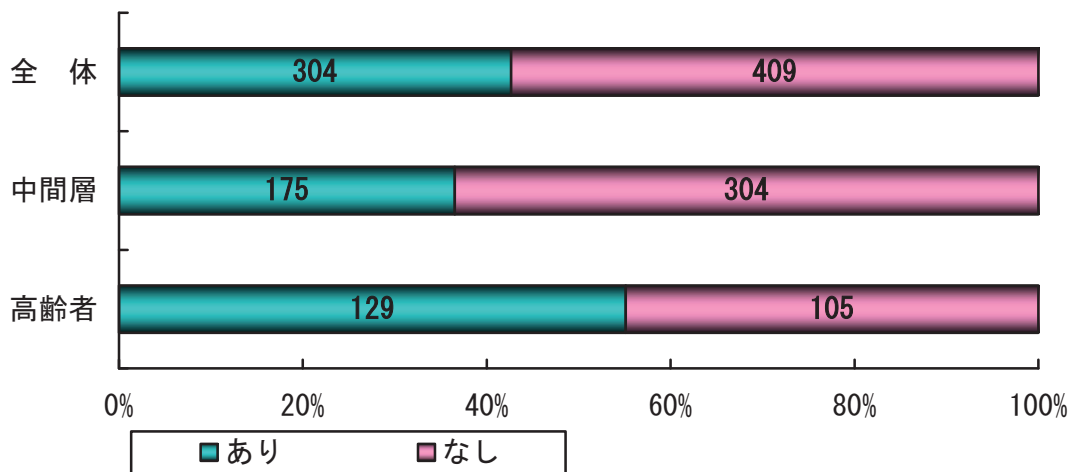
【配偶者】（回答者数：723人）（内訳 中間層：490人 高齢者：233人）

「なし」がいずれも過半数（全体 64.0%、中間層 69.2%、高齢者 53.2%）を占める。



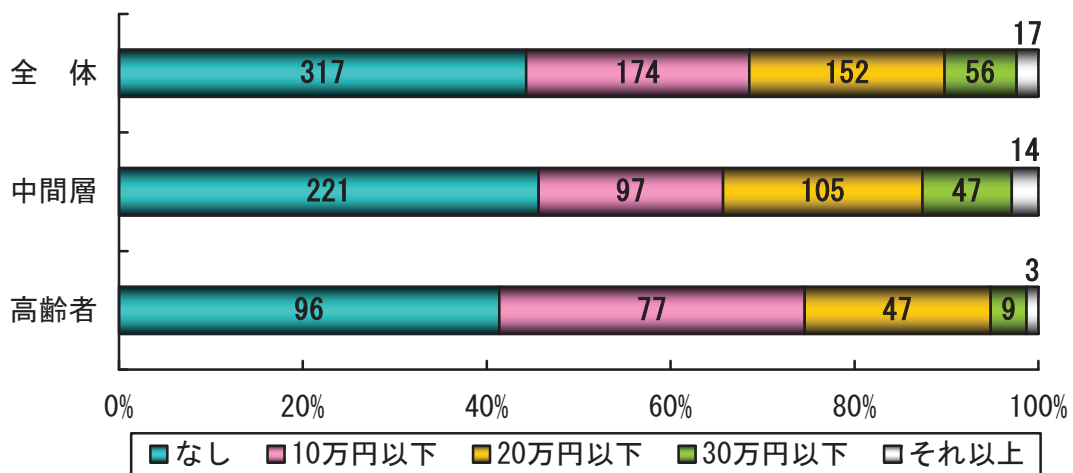
【資産】（回答者数：713人）（内訳 中間層：479人 高齢者：234人）

「なし」が過半数（57.4%）を占めている。

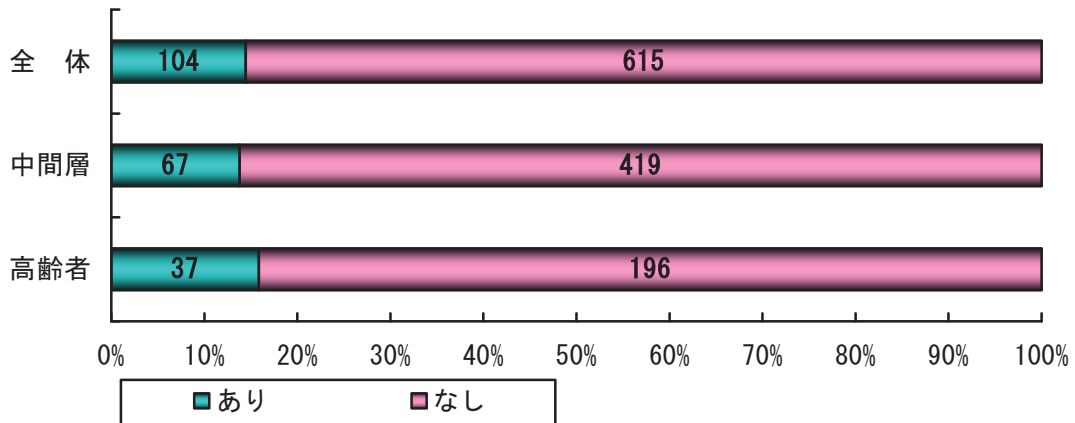


【収入】（回答者数：716人）（内訳 中間層：484人 高齢者：232人）

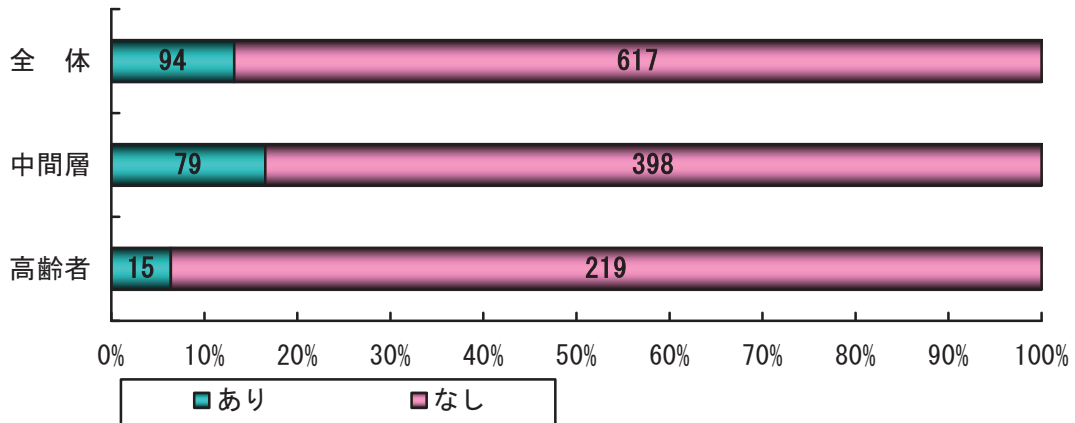
「なし」が44.3%を占めている。



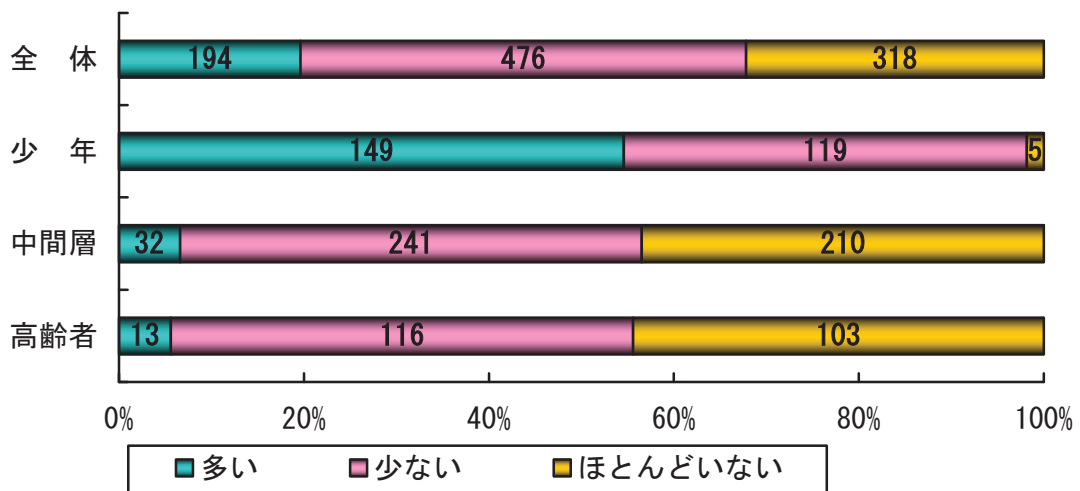
【生活保護】(回答者数:719人)(内訳 中間層:486人 高齢者:233人)  
 「なし」が85.5%を占めている。



【借金】(回答者数:711人)(内訳 中間層:477人 高齢者:234人)  
 「なし」が86.8%を占めている。

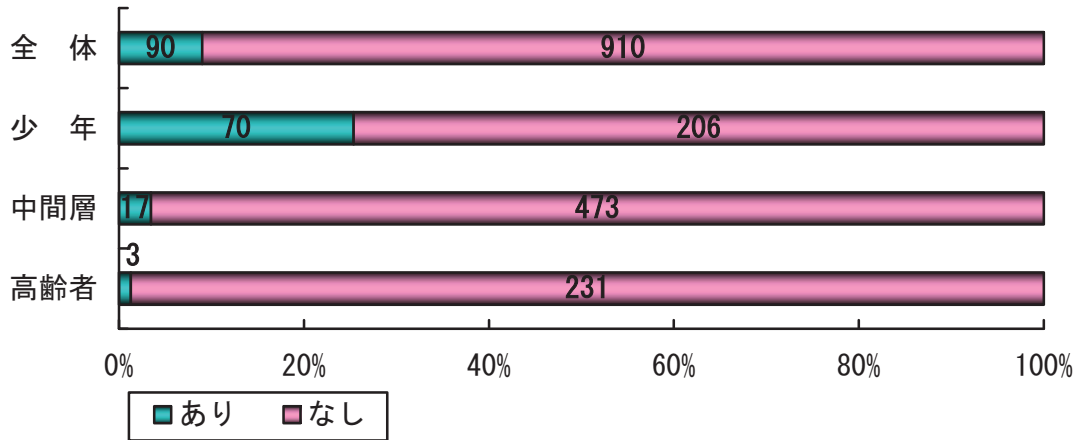


【交友関係】(回答者数:988人)(内訳 少年:273人 中間層:483人 高齢者:232人)  
 少年を除いては交友関係が少ないものが圧倒的多数である。



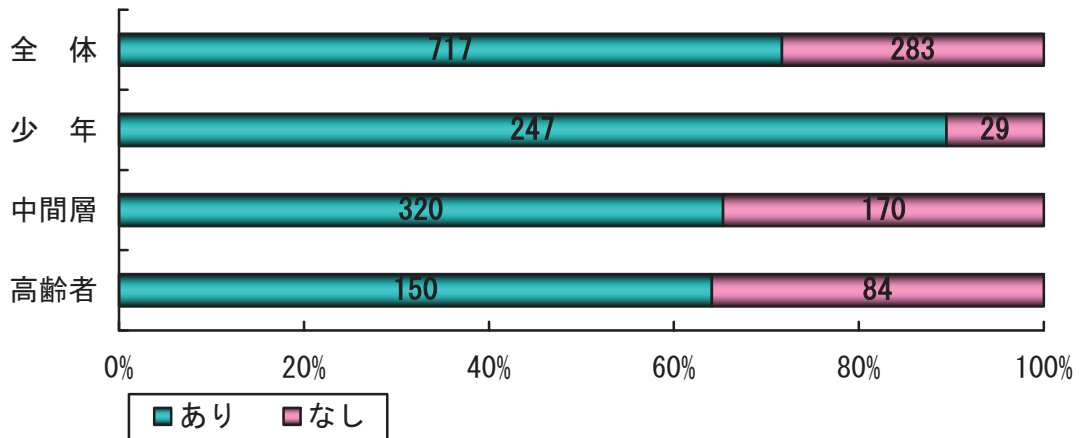
【素行不良者との交友】(回答者数:1,000人)

全体では「なし」が91.0%と多いが、少年では「あり」の割合が25.4%と多い。「あり」の大多数が「不良仲間」で「暴走族」や「暴力団関係者」はごく少数であった。



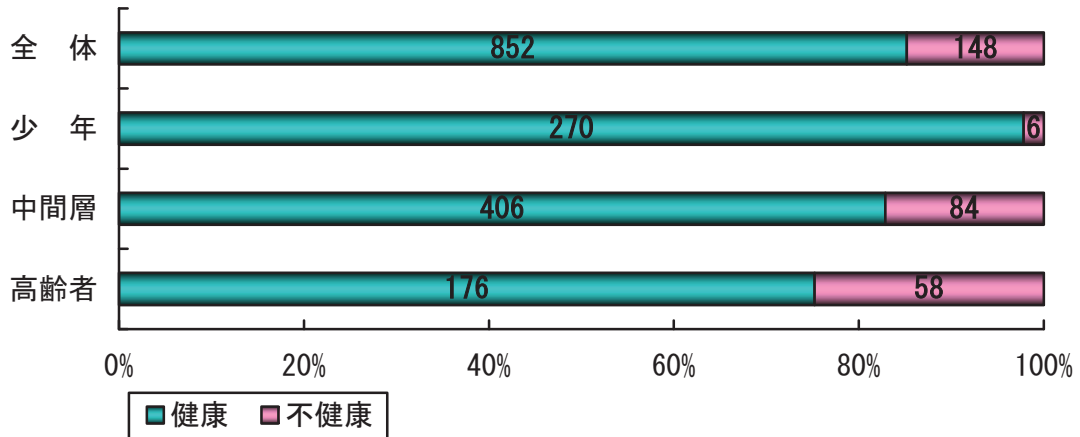
【相談できる者】(回答者数:1,000人)

どの世代でも相談できる者が6割以上(少年89.5%、中間層65.3%、高齢者64.1%)であった。「あり」の大多数が「家族」と回答している。



【健康状態】(回答者数:1,000人)

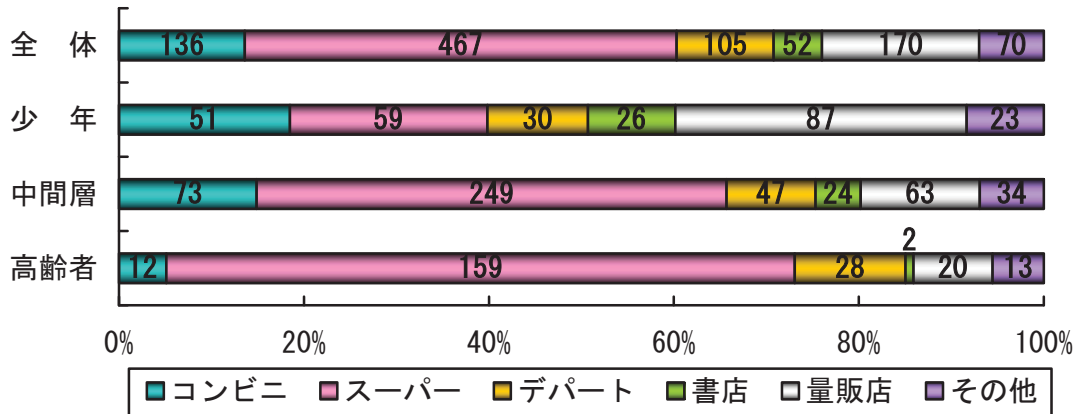
約8割(少年97.8%、中間層82.9%、高齢者75.2%)が健康である。高齢者の疾病は「糖尿病」「高血圧」などの回答が多い。若い世代では「うつ病」などの精神疾患が多い。



### 3 犯行の態様

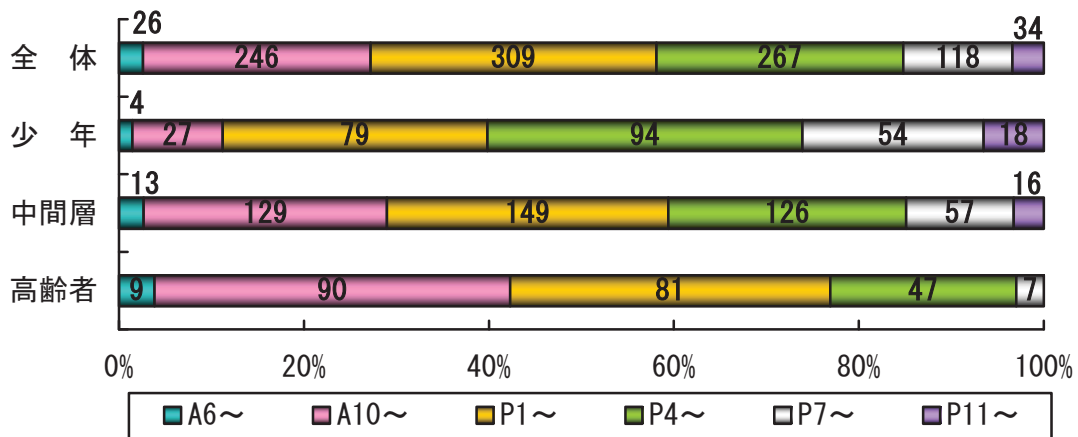
【場所】(回答者数:1,000人)

全体では「スーパー」が約半数(46.7%)を占めている。高齢者ほど「スーパー」の割合が高く、少年ほど「量販店(家電、ホームセンターなど)」の割合が高い。「その他」は薬局など。



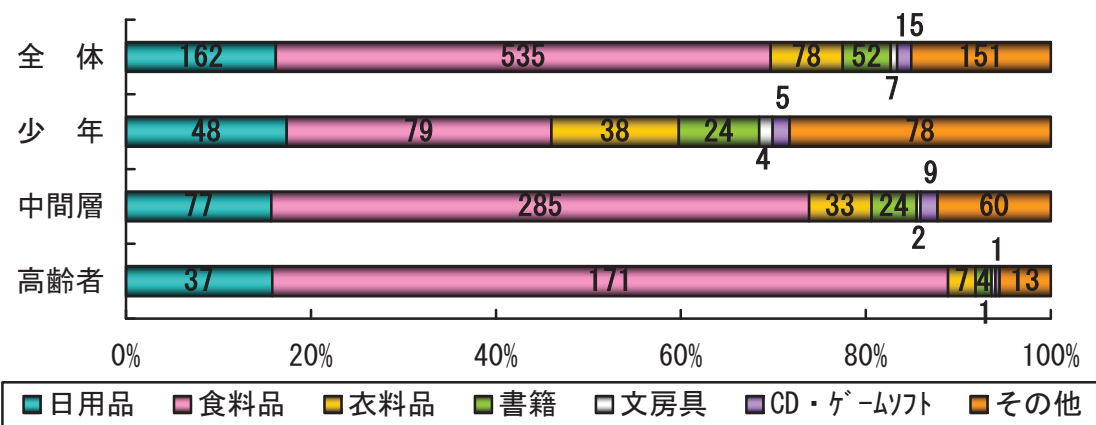
【時間帯】(回答者数:1,000人)

全体では日中(A10~P7)が大部分(82.2%)を占めている。世代別では、世代が高くなるほど犯行時間が日中に偏っている。



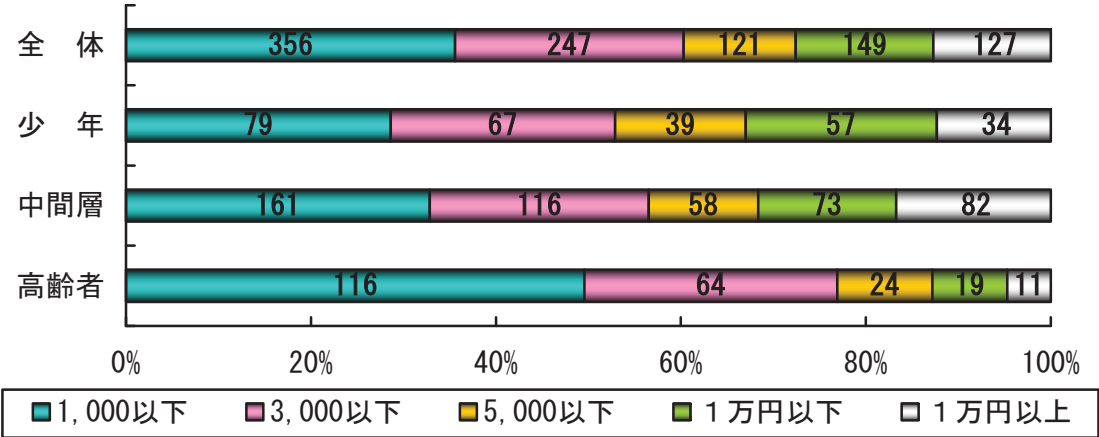
【目的物】(回答者数:1,000人)

食料品が半数以上(53.5%)を占めている。世代が高くなるほど食料品の割合が多い。「その他」は化粧品、タバコなど。



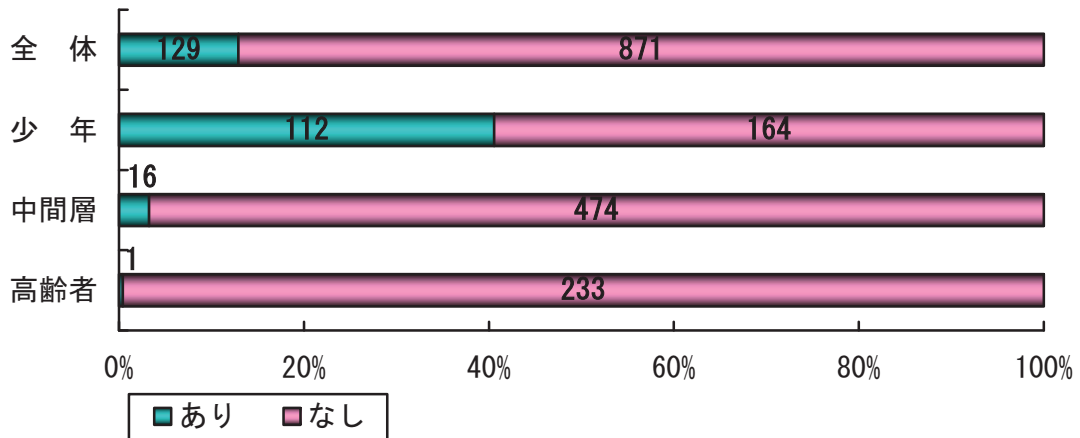
【被害額】（回答者数：1,000人）

平均被害額は、全体：約6,100円、少年：約5,200円、中間層：約8,750円、高齢者：約2,900円となっている。最少被害額20円。最高被害額35万円。高齢者の平均被害額が最も低い。



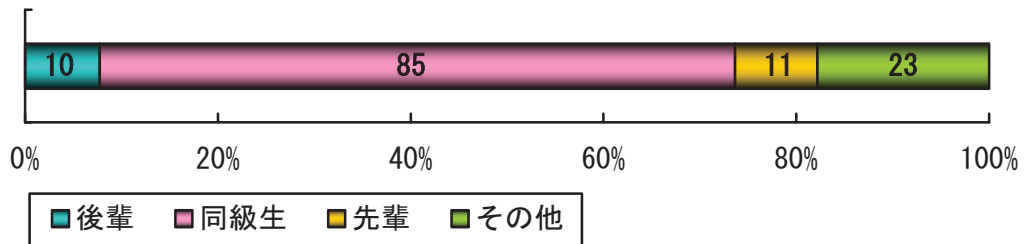
【共犯者】（回答者数：1,000人）

少年の「あり」が40.6%と他の世代（中間層3.3%、高齢者0.4%）に比べて多い。



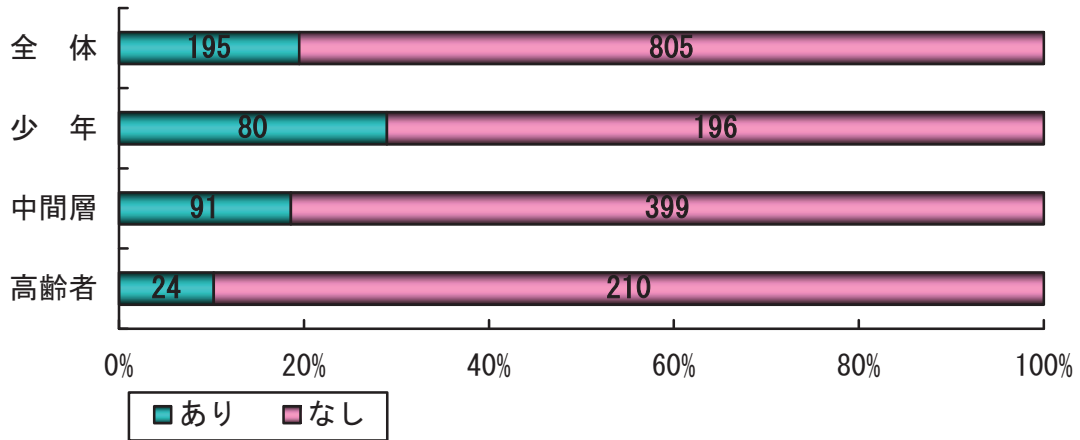
【共犯関係】（回答者数：129人）（内訳 少年：112人 中間層：16人 高齢者：1人）

「同級生」が65.9%を占める。「その他」は家族、交際相手など。



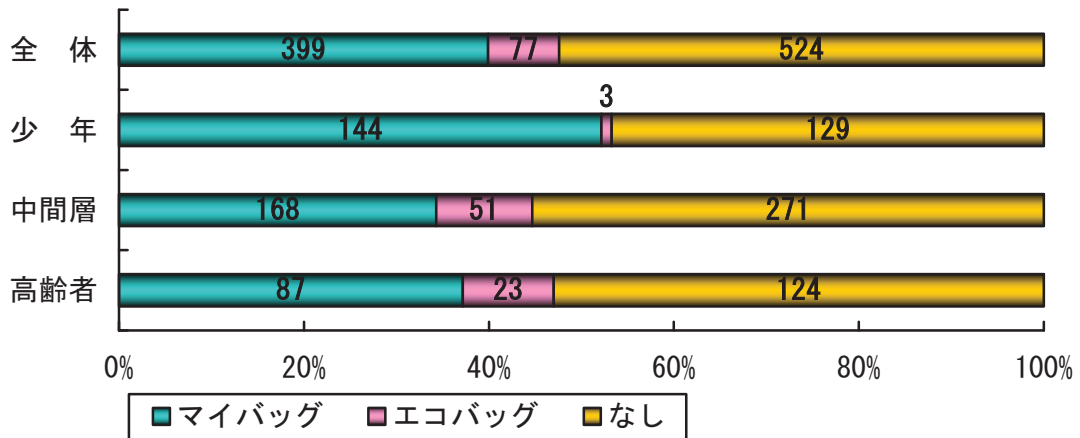
【計画性】(回答者数:1,000人)

少年の「あり」の割合(29.0%)が他の世代(中間層 18.6%、高齢者 10.3%)に比べて多いが、全体的に計画性は低い。



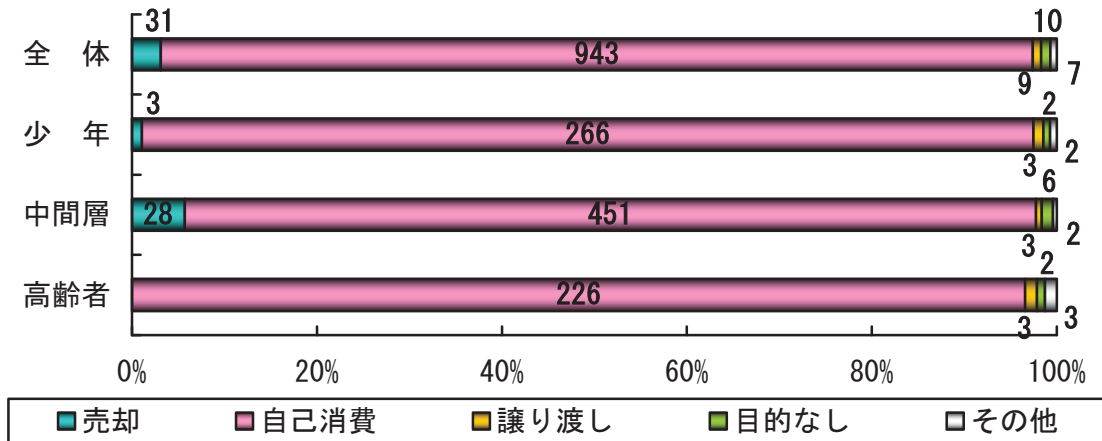
【バッグ使用の有無】(回答者数:1,000人)

少年の「マイバッグ」の割合(52.2%)が他の世代(中間層 34.3%、高齢者 37.2%)に比べて多い。

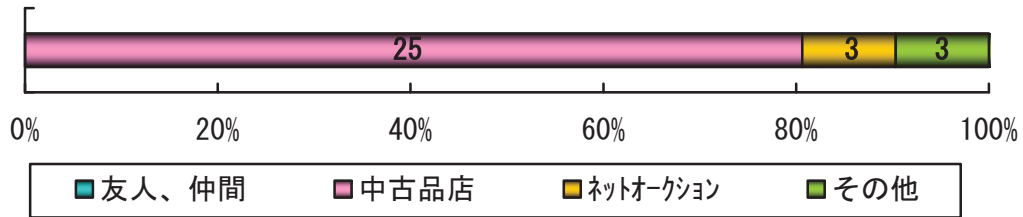


【行為目的】(回答者数:1,000人)

いずれの世代も自己消費が9割以上(少年 96.4%、中間層 92.0%、高齢者 96.6%)を占める。



【売却の場合の売却先】(回答者数:31人) (内訳 少年:3人 中間層:28人)  
 80.6%が中古品店への転売目的である。

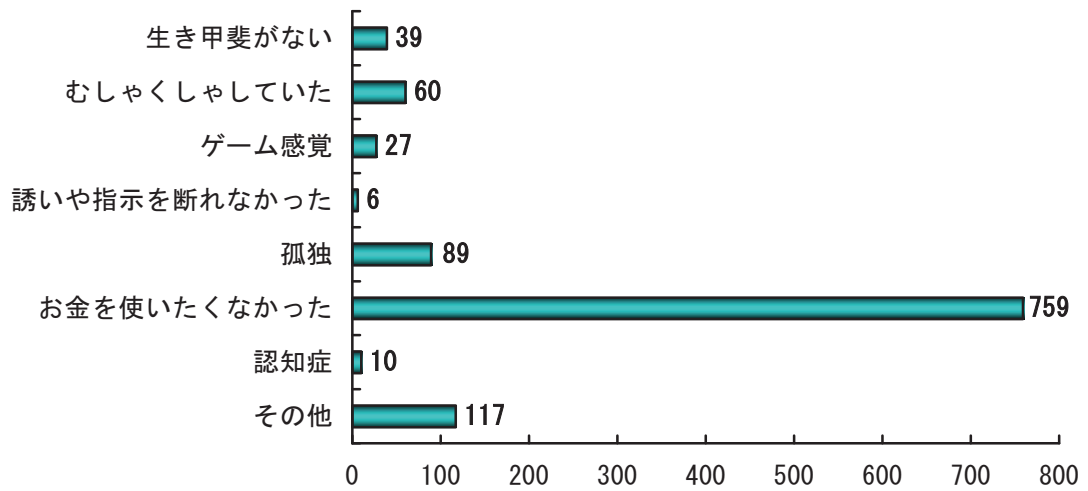


#### 4 動機、原因等

【心理的背景】(回答者数:996人)

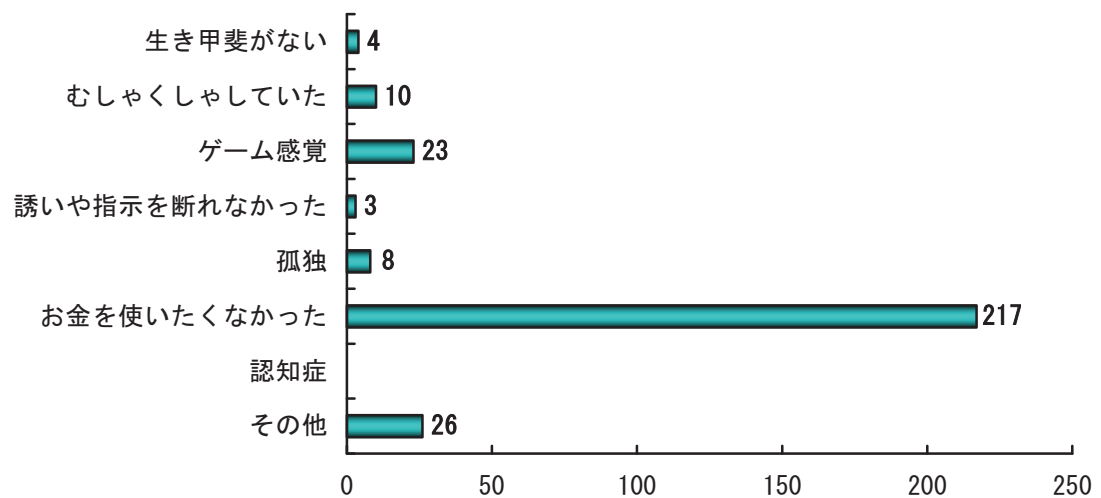
「お金を使いたくなかった」を選択した者が759人と最も多い。「その他」は「所持金なし」、「お金が足りない」、「レジに並ぶのが面倒だった」など。

全体 (回答者数:996人)



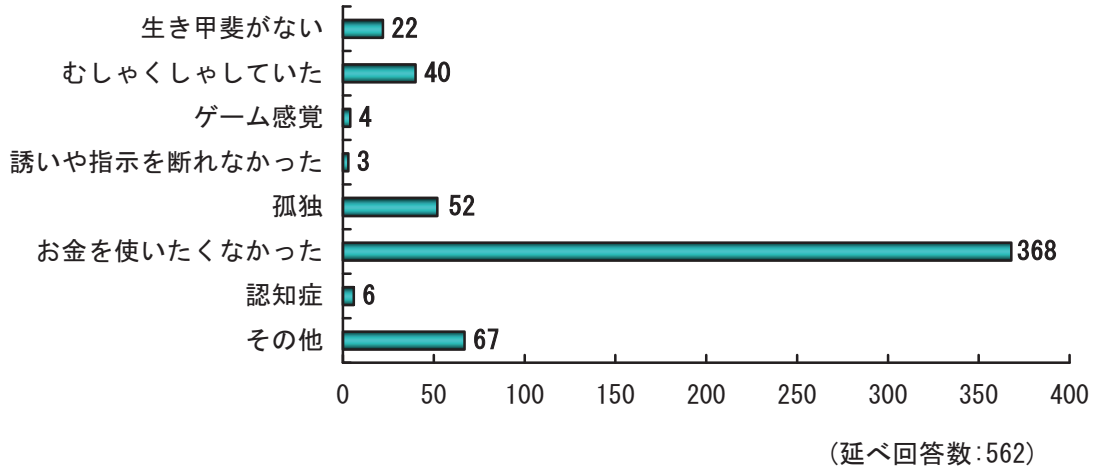
(延べ回答数:1,107)

少年 (回答者数:274人)

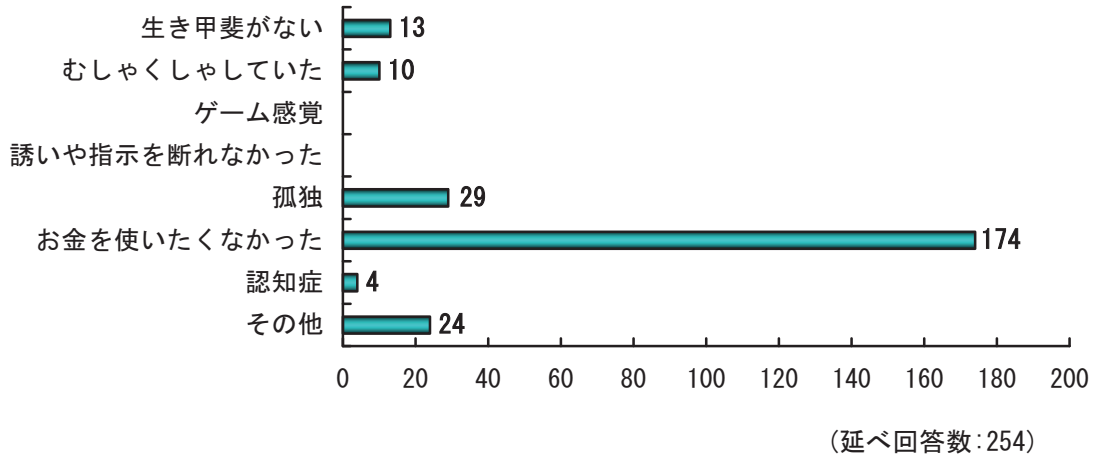


(延べ回答数:291)

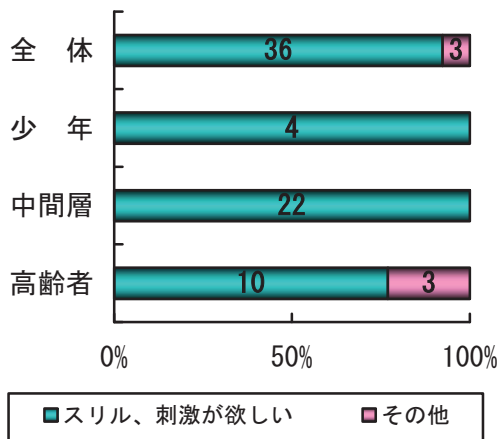
中間層 (回答者数:489人)



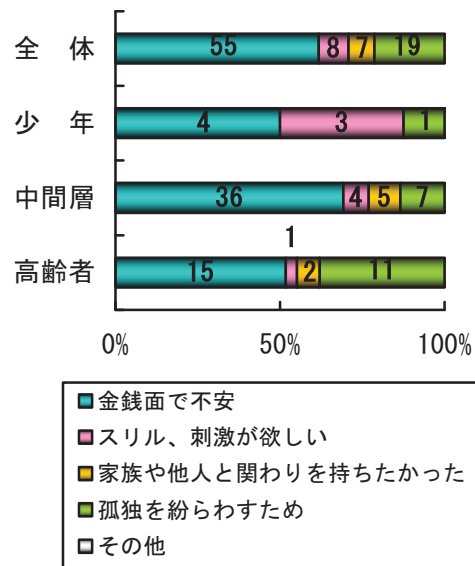
高齢者 (回答者数:233人)



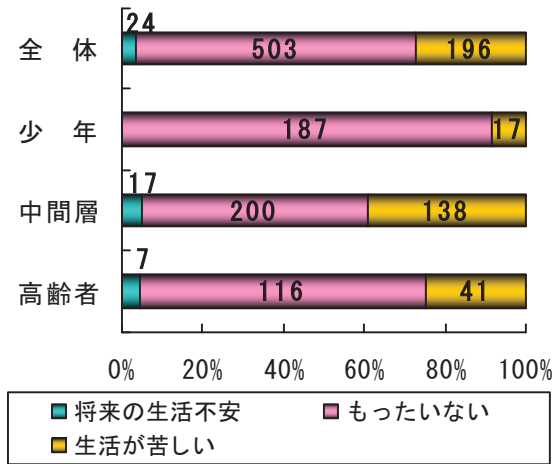
[生き甲斐がない内訳] (回答者数:39人)  
(内訳 少年:4人 中間層:22人 高齢者:13人)



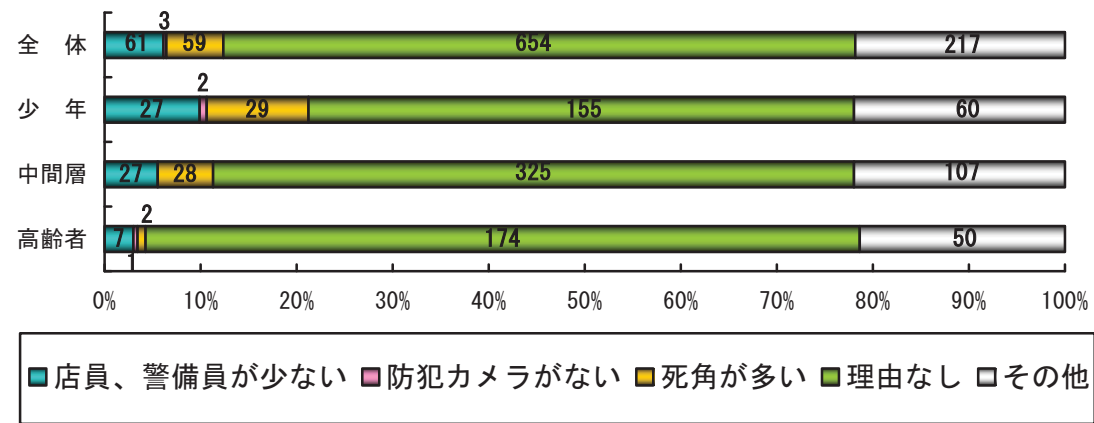
[孤独内訳] (回答者数:89人)  
(内訳 少年:8人 中間層:52人 高齢者:29人)



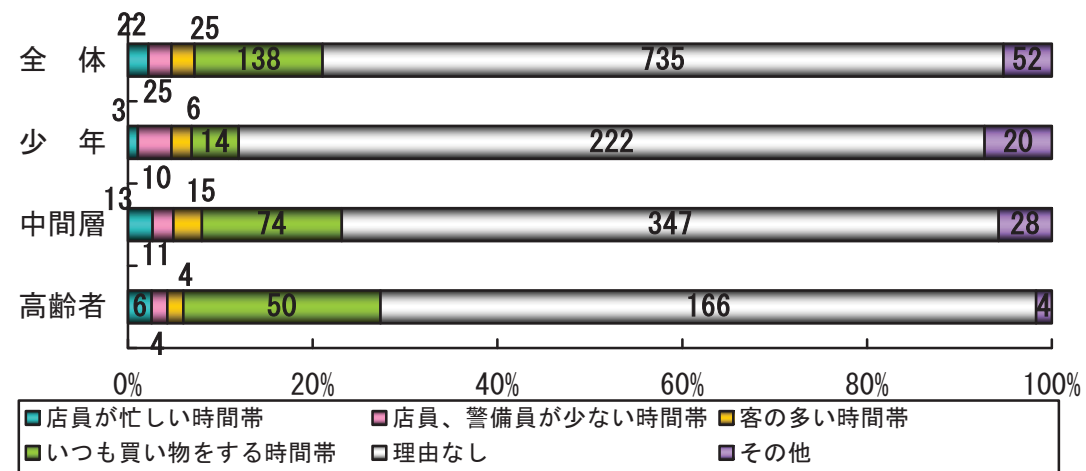
【お金を使いたくなくなった内訳】(回答者数:723人) (内訳 少年:204人 中間層:355人 高齢者:164人)



【店舗の選定理由】(回答者数:994人) (内訳 少年:273人 中間層:487人 高齢者:234人)  
「理由なし」が65.8%を占める。「その他」は「自宅に近い」が最も多い。

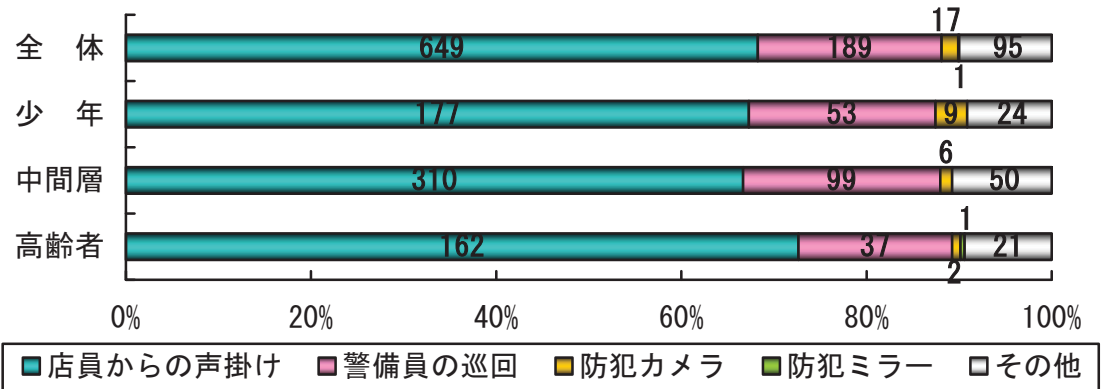


【時間帯の選定理由】(回答者数:997人) (内訳 少年:275人 中間層:488人 高齢者:234人)  
「理由なし」が73.7%を占める。「その他」は「帰宅途中」が最も多い。

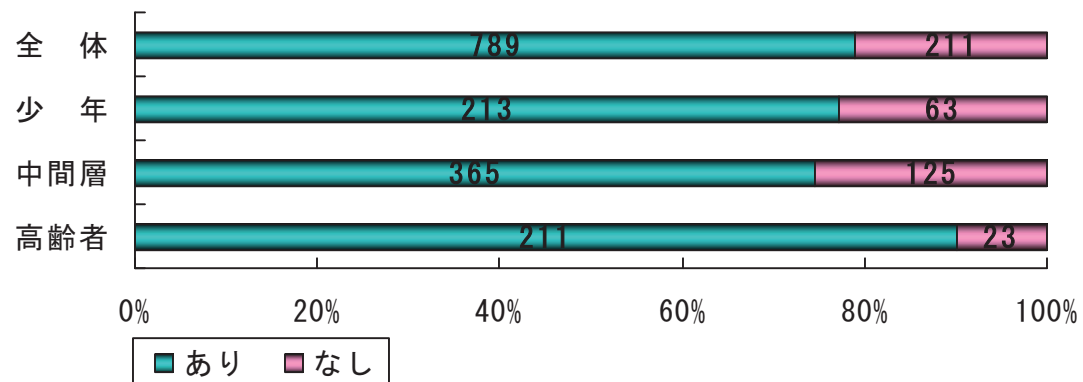


【どうしたら万引きを断念したか】(回答者数:951人)(内訳 少年:263人 中間層:465人 高齢者:223人)

「店員からの声掛け」が68.2%を占める。「その他」は、「お金があれば」が多く、少数意見では「断念しない」など。



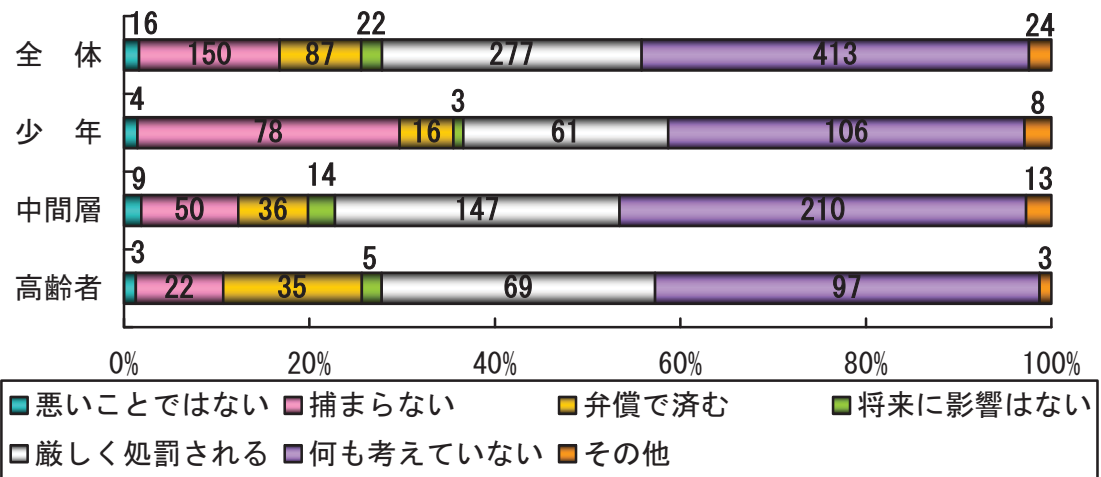
【犯行時の所持金】(回答者数:1,000人)  
78.9%は、犯行当時に所持金があった。特に高齢者は90.2%は所持金があるにもかかわらず犯行に及んだ。



## 5 規範意識等

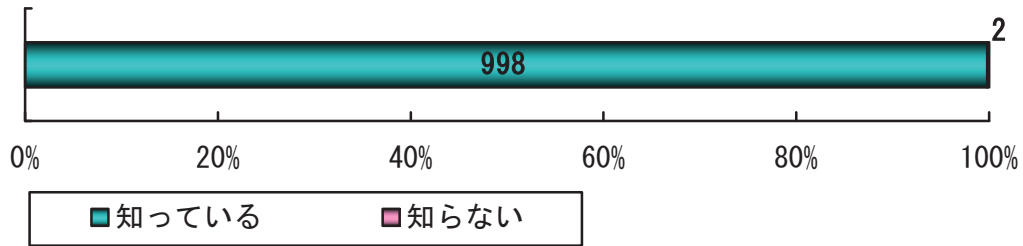
【規範意識】(回答者数:989人)(内訳 少年:276人 中間層:479人 高齢者:234人)

「何も考えていない」が41.8%を占める。「厳しく処罰される」が28.0%と3割にも満たない。少年では「捕まらない」が28.3%で他の世代(中間層10.4%、高齢者9.4%)より多い。



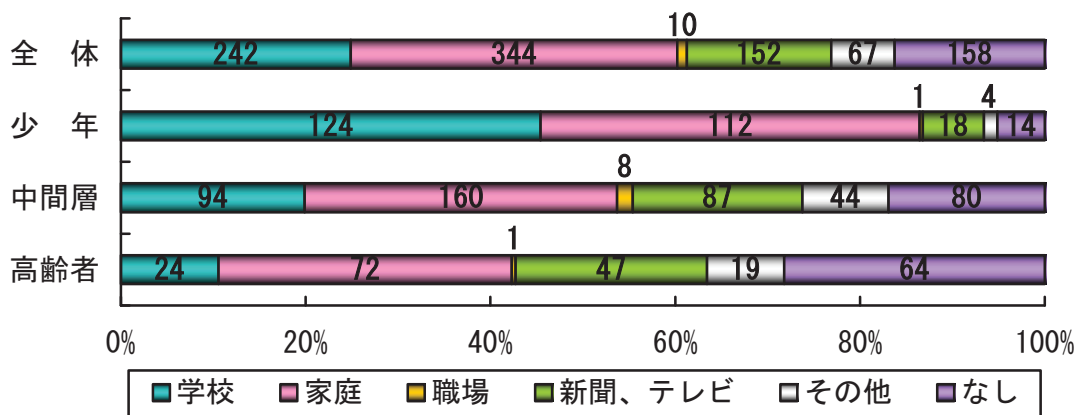
【万引きが犯罪であることの認識】(回答者数:1,000人)

「知らない」と答えた2名は70歳代の高齢者と20歳代のベトナム人。



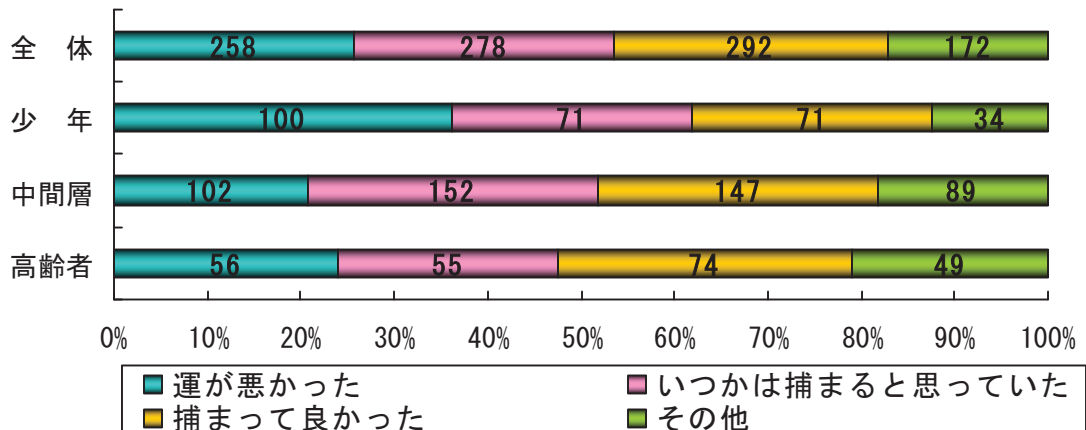
【万引きが犯罪であることの教示元】(回答者数:973人)(内訳 少年:273人 中間層:473人 高齢者:227人)

「家庭」が35.4%、「学校」が24.9%を占める。「その他」は、「常識」、「警察」、「前歴あり」など。



【今の気持ち】(回答者数:1,000人)

全体では回答に目立ったものはない。少年では「運が悪かった」が最も多い。

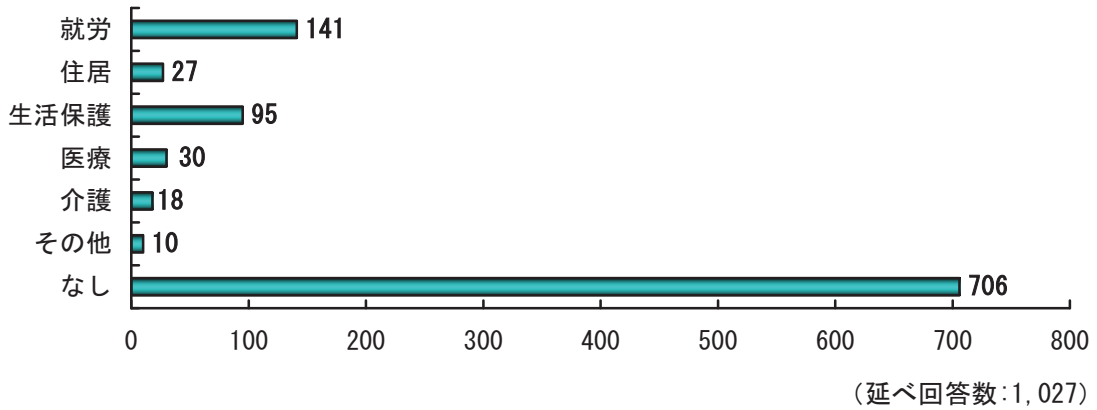


## 6 社会的支援等

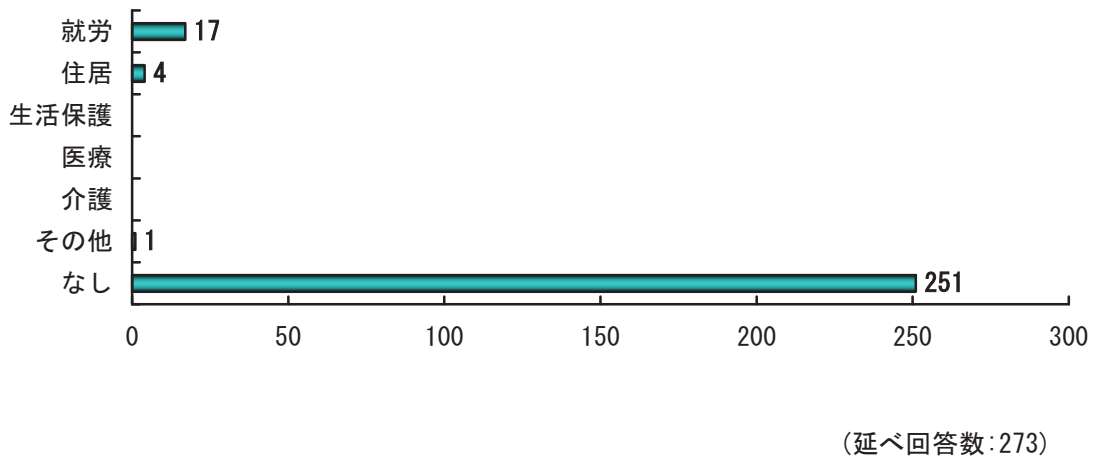
【社会的支援～今後受けてたい支援】(複数回答)(回答者数:983人)

社会的支援を望まない者が71.8%であったが、希望した者の中では「就労」支援を選  
択した者が141人で最多であった。

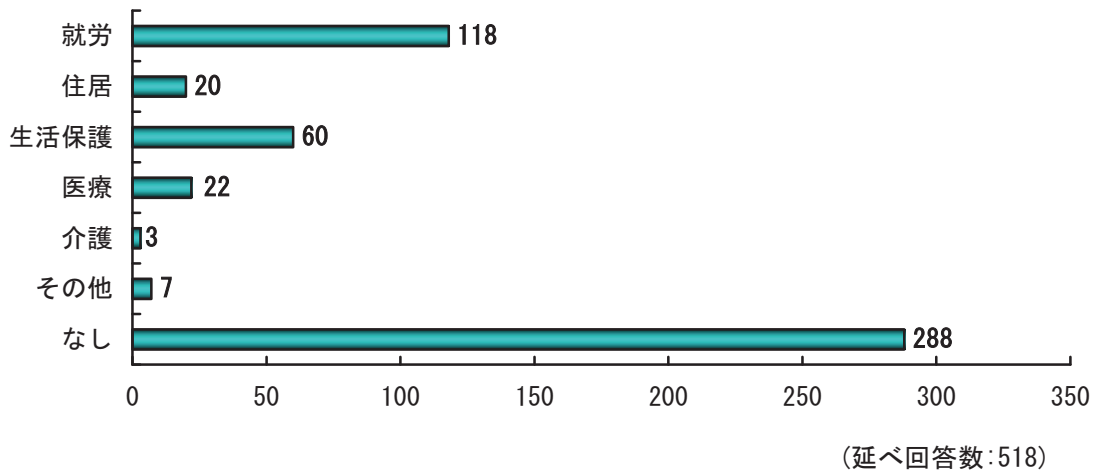
全体 (回答者数:983人)



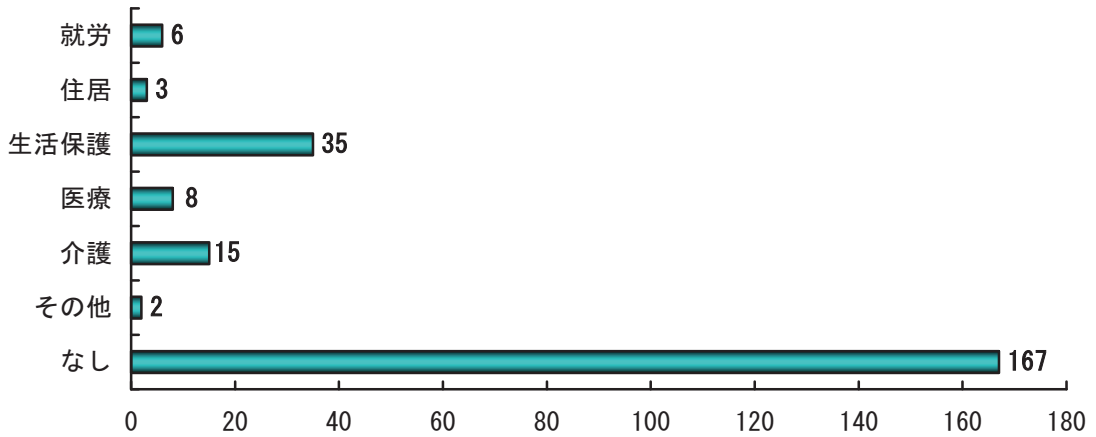
少年 (回答者数:272人)



中間層 (回答者数:482人)



**高齢者** (回答者数:229人)

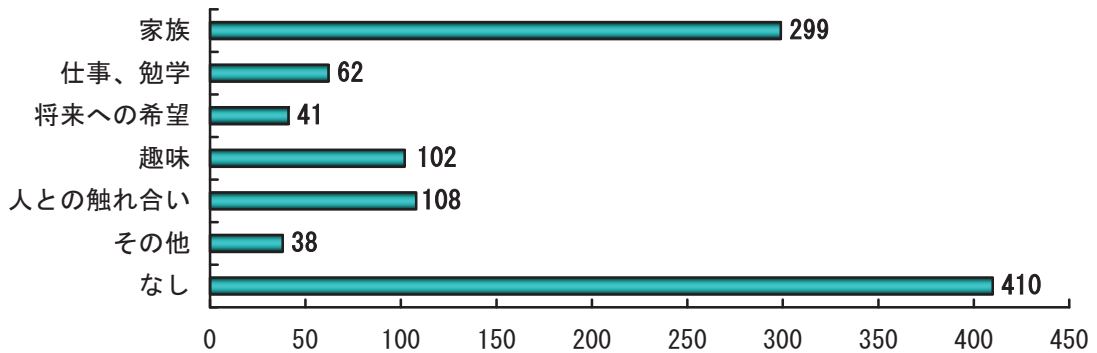


(延べ回答数:236)

**【生き甲斐～こころの支えは何か】** (複数回答) (回答者数:983人)

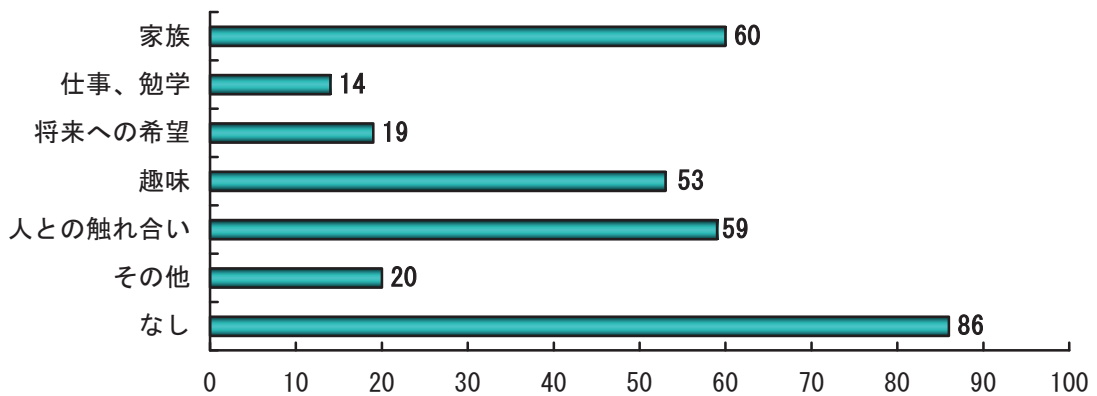
高齢者では「なし」が48.0%と最も多い。少年では「家族」が他の世代より少なく、「趣味」、「人との触れ合い」が多い。

**全体** (回答者数:983人)



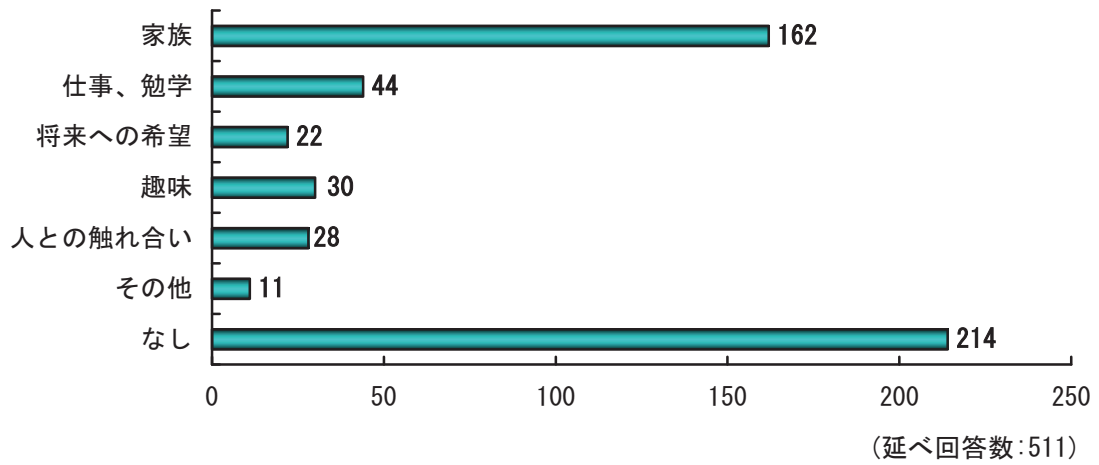
(延べ回答数:1,060)

**少年** (回答者数:274人)

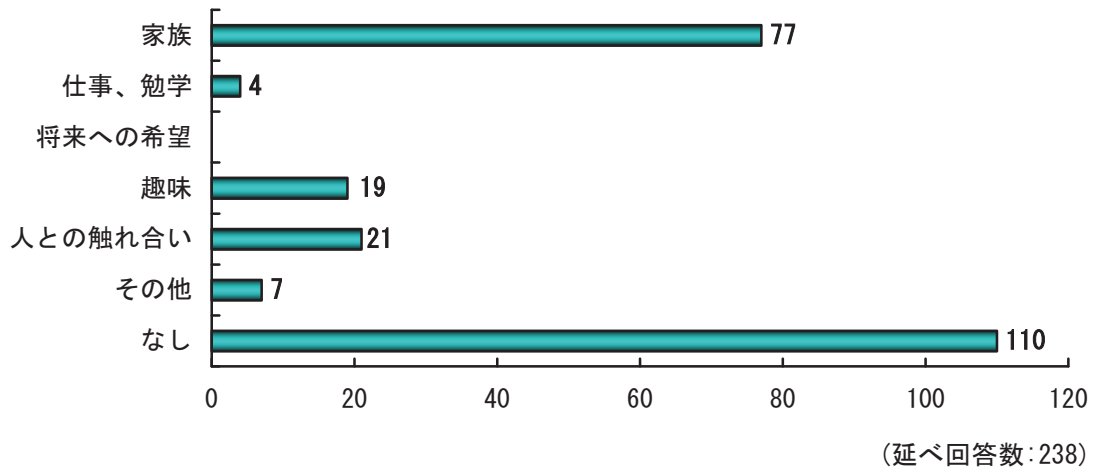


(延べ回答数:311)

中間層 (回答者数:480人)



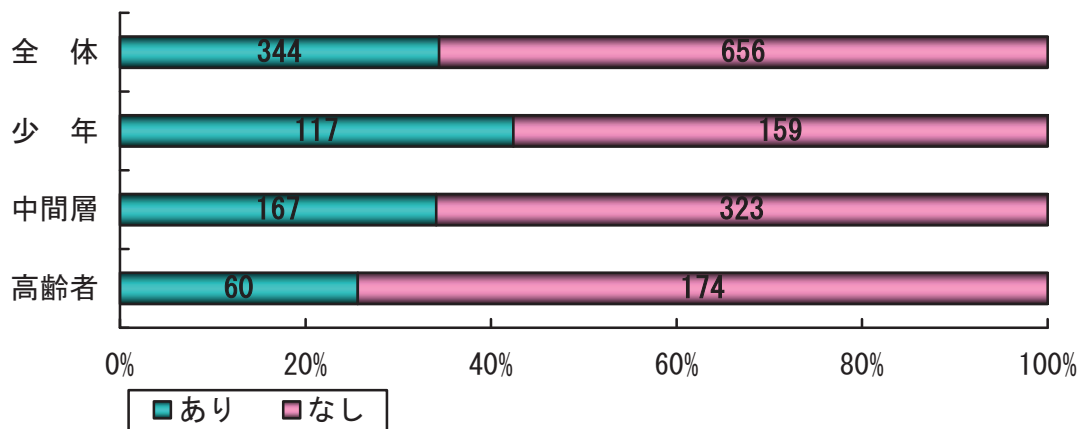
高齢者 (回答者数:229人)



## 7 常習性

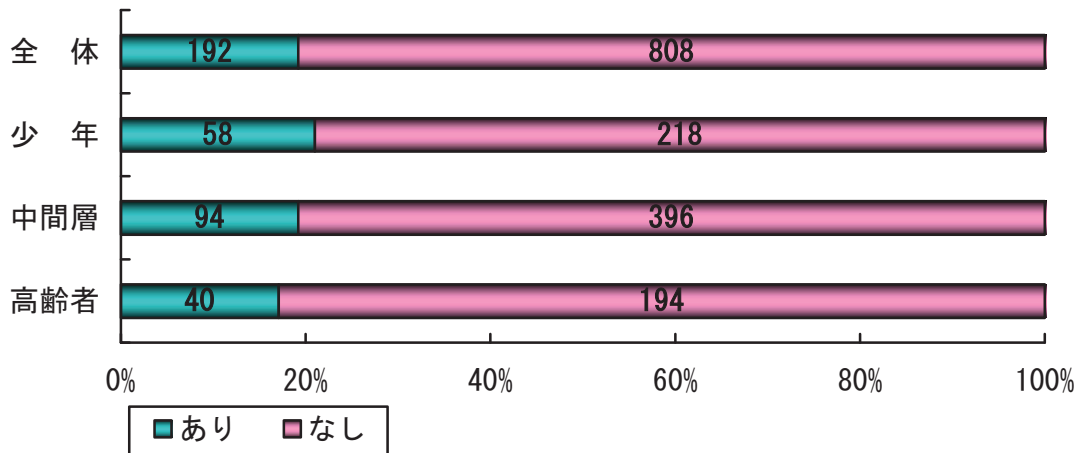
【万引きをして見つからなかったことの有無】(回答者数:1,000人)

年齢が低いほど「あり」の割合が高い。



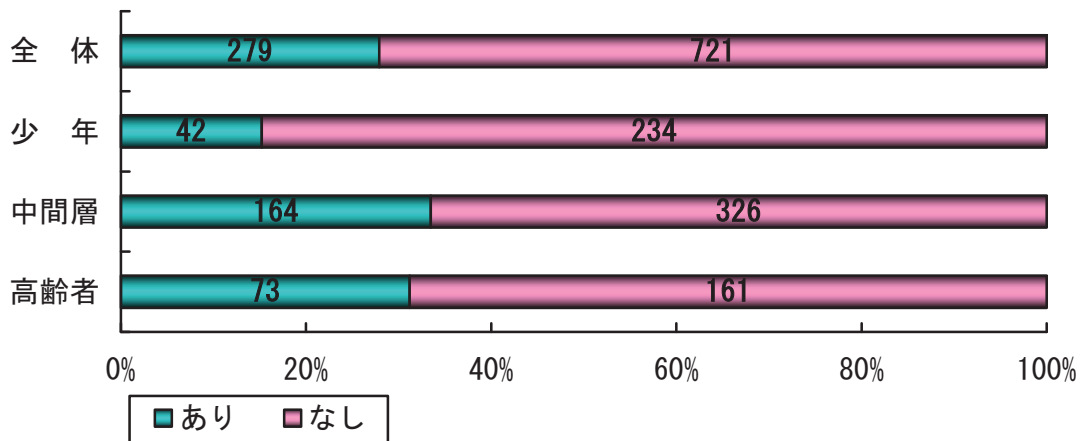
【万引きをして警察に通報されなかったことの有無】(回答者数:1,000人)

世代別ではばつきはなく「あり」が約2割(少年21.0%、中間層19.2%、高齢者17.1%)を占める。

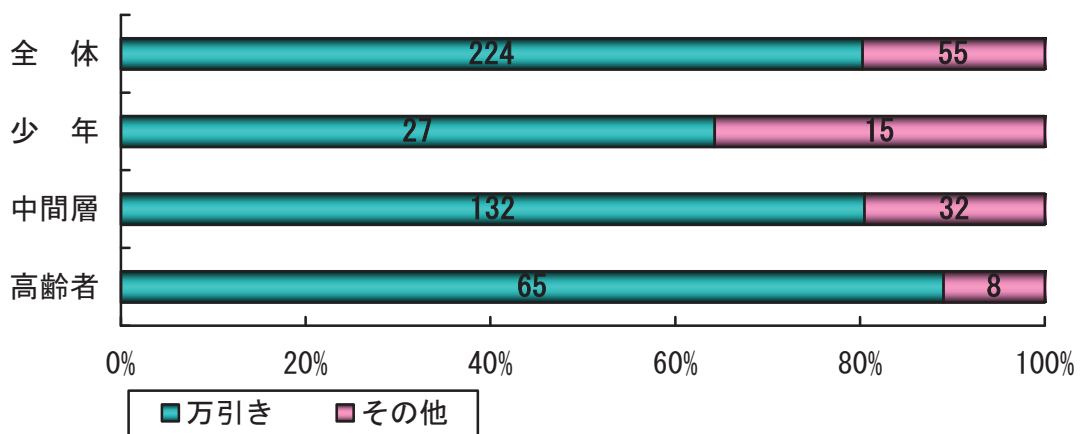


【犯歴】(回答者数:1,000人)

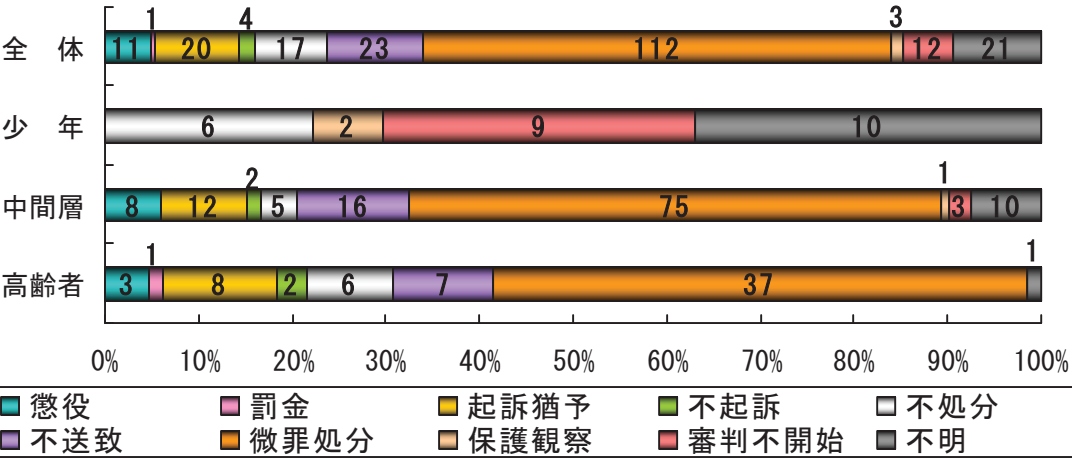
少年の犯歴ありの割合が他の世代と比べて低い。



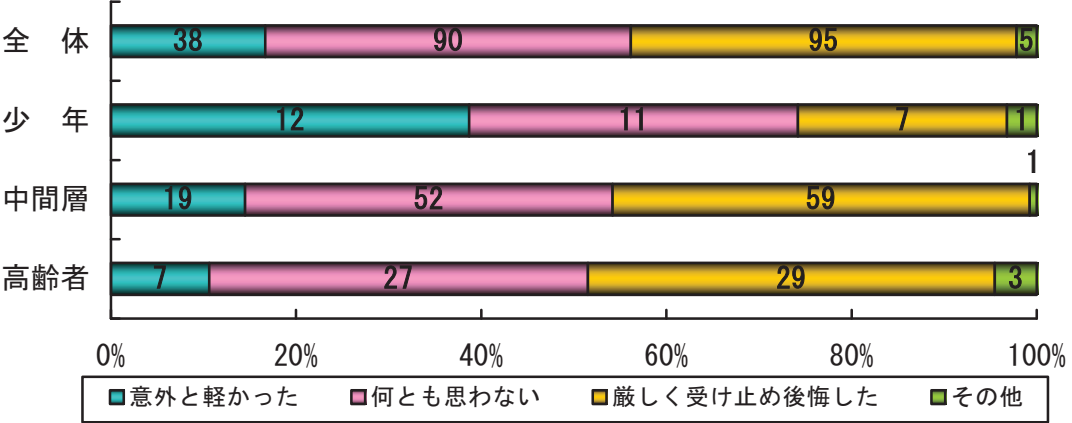
【初犯の内訳】(回答者数:279人)(内訳 少年:42人 中間層:164人 高齢者:73人)



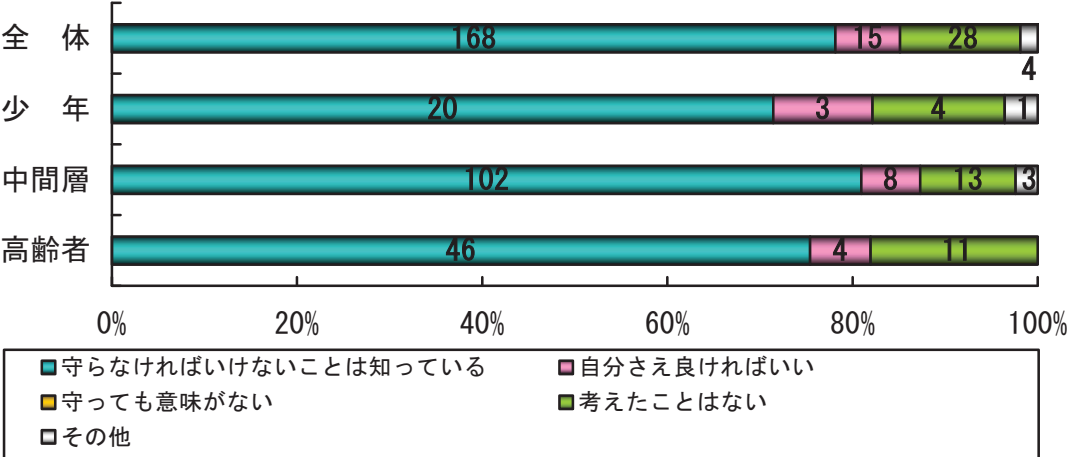
【初犯万引きの検挙処分結果】(回答者数:224人)(内訳 少年:27人 中間層:132人 高齢者:65人)  
 成人以上の世代では「微罪処分」が半数(中間層 56.8%、高齢者 56.9%)を占める。  
 少年では「審判不開始」が33.3%を占める。



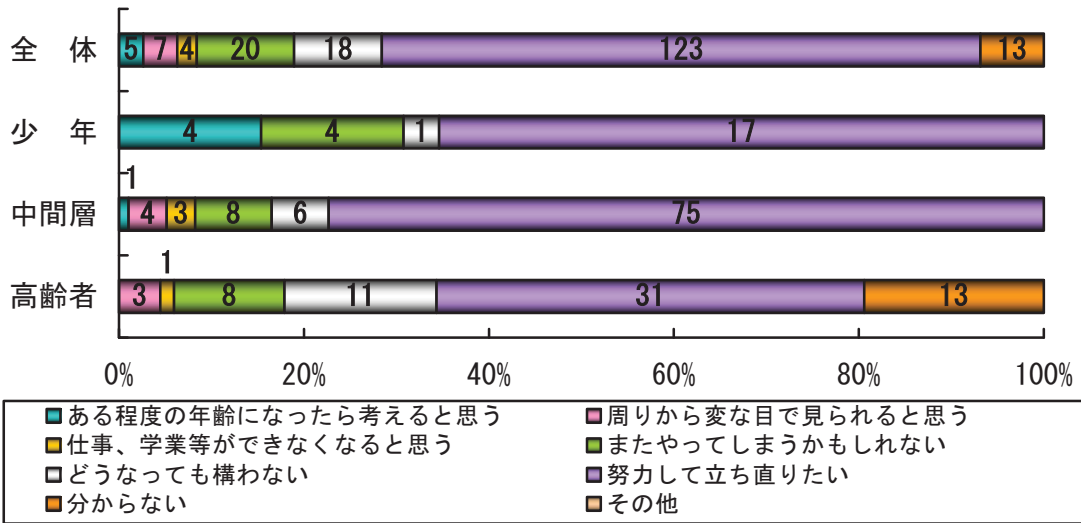
【処分に対する感想】(回答者数:228人)(内訳 少年:31人 中間層:131人 高齢者:66人)  
 「意外と軽かった」、「何とも思わない」が56.1%を占める。少年では「意外と軽かった」が38.7%で他の世代(中間層 14.5%、高齢者 10.6%)と比べ多かった。



【モラルに対する意識】(回答者数:215人)(内訳 少年:28人 中間層:126人 高齢者:61人)  
 「守らなければいけないことは知っている」が78.1%を占める。「守っても意味がない」という回答はなかった。



【今後の自己展望】(回答者数:190人)(内訳 少年:26人 中間層:97人 高齢者:67人)  
「努力して立ち直りたい」が64.7%を占める。

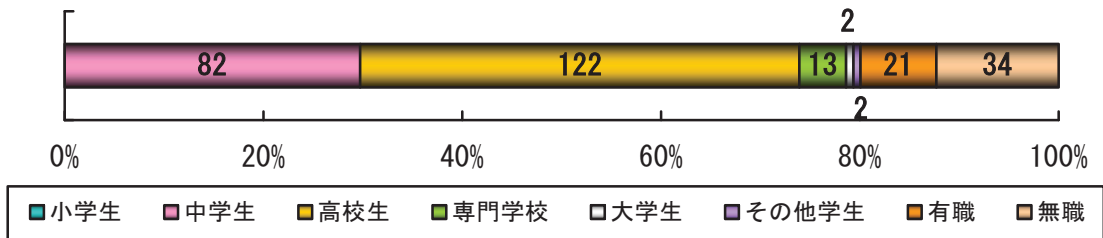


## 8 少年項目

### (1) 学識

【学識】(回答者数:276人)

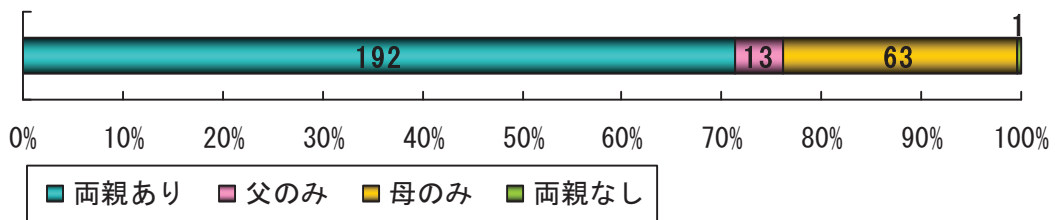
「中学生」、「高校生」が73.9%を占める。



### (2) 家庭環境

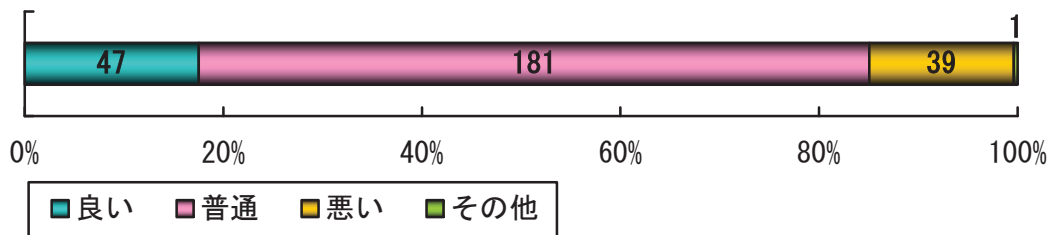
【保護者の状況】(回答者数:269人)

「両親あり」が71.4%を占める。

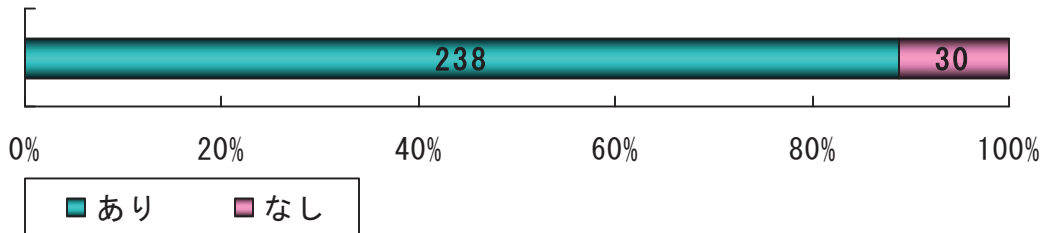


【保護者との関係】(回答者数:268人)

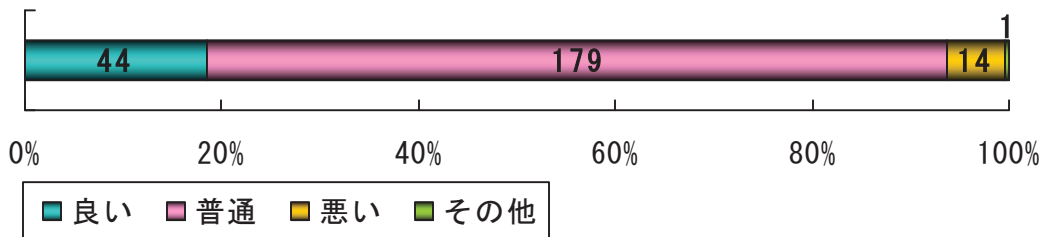
「良い」、「普通」が85.1%を占める。



【兄弟の状況】(回答者数:268人)  
「あり」が88.8%を占める。

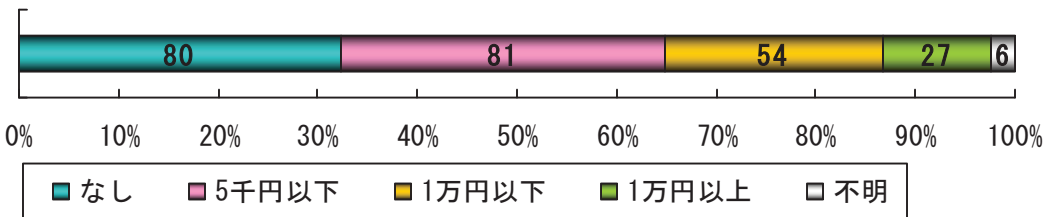


【兄弟との関係】(回答者数:238人)  
「良い」、「普通」が93.7%を占める。

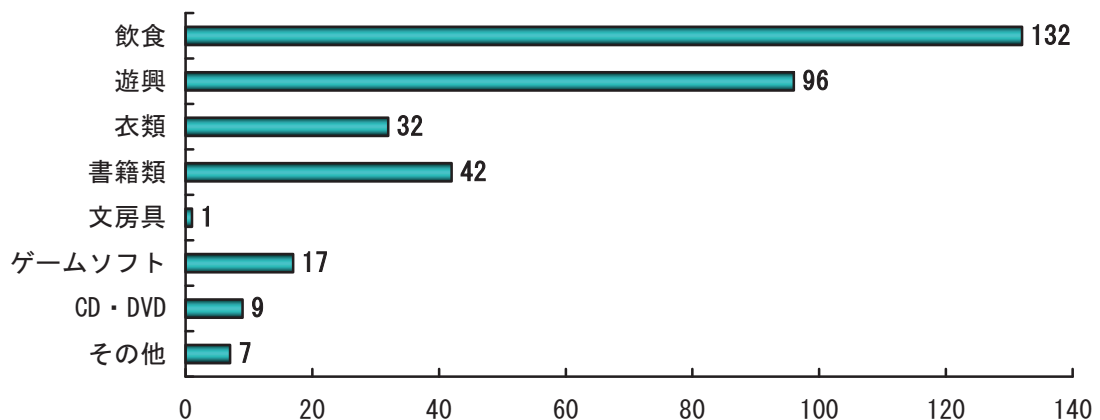


### (3) 金銭関係

【小遣い金額】(回答者数:248人)  
「なし」が32.3%を占める。



【小遣いの使い道】(回答者数:176人)  
回答のほとんどが「飲食」、「遊興」を占めている。

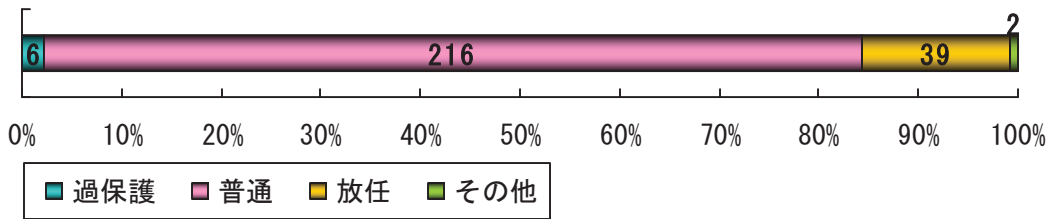


(延べ回答数:336)

#### (4) 養育関係

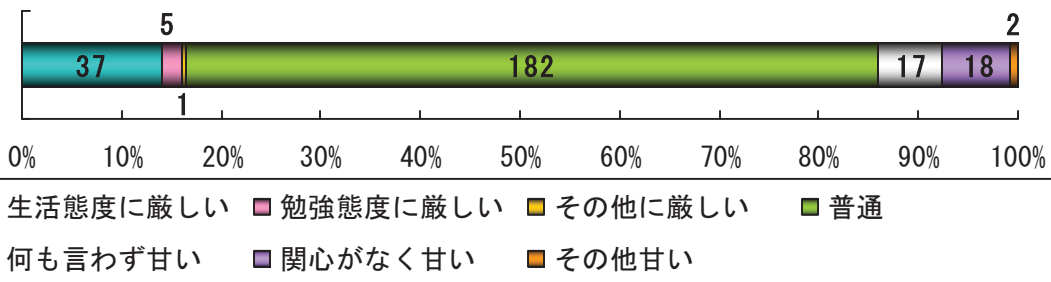
【保護者の接し方】(回答者数:263人)

「普通」が82.1%を占める一方、「放任」が14.8%を占める。



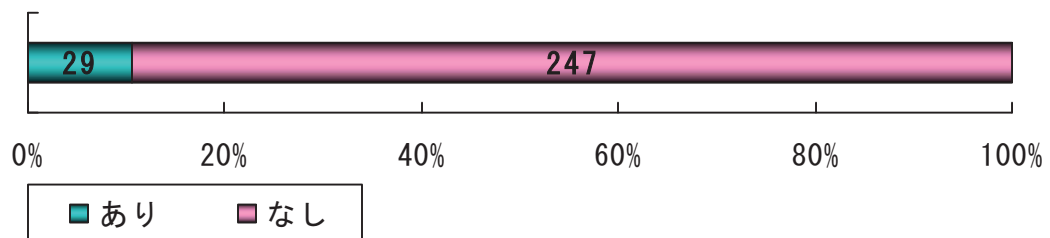
【躰】(回答者数:262人)

「普通」が69.5%を占める。



【保護者に期待すること】(回答者数:276人)

「なし」が89.5%を占める。



## 第4 被害者（販売店、管理者等）調査・結果の概要

### 1 ショッピングセンター（30店舗）

- 万引き被害の影響について、すべての店舗が「死活問題」と捉えている。
- 万引き犯人への処罰意思について、「弁償してくれれば大げさにしたくない」との回答する割合が他の業界よりも多い。
- ソフト面の防犯対策について、「警備員の巡回」の回答が他の回答より最も多い。

### 2 スーパー（69店舗）

- 犯人への損害賠償請求について、「人件費を請求している」との回答が23.9%で、他の業界に比べて最も多い。
- ソフト面の防犯対策について、「声掛けの教養」の回答が多いものの、他の対策についてもバランスよく採用している。
- 被害の届出状況について、7割以上届出る回答が79.4%と高い届出状況である。
- 犯人を捕まえたときの届出状況についても7割以上届出るとの回答が97.1%と高い届出状況である。

### 3 家電量販店（39店舗）

- 犯人への損害賠償請求について、「請求を検討している」との回答が47.1%で、他の業界に比べて最も多い。
- ソフト面の防犯対策について、「警備員の巡回」がコンビニを除いては他の業界と比べて少ない。
- 被害の届出状況について、届出割合が他の業界と比べて最も高い。
- 犯人を捕まえたときの届出状況について、「全件」が76.3%で、他の業界に比べて最も多い。
- 届出ししない理由について、「その他」の回答が多く、「被害の日時が特定できない」との回答が多い。

### 4 ホームセンター（39店舗）

- 被害の影響について、すべての店舗が「死活問題」と捉えている。
- 犯人への処罰意思について、すべての店舗が「絶対に許せない」と回答している。
- 犯人への損害賠償請求について、「考えていない」との回答が92.3%で、他の業界と比べて最も多い。
- 不審な来店客への対応について、「積極的に声掛けしている」の回答が極端に目立った。
- 在庫確認について、すべて「週一回」行っているとの回答で、業界での統一が見受けられる。
- 届出ししない理由について、「その他」の回答が多く、「少額である」、「少年である」、「身柄の引き取り先がある」などの回答である。
- 通報基準について、ほとんどの店舗が「被害金を設定」、「常習者」、「犯行を認めないとき」と回答しており、業界での統一が見受けられる。

### 5 ドラッグストア（42店舗）

- 在庫確認について、すべて「毎日」行っているとの回答で、業界での統一が見受けられた。
- 届出ししない理由について、「時間がかかる」との回答が多い。
- 通報基準について、「全件通報」の回答割合が他の業界と比べて最も多い。

### 6 コンビニ（100店舗）

- 不審な来店客への対応について、「積極的に声掛けしている」（55回答）、「声掛けはせず動静を監視する」（51回答）と相反する回答が目立った。
- ハード面の防犯対策について、「店舗外防犯カメラ」の設置回答が、他の業界に比べて最も多い。
- ソフト面の防犯対策について、「警備員の巡回」が家電量販店を除いては他の業界と比べて少ない。
- 被害の届出状況について、「1～2割」が書店、百貨店と並び57.5%と多く、届出割合が低い。

## 7 書店 (99 店舗)

- 犯人への損害賠償請求について、「人件費を請求している」との回答が 23.2%で、スーパーの次に多い。
- 不審な来店客への対応について、「積極的に声掛けしている」(53 回答)、「声掛けはせず動静を監視する」(44 回答)と相反する回答が目立った。
- 被害の届出状況について、「1～2割」がコンビニ、百貨店と並び 63.3%と多く、届出割合が低い。

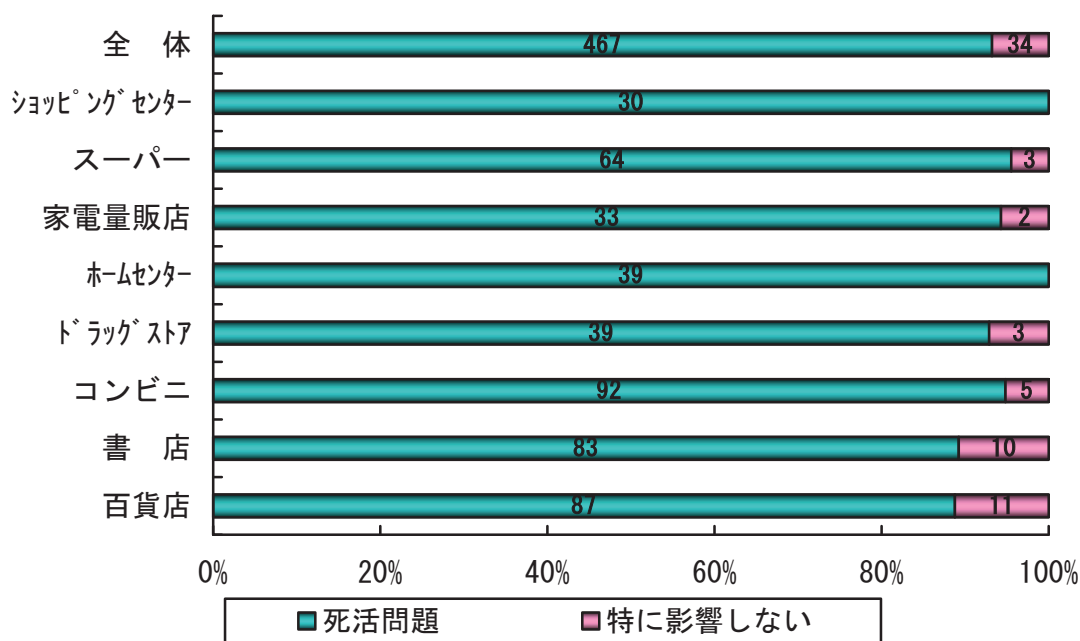
## 8 百貨店 (104 店舗)

- 被害の影響について、「特に影響しない」と答えた割合が 11.2%で、他の業界に比べて最も多い。
- 被害の届出状況について、「1～2割」がコンビニ、書店と並び 66.7%と多く、届出割合が低い。
- 犯人を捕まえたときの届出状況について、「1～2割」が 48.0%で、他の業界と比べて最も多い。
- 犯人を警察に通報した場合の平均処理時間では「2時間以上3時間以内」が 41.0%で最も多かったが、事件処理許容時間は「1時間以内」、「2時間以内」の回答が 81.0%と処理時間の短縮を希望している回答が多い。

# 第5 アンケート結果

## 1 影響

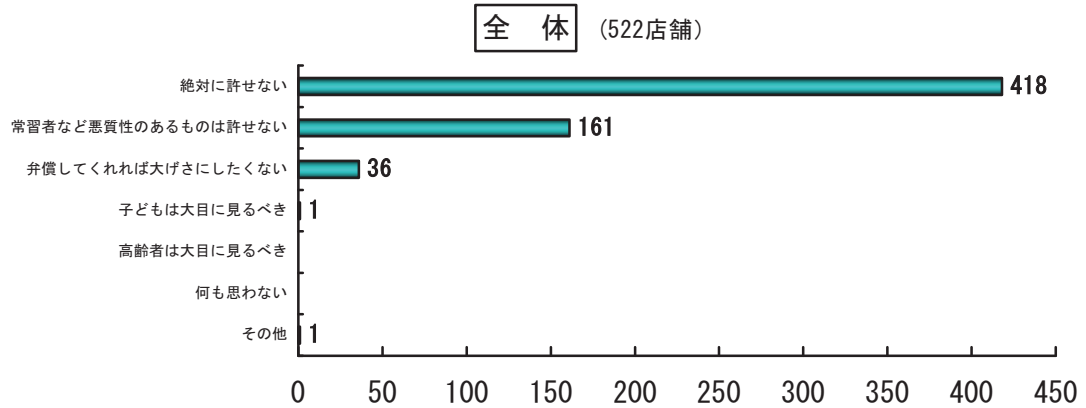
【万引き被害の影響】(回答店舗数:501 店舗)(内訳 ショッピングセンター:30 スーパー:67 家電量販店:35 ホームセンター:39 ドラッグストア:42 コンビニ:97 書店:93 百貨店:98)  
どの業界も一様に万引きを「死活問題」としており、93.2%を占める。



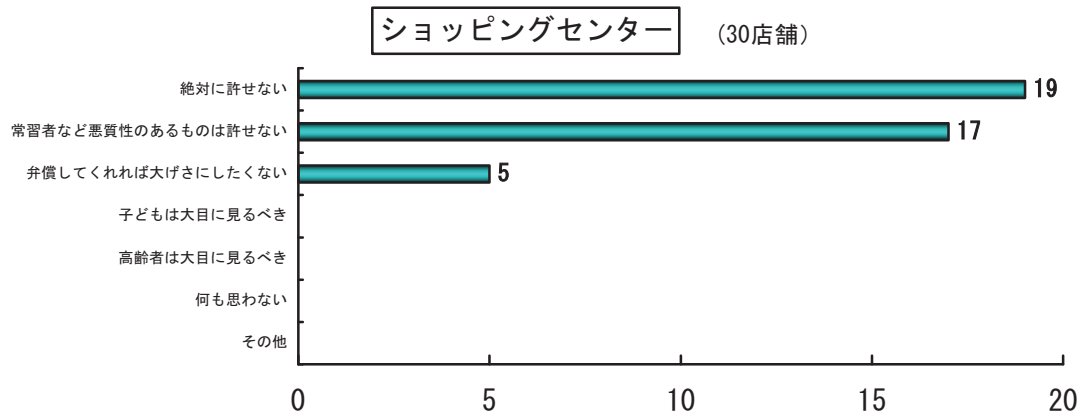
## 2 意識

【万引き犯への意識（処罰意思）】（複数回答）（回答店舗数:522 店舗）

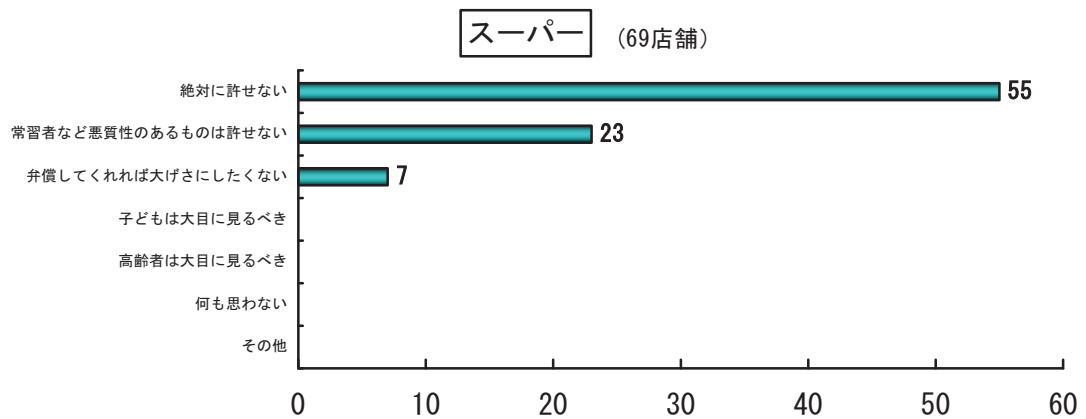
全体では「絶対に許せない」の回答が大部分を占める。ホームセンターでは「絶対に許せない」のみの回答となっている。



(延べ回答数:617)

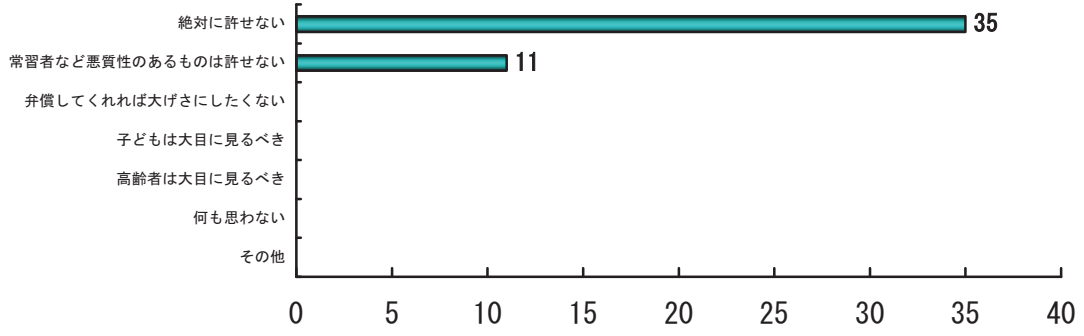


(延べ回答数:41)



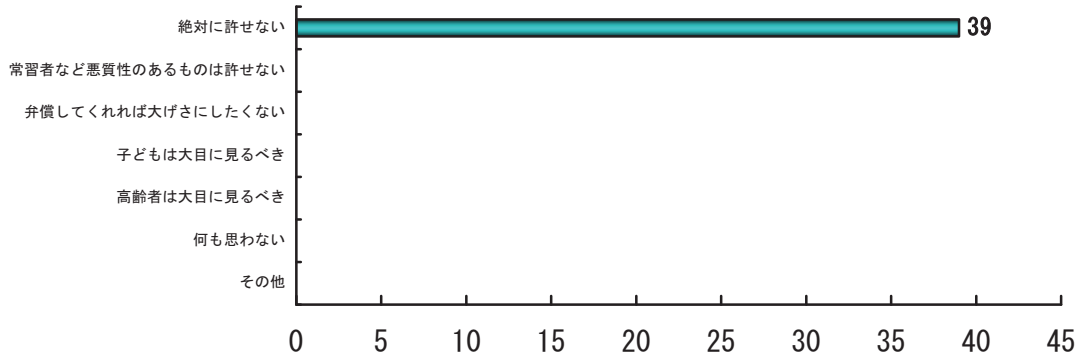
(延べ回答数:85)

家電量販店 (39店舗)



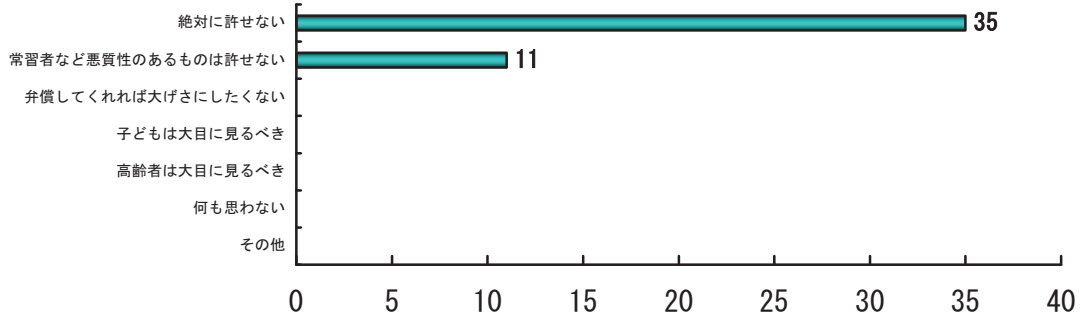
(延べ回答数: 46)

ホームセンター (39店舗)

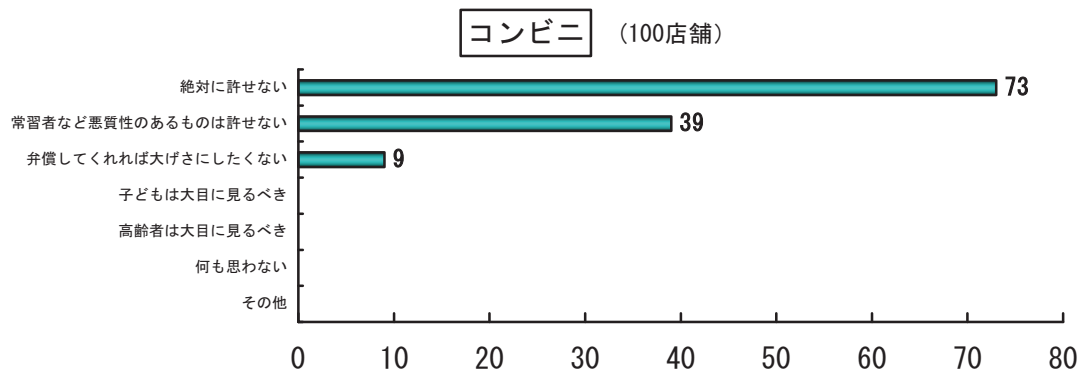


(延べ回答数: 39)

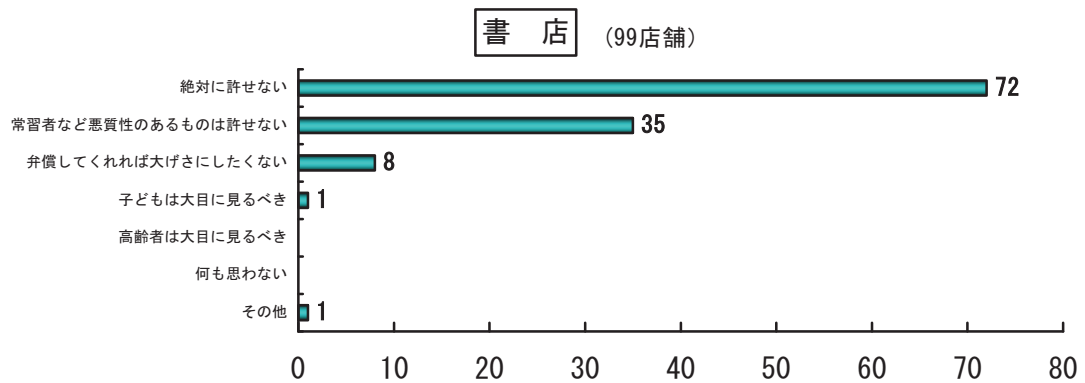
ドラッグストア (42店舗)



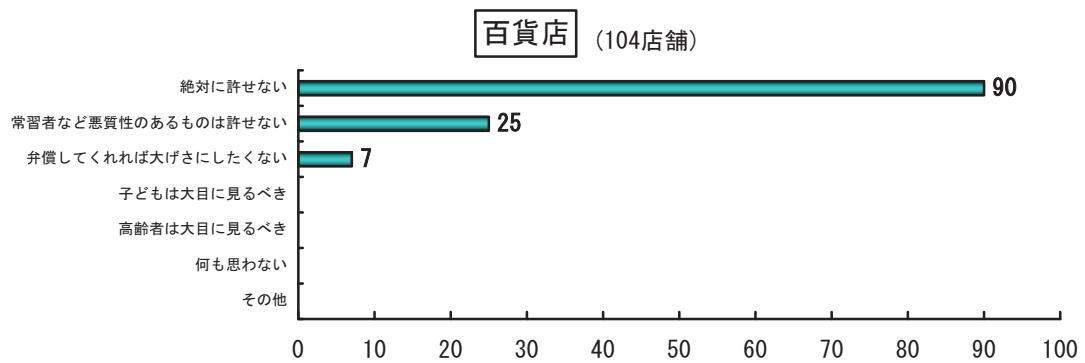
(延べ回答数: 46)



(延べ回答数:121)



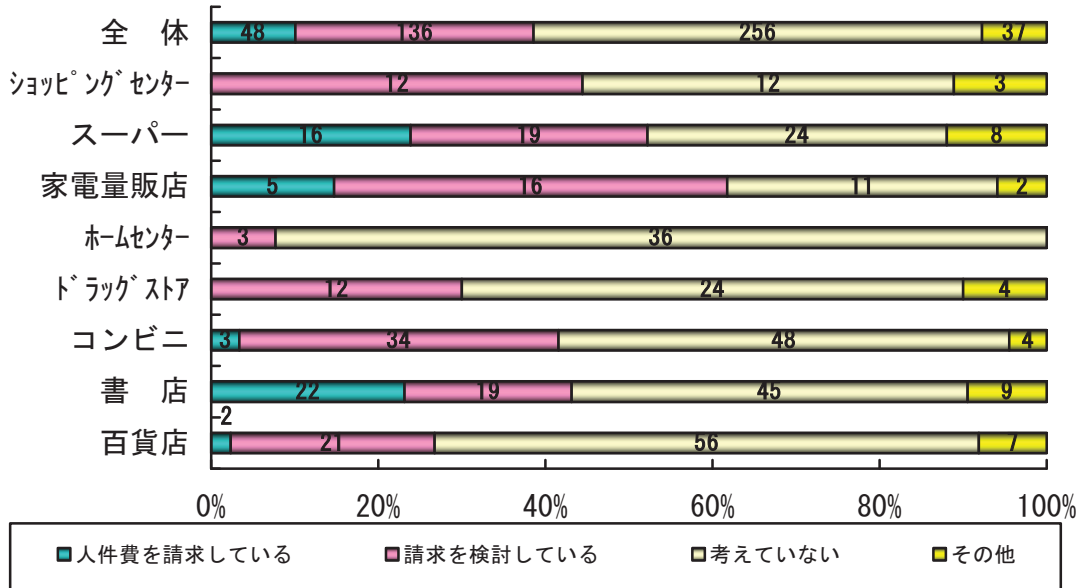
(延べ回答数:117)



(延べ回答数:122)

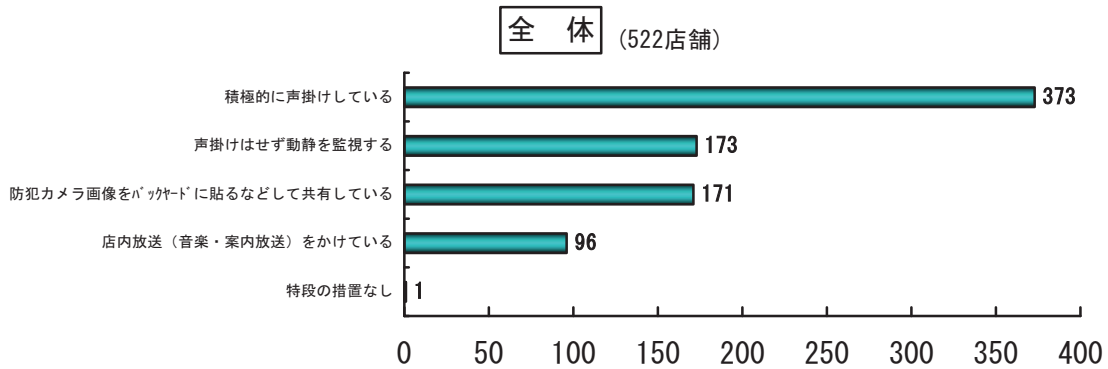
【万引き被害の損害賠償請求への意識】(回答店舗数:477店舗)(内訳 ショッピングセンター:27  
スーパー:67 家電量販店:34 ホームセンター:39 ドラッグストア:40 コンビニ:89 書店:95 百貨店:86)

全体では賠償請求を「考えていない」回答が多く、約半数を占めており、ホームセンターでは9割以上を占めた。スーパーや家電量販店、書店では「人件費を請求している」回答が他の業界より多く見られた。

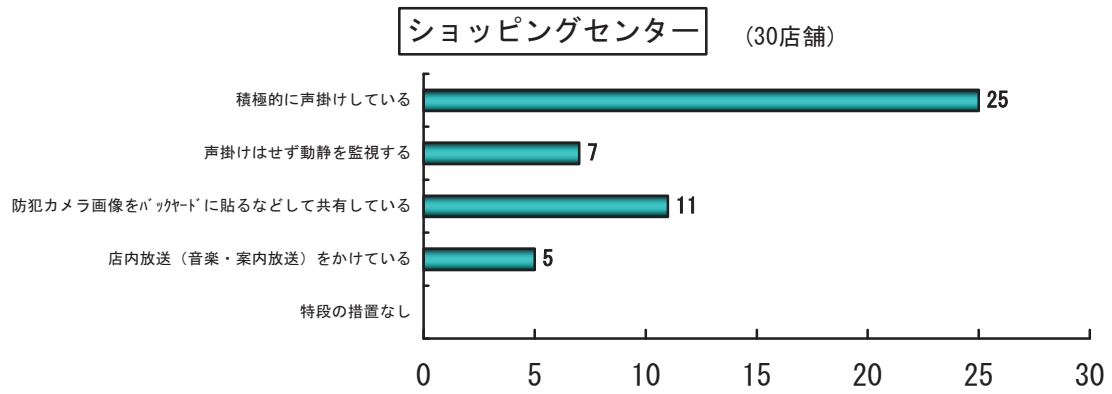


### 3 対応要領

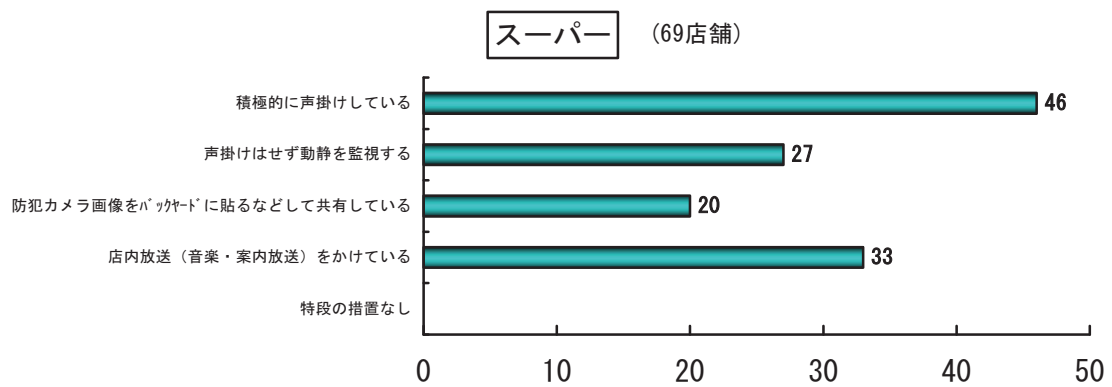
【不審な来店客に対する対応】(複数回答)(回答店舗数:522店舗)  
どの業界でも概ね「積極的に声掛けしている」割合が高い。



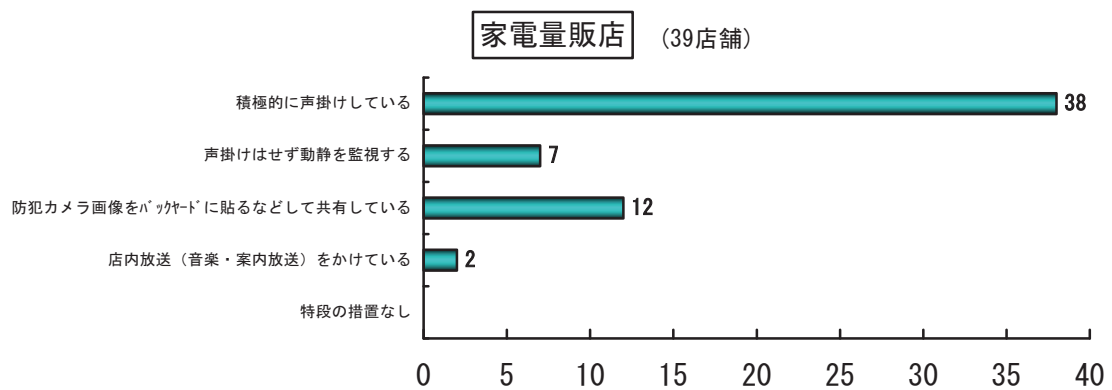
(延べ回答数:814)



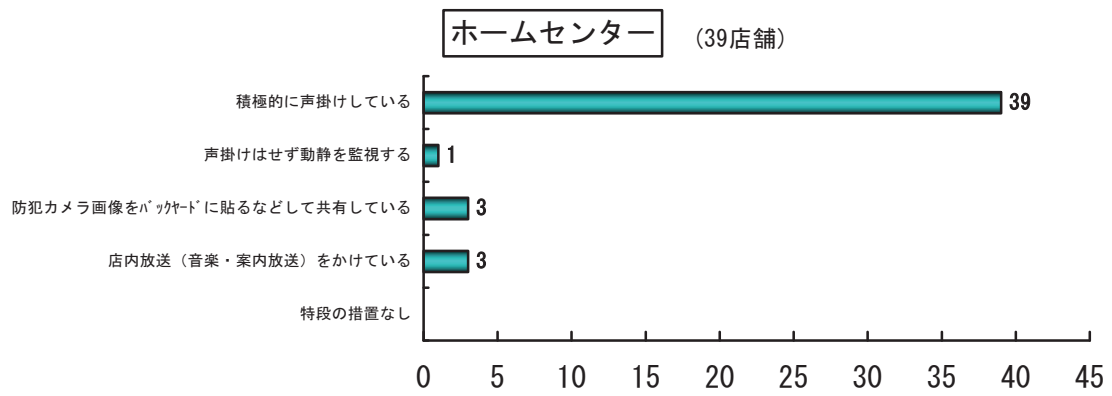
(延べ回答数: 48)



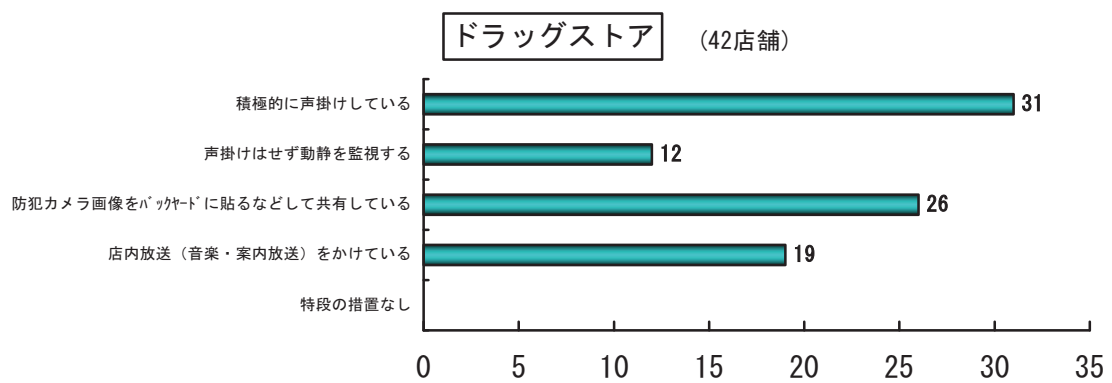
(延べ回答数: 126)



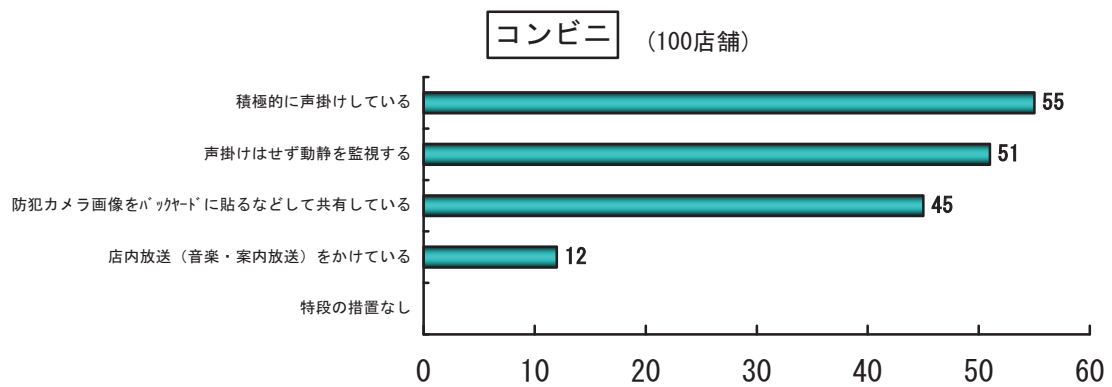
(延べ回答数: 59)



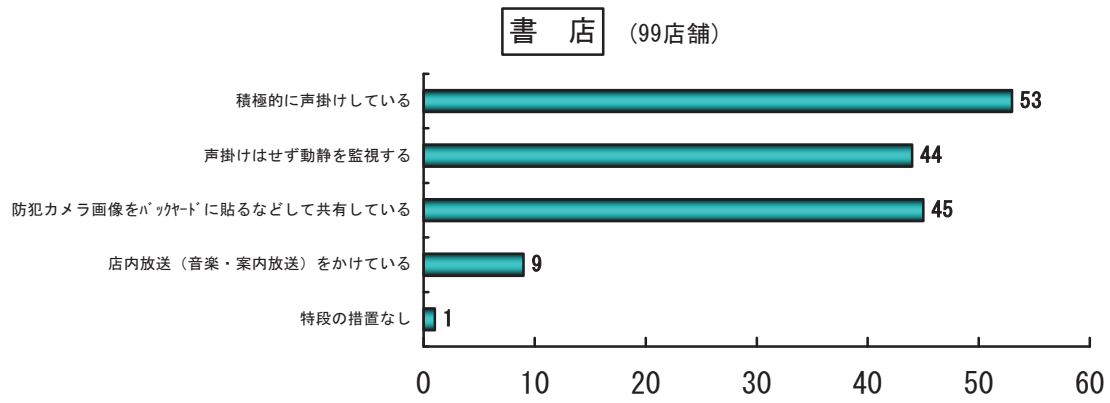
(延べ回答数: 46)



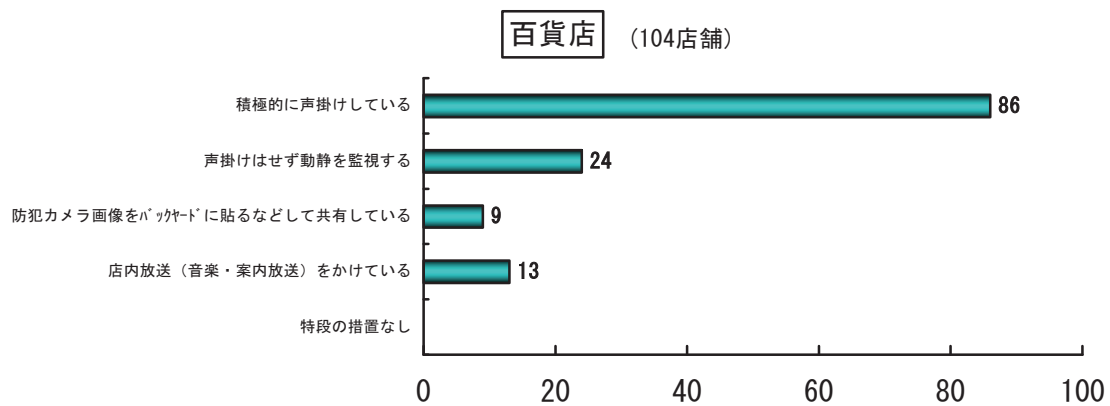
(延べ回答数: 88)



(延べ回答数: 163)



(延べ回答数:152)

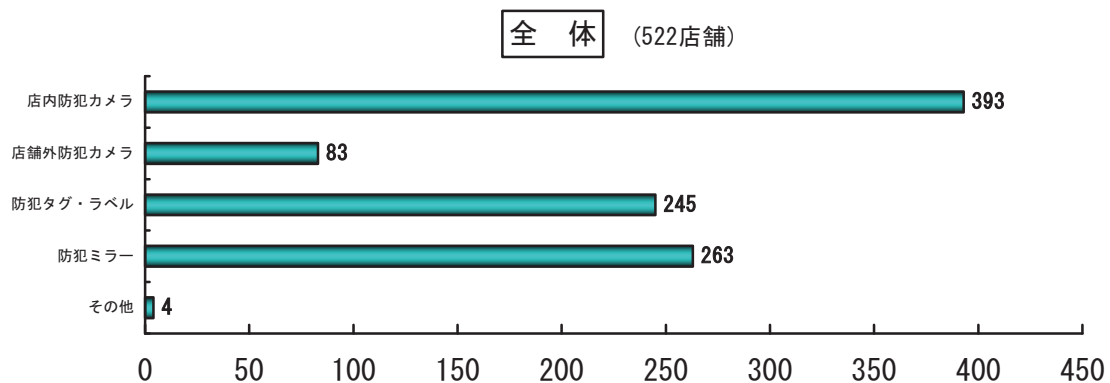


(延べ回答数:132)

## 4 防犯対策

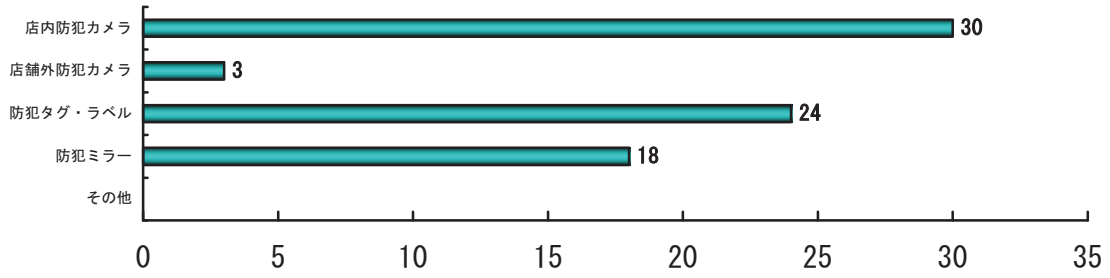
【ハード面の防犯対策】(複数回答)(回答店舗数:522店舗)

全体的に「店内防犯カメラ」の割合が多い。一方コンビニを除いて「店舗外防犯カメラ」の回答が少ない。



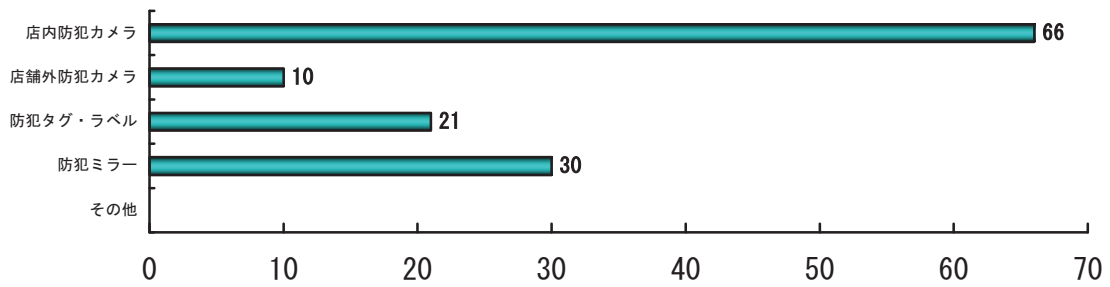
(延べ回答数:988)

ショッピングセンター (30店舗)



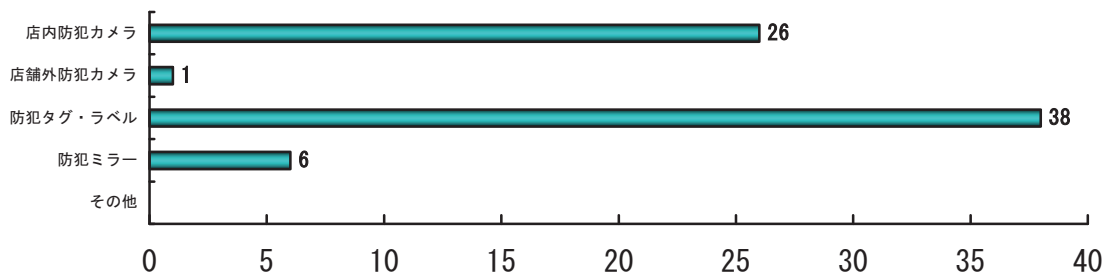
(延べ回答数: 75)

スーパー (69店舗)



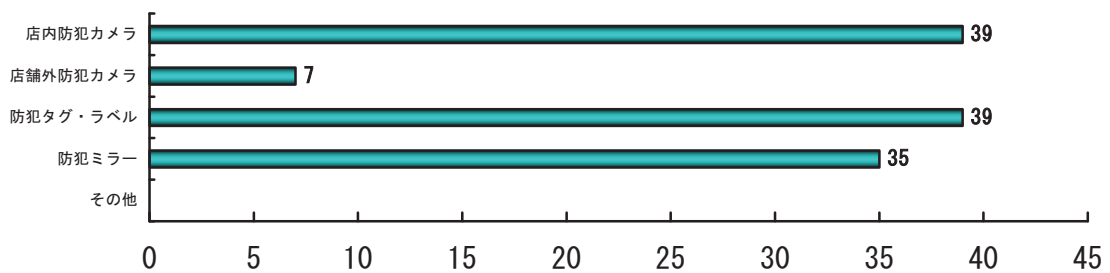
(延べ回答数: 127)

家電量販店 (39店舗)



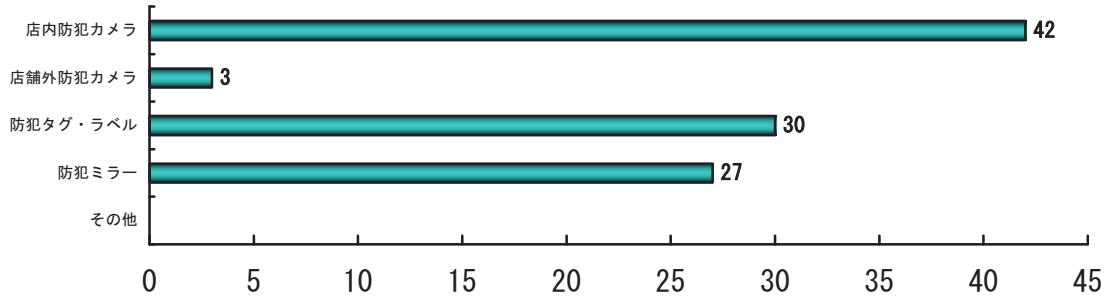
(延べ回答数: 71)

ホームセンター (39店舗)



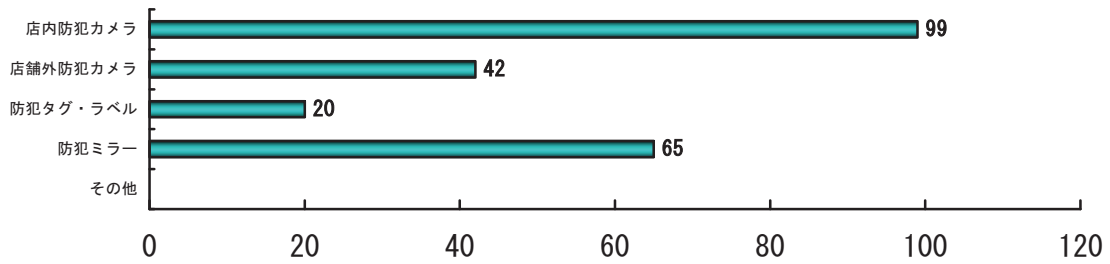
(延べ回答数: 120)

ドラッグストア (42店舗)



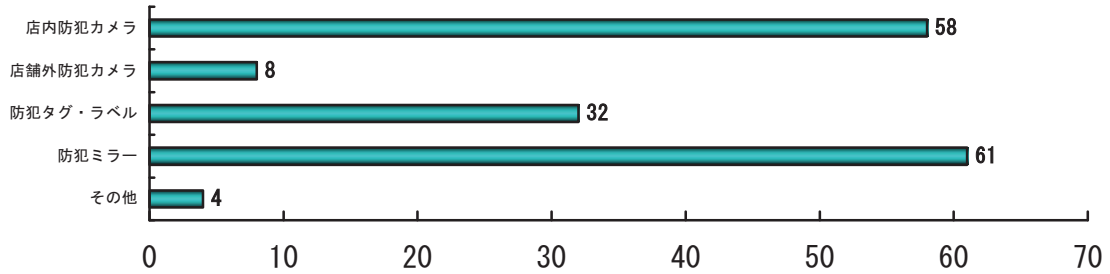
(延べ回答数: 102)

コンビニ (100店舗)



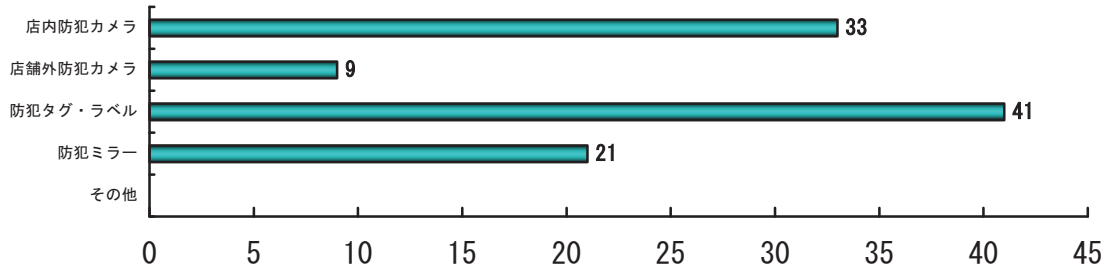
(延べ回答数: 226)

書店 (99店舗)



(延べ回答数: 163)

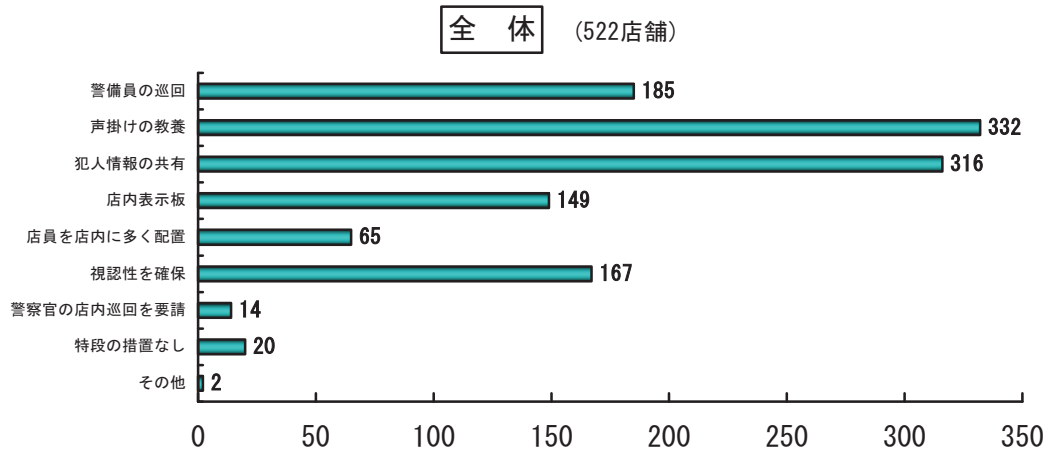
百貨店 (104店舗)



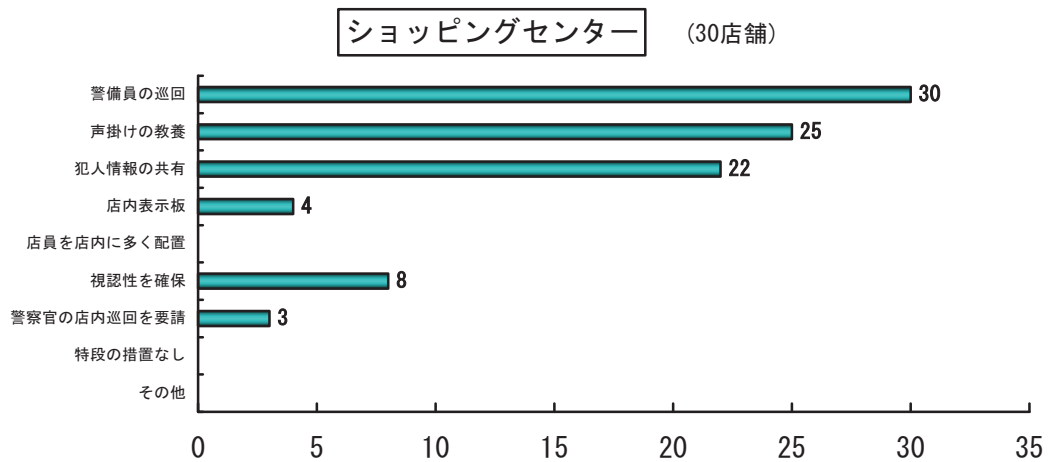
(延べ回答数: 104)

【ソフト面の防犯対策】(複数回答)(回答店舗数:522店舗)

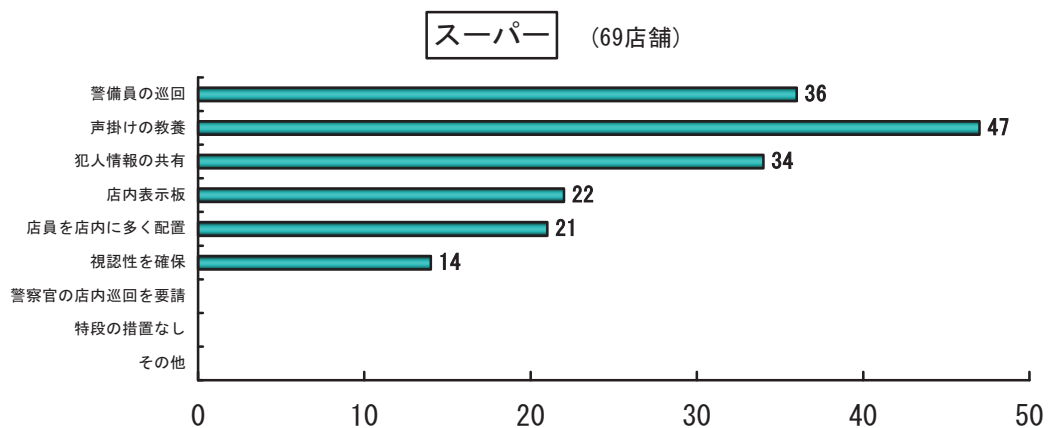
「声掛けの教養」、「犯人情報の共有」の回答が多く、回答の半数を占める。業界で隔たりが見られたのは「警備員の巡回」で家電量販店やコンビニ、書店は回答が少ない。



(延べ回答数:1,250)

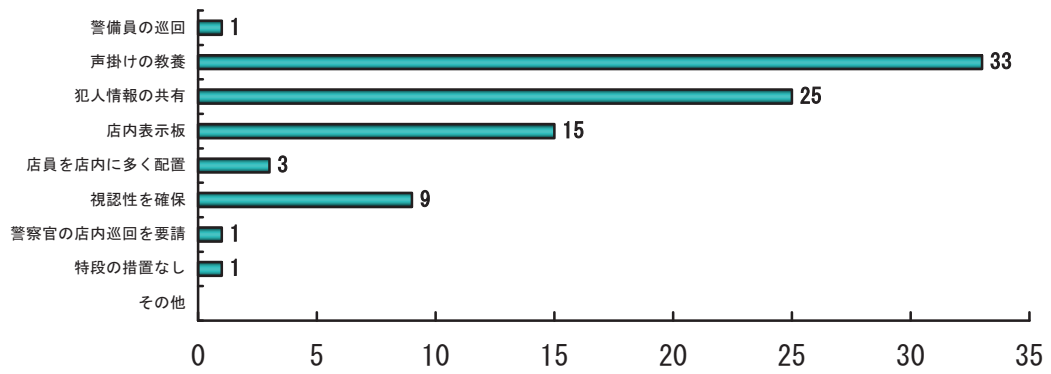


(延べ回答数:92)



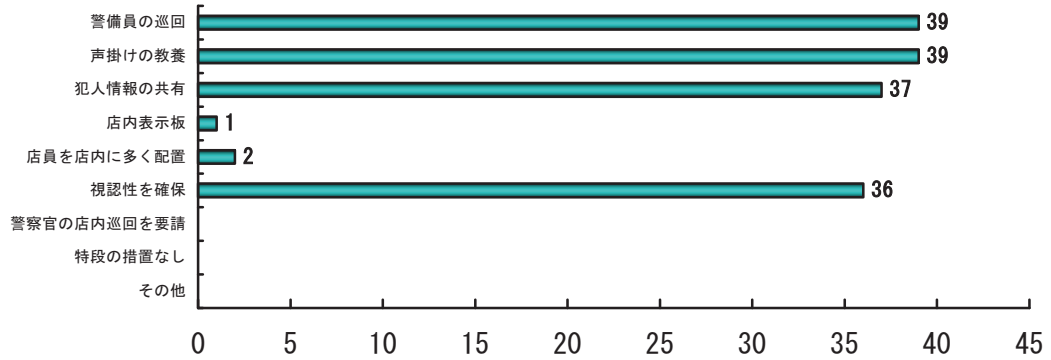
(延べ回答数:174)

家電量販店 (39店舗)



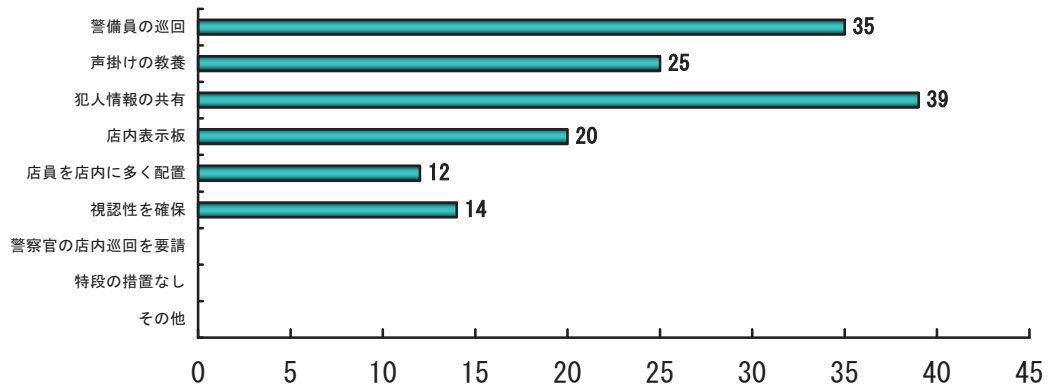
(延べ回答数: 88)

ホームセンター (39店舗)



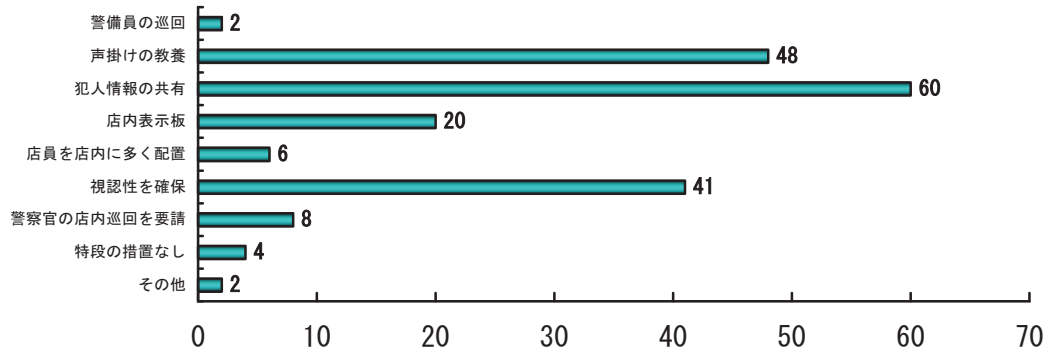
(延べ回答数: 154)

ドラッグストア (42店舗)



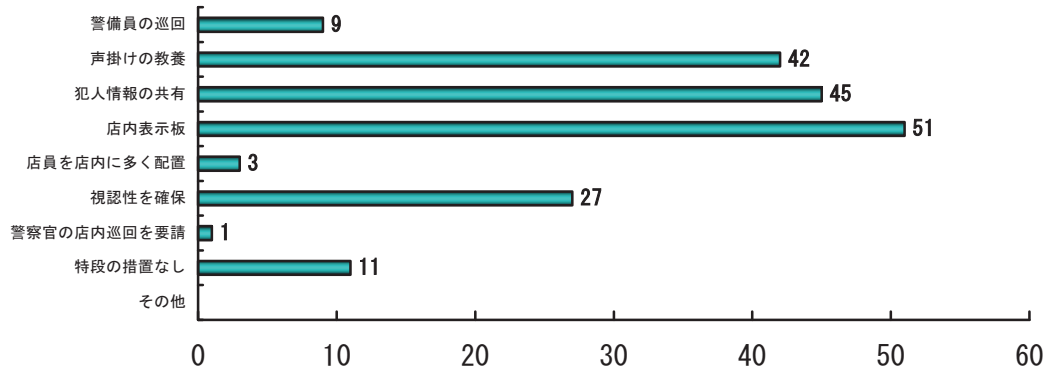
(延べ回答数: 145)

コンビニ (100店舗)



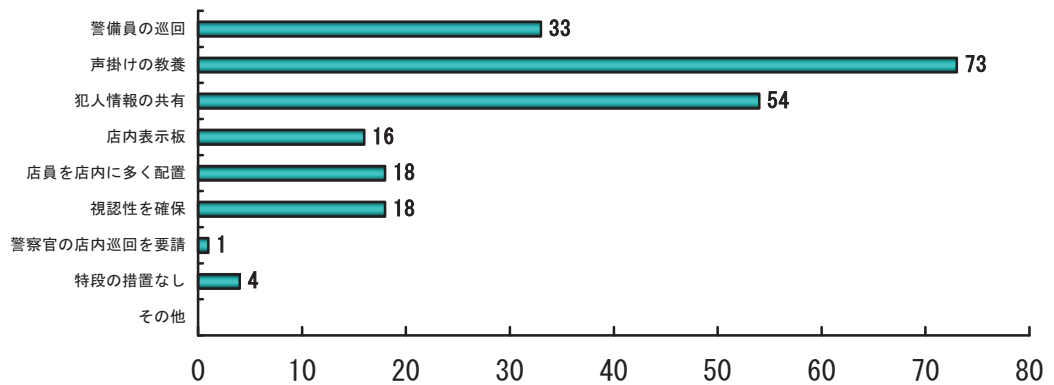
(延べ回答数:191)

書店 (99店舗)



(延べ回答数:189)

百貨店 (104店舗)

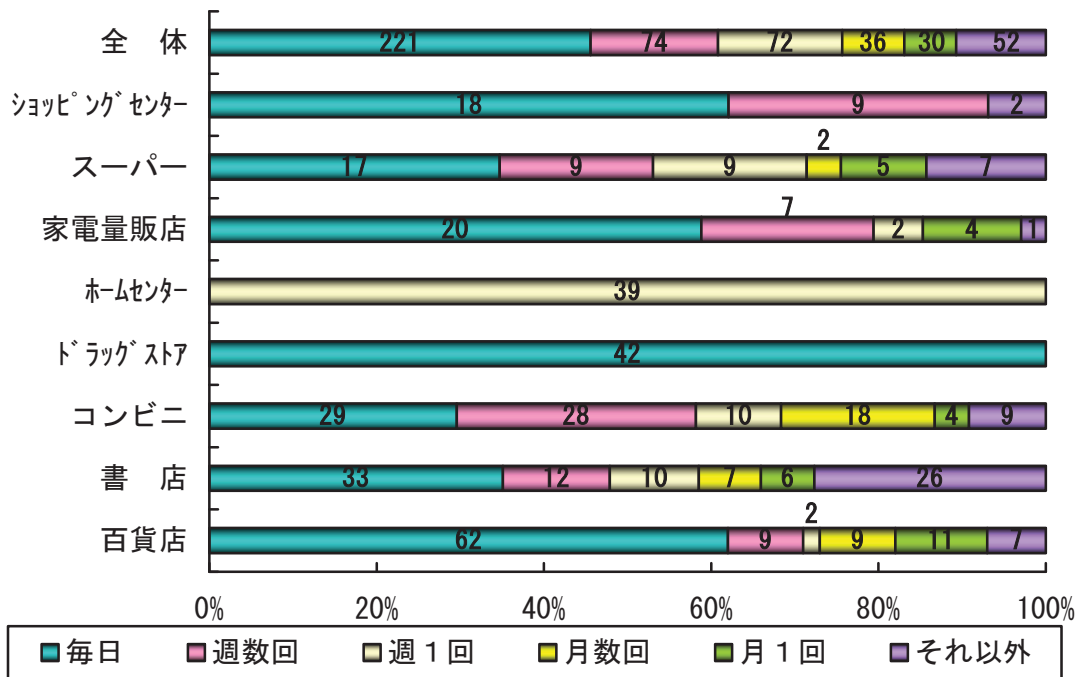


(延べ回答数:217)

## 5 在庫確認

【在庫確認の頻度】(回答店舗数:485 店舗) (内訳 ショッピングセンター:29 スーパー:49 家電量販店:34 ホームセンター:39 ドラッグストア:42 コンビニ:98 書店:94 百貨店:100)

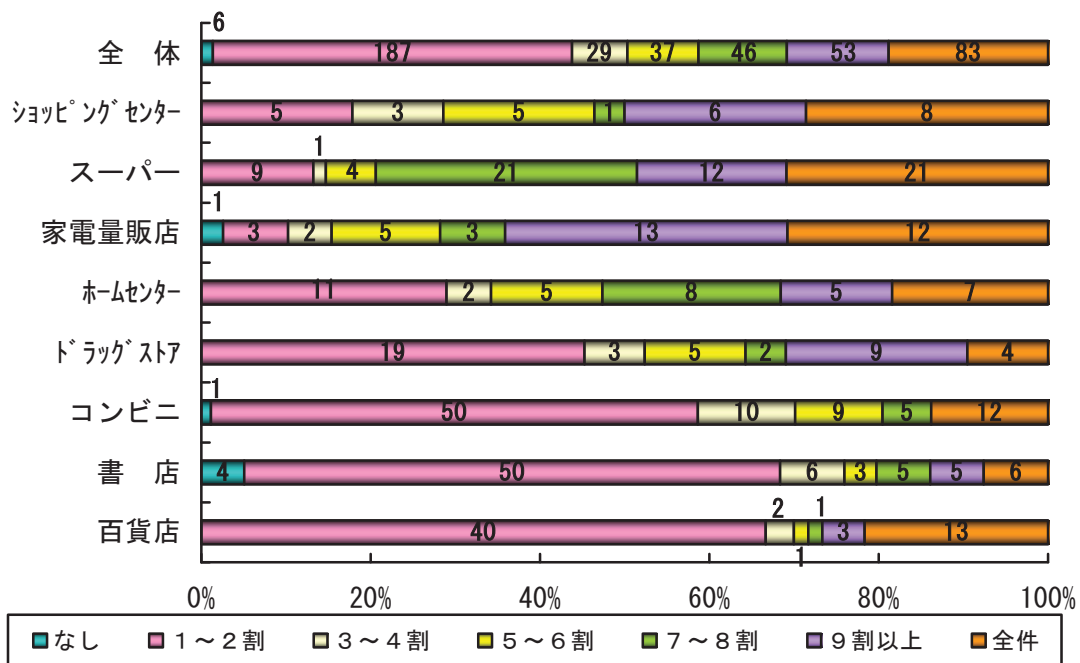
「毎日」行っている割合が多い。ホームセンターでは「週1回」、ドラッグストアでは「毎日」と業界で統一が図られていることが見受けられる。



## 6 警察への届出

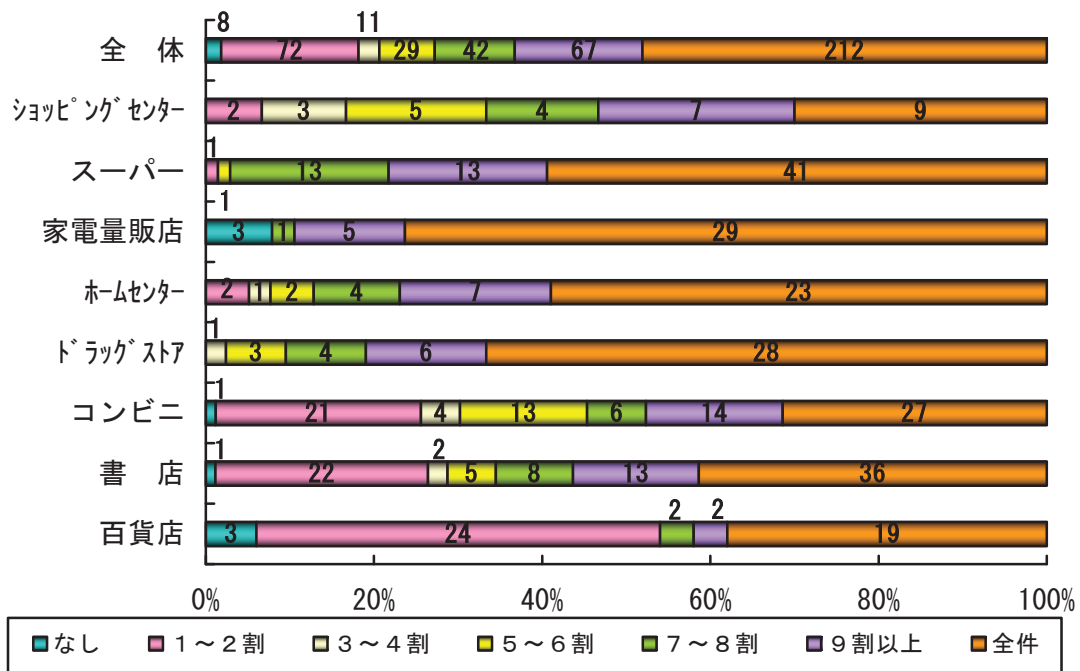
【万引き被害の届出状況】(回答店舗数:441 店舗) (内訳 ショッピングセンター:28 スーパー:68 家電量販店:39 ホームセンター:38 ドラッグストア:42 コンビニ:87 書店:79 百貨店:60)

最も多い回答は「1~2割」であった。「全件」届けている割合は、多い業界で3割、少ない業界で7.6%であった。アンケート項目にない「なし」の回答については、万引き被害に遭った経験がない店舗の回答を示す。



【万引き犯人を捕まえた時の届出状況】(回答店舗数:441店舗)(内訳 ショッピングセンター:30  
スーパー:69 家電量販店:38 ホームセンター:39 ドラッグストア:42 コンビニ:86 書店:87 百貨店:50)

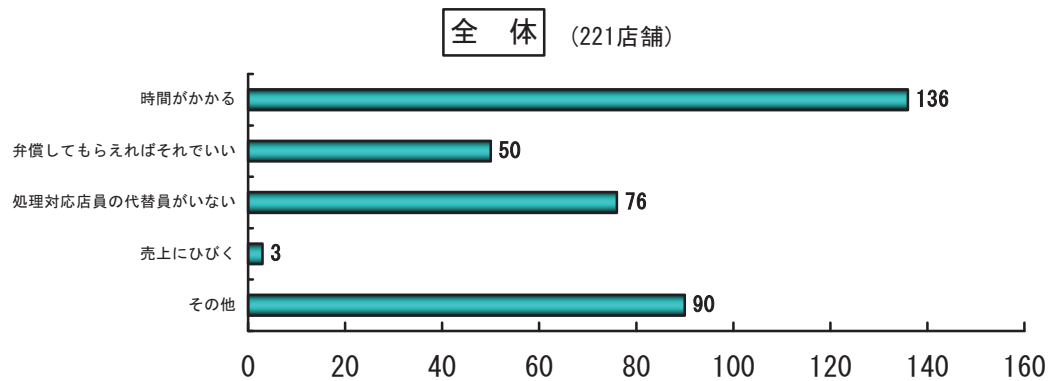
「全件」の割合が最も多く、全体では48.1%を占める。アンケート項目にない「なし」の回答については、万引き犯人を捕まえた経験がない店舗の回答を示す。



## 7 届出しない理由

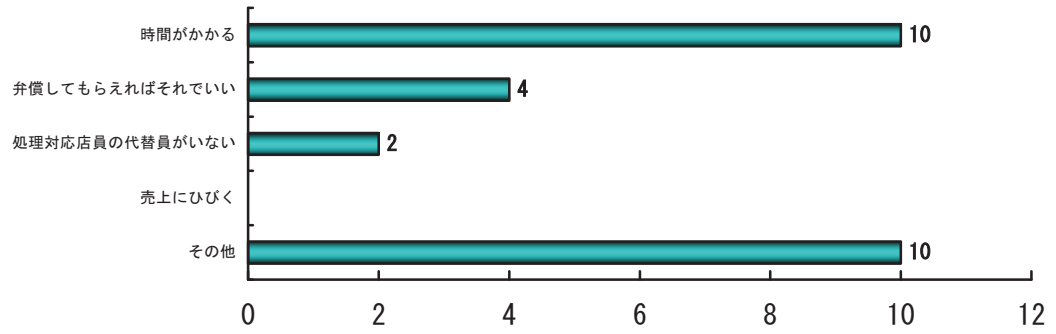
【犯人補足時に届出しない理由】(複数回答)(回答店舗数:221店舗)

「時間がかかる」の回答が最も多い。業界別では、書店が「処理対応店員の代替員がない」が多い。「その他」の回答は、「未成年の場合は学校や親に連絡している」や「万引き被害か判然としないため」が多かった。



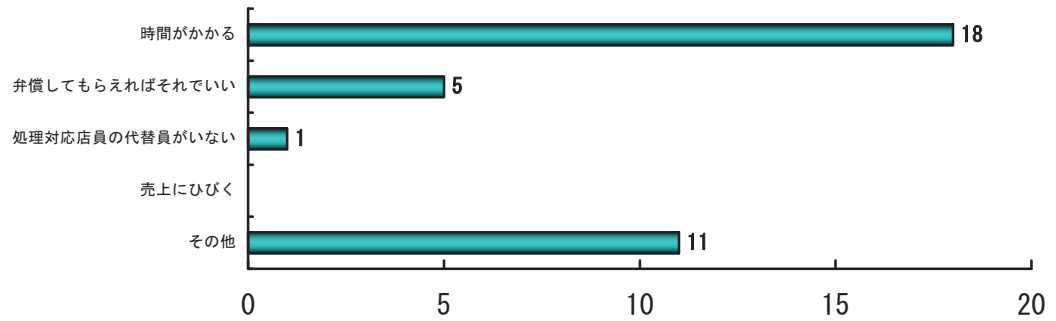
(延べ回答数:355)

ショッピングセンター (21店舗)



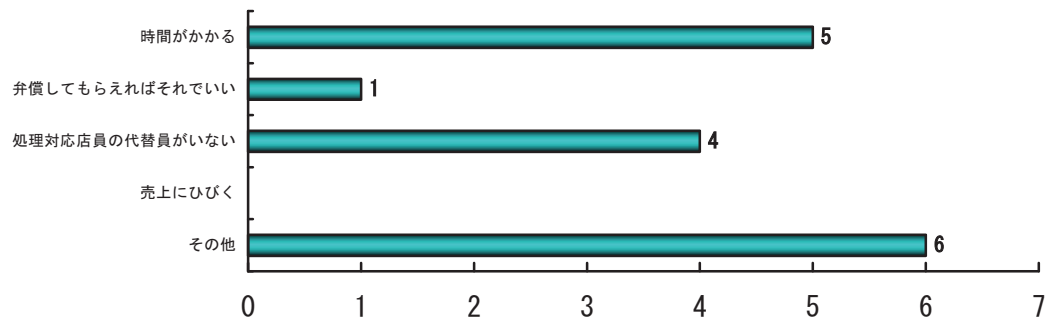
(延べ回答数: 26)

スーパー (28店舗)



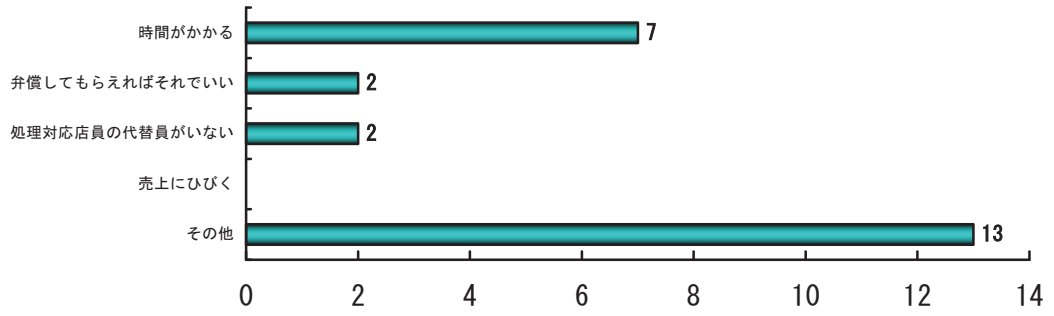
(延べ回答数: 35)

家電量販店 (6店舗)



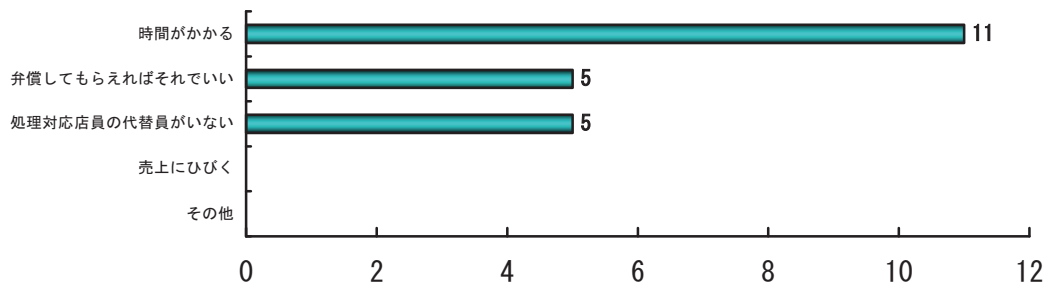
(延べ回答数: 16)

**ホームセンター** (16店舗)



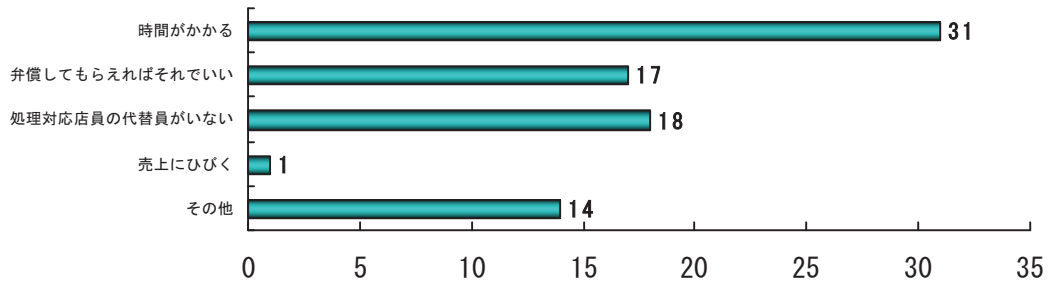
(延べ回答数: 24)

**ドラッグストア** (14店舗)



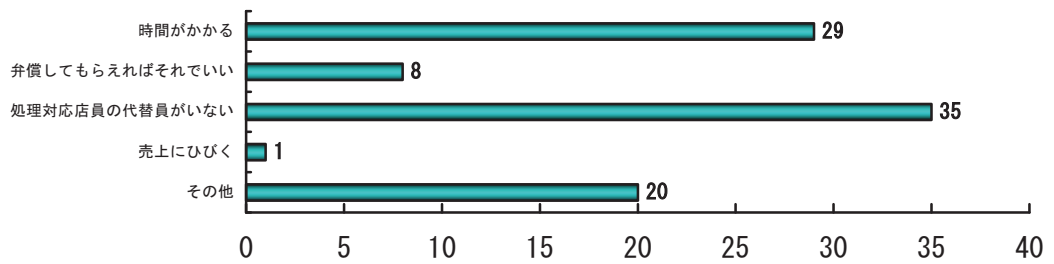
(延べ回答数: 21)

**コンビニ** (58店舗)

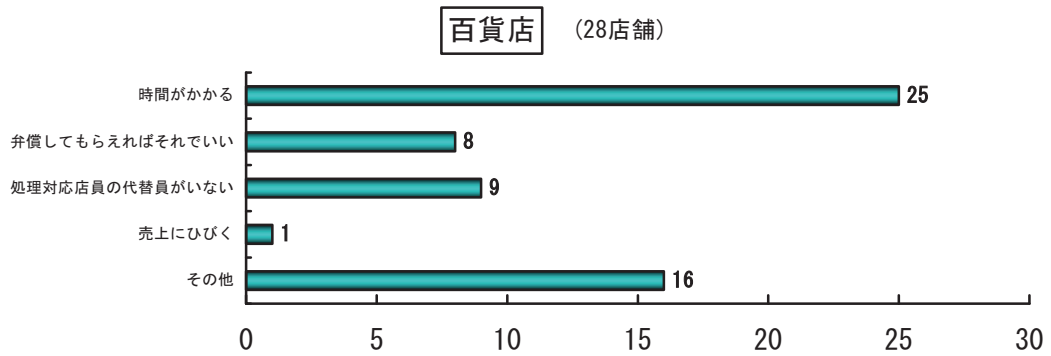


(延べ回答数: 81)

**書店** (50店舗)



(延べ回答数: 93)

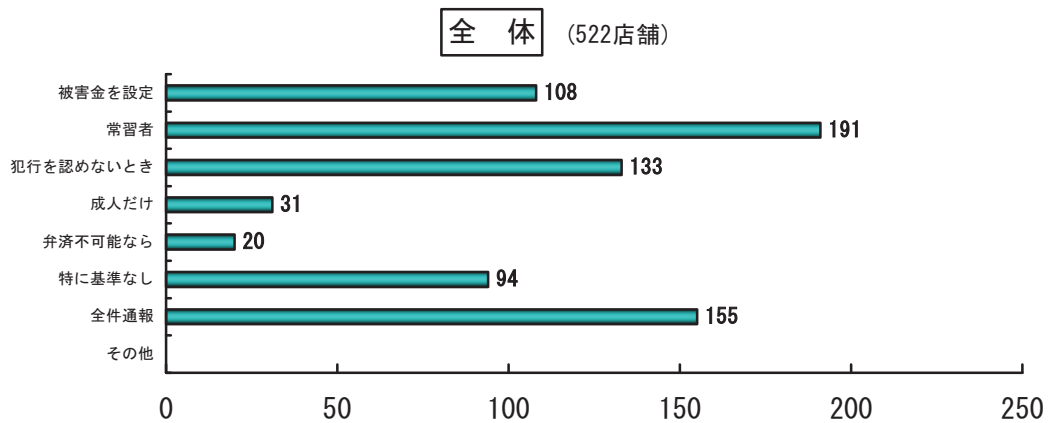


(延べ回答数: 59)

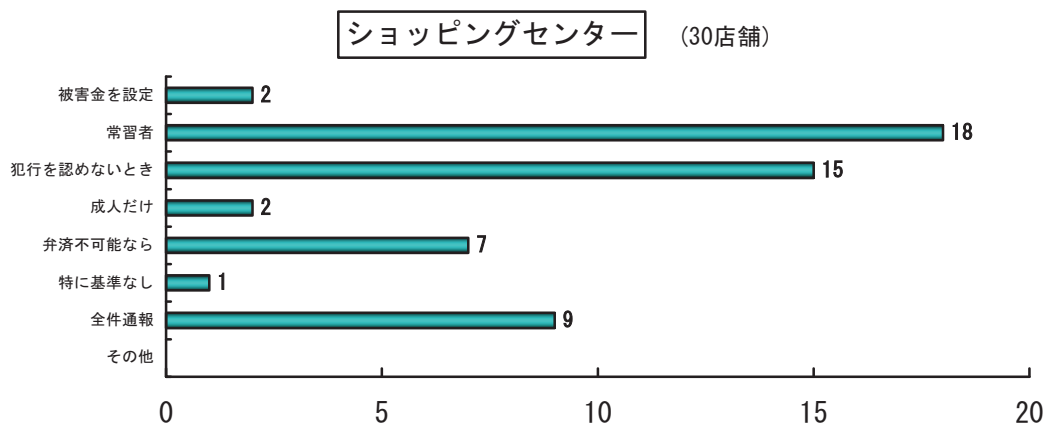
## 8 通報基準

【万引き犯人を捕まえた時の警察への通報基準】(複数回答)(回答店舗数: 522店舗)

「常習者」の回答が最も多い。スーパー、家電量販店、ドラッグストアでは「全件通報」の回答が他の業界と比べ多かった。

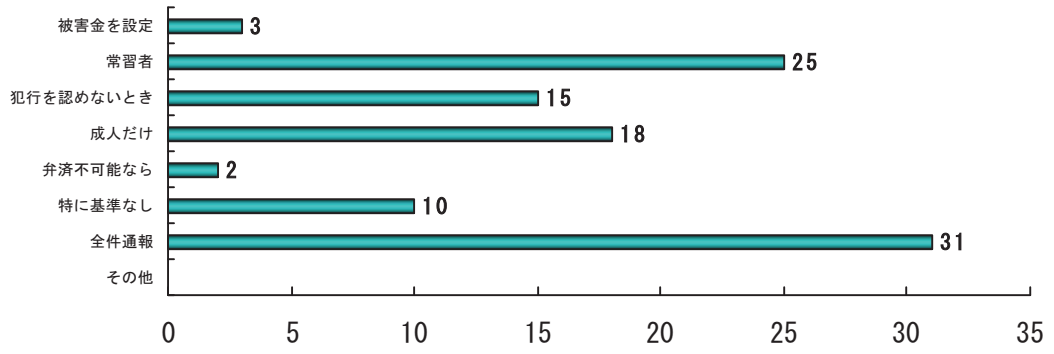


(延べ回答数: 732)



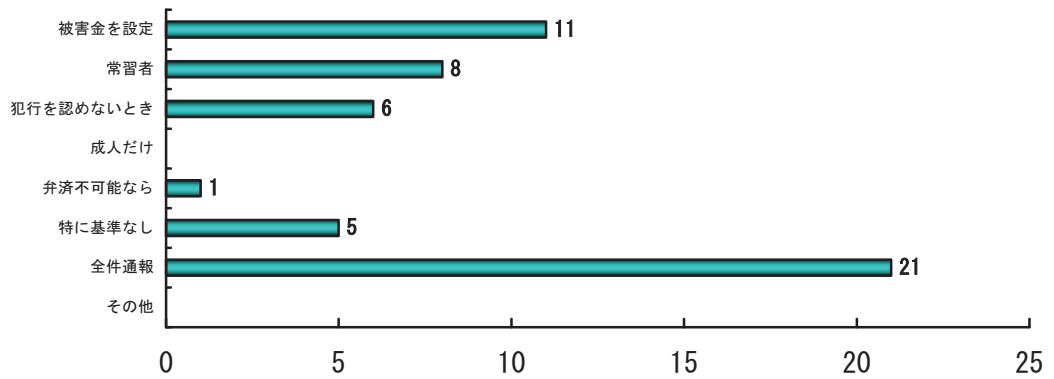
(延べ回答数: 54)

スーパー (69店舗)



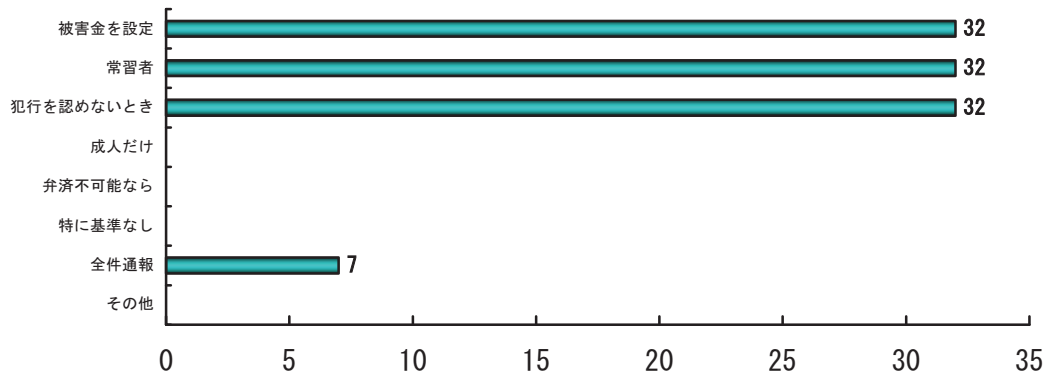
(延べ回答数: 104)

家電量販店 (39店舗)



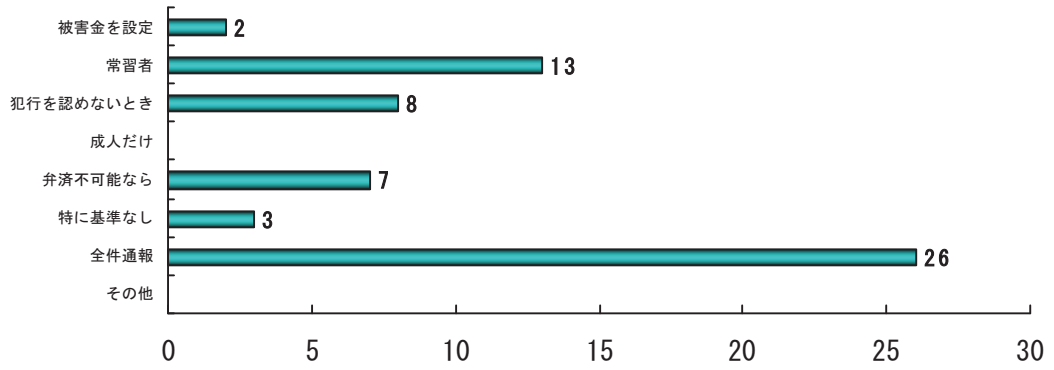
(延べ回答数: 52)

ホームセンター (39店舗)



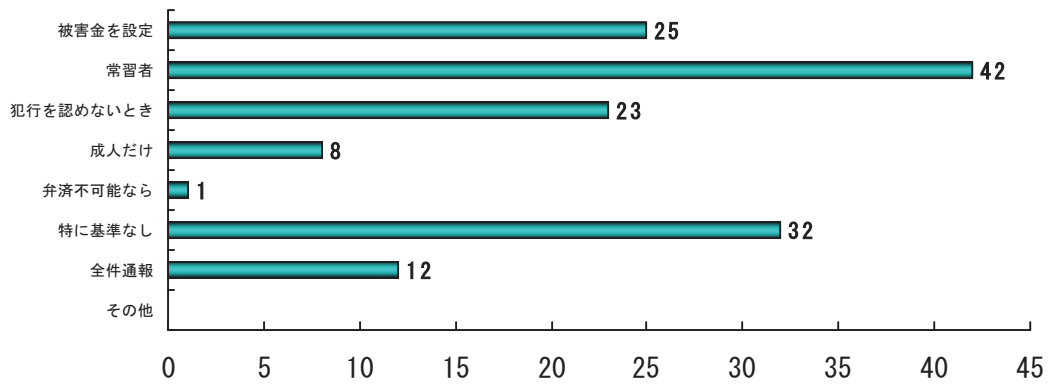
(延べ回答数: 103)

ドラッグストア (42店舗)



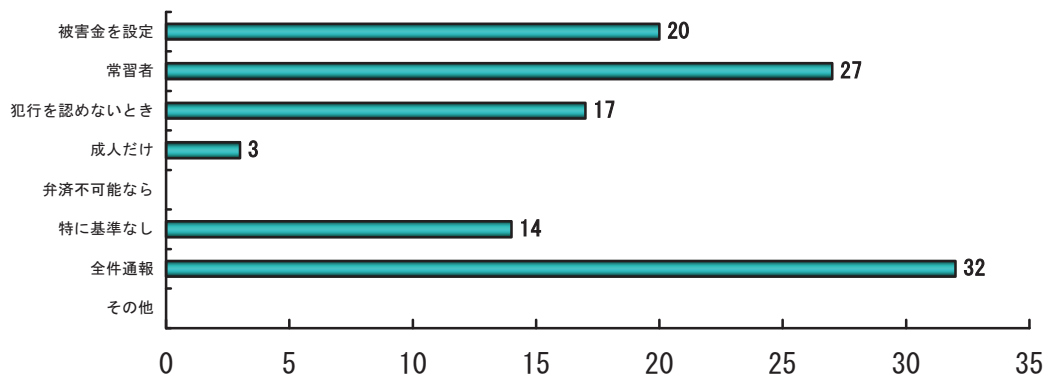
(延べ回答数: 59)

コンビニ (100店舗)

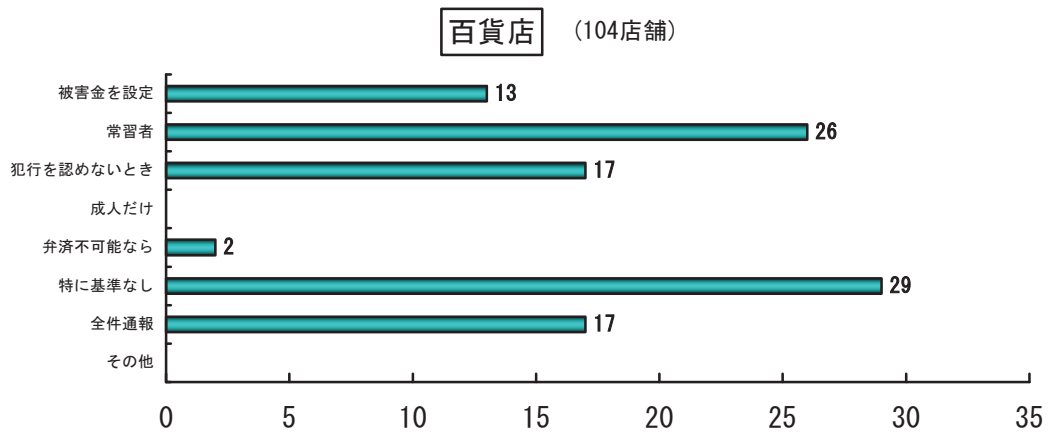


(延べ回答数: 143)

書店 (99店舗)



(延べ回答数: 113)

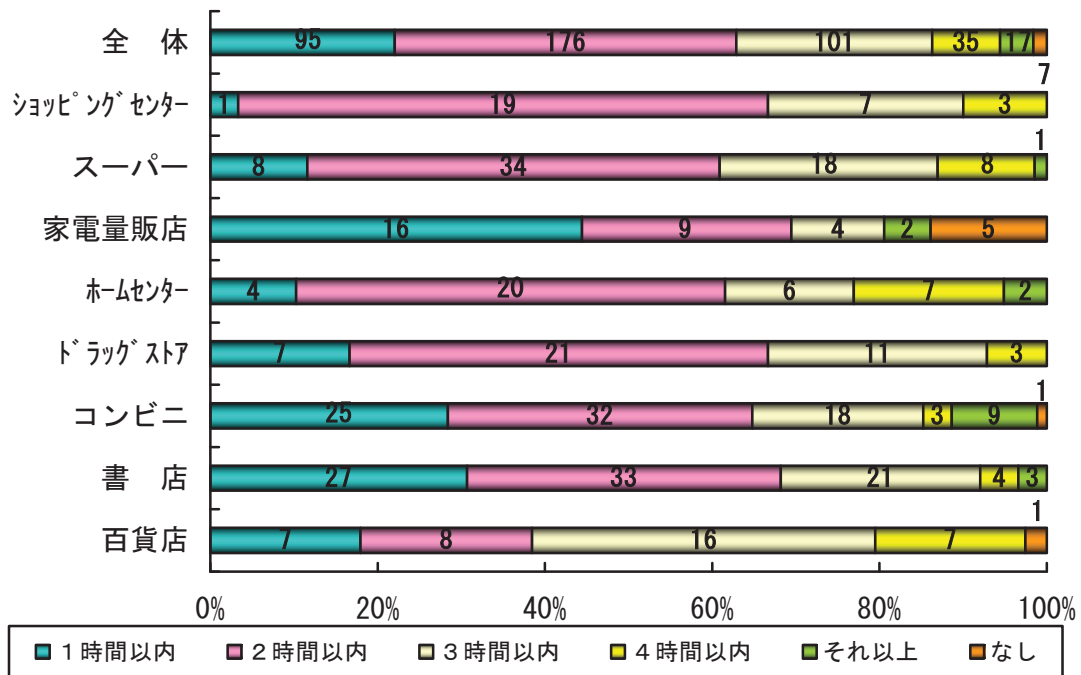


(延べ回答数:104)

## 9 事件処理時間

【今までに万引き犯人を警察に通報した場合の事件処理平均時間】(回答店舗数:431店舗)  
 (内訳 ショッピングセンター:30 スーパー:69 家電量販店:36 ホームセンター:39 ドラッグストア:42 コンビニ:88 書店:88 百貨店:39)

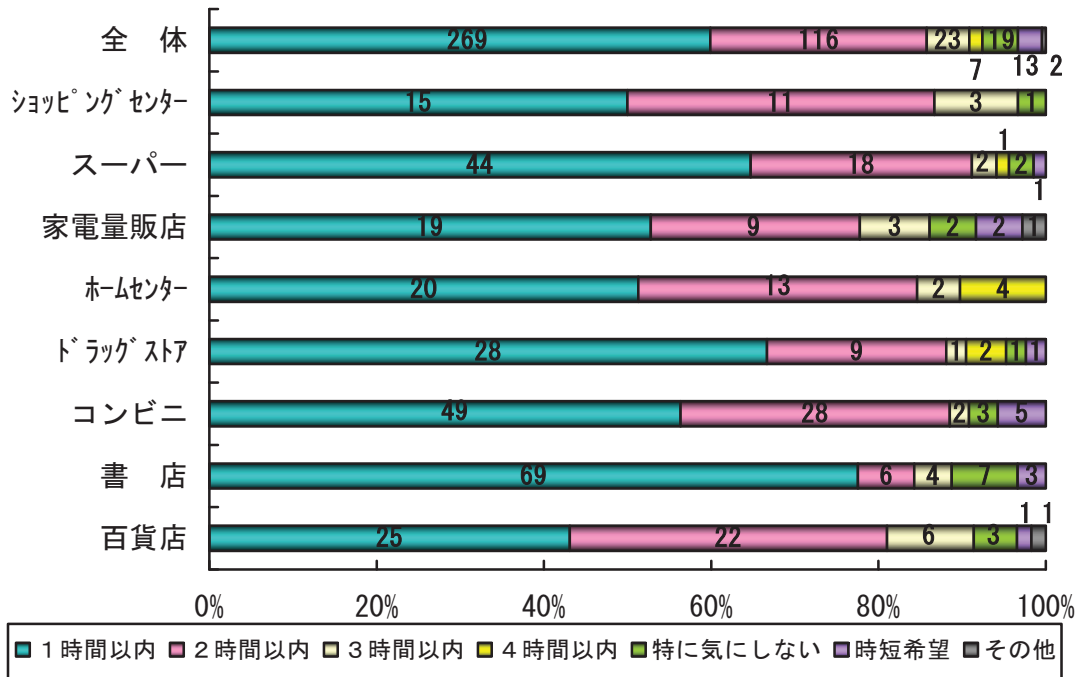
3時間以内までの回答が全体の 86.3%を占める。アンケート項目にない「なし」の回答については、万引き犯人を通報した経験がない店舗の回答を示す。



【万引き犯人を警察に通報した場合の事件処理許容時間】（回答店舗数：449 店舗）

（内訳 ショッピングセンター：30 スーパー：68 家電量販店：36 ホームセンター：39 ドラッグストア：42 コンビニ：87 書店：89 百貨店：58）

2時間以内までの回答が全体の 85.7%を占める。「その他」の回答は、「分からない」や「通報したことなし」など。



共通項目	
対象	①年齢 ( 歳) ②性別 <input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性 ③国籍 <input type="checkbox"/> 日本人 <input type="checkbox"/> 外国人(国名: ) ④職業 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> パート・アルバイト <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 無職
生活状況	①同居者 <input type="checkbox"/> 独居 <input type="checkbox"/> 家族( 名) <input type="checkbox"/> 家族以外と同居 <input type="checkbox"/> その他( ) ②配偶者 <input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居 <input type="checkbox"/> なし ③資産 <input type="checkbox"/> 土地 <input type="checkbox"/> 家屋 <input type="checkbox"/> 預貯金 <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> なし ④就労状況 <input type="checkbox"/> 定期 <input type="checkbox"/> 不定期 <input type="checkbox"/> なし ⑤収入 <input type="checkbox"/> 月収( <input type="checkbox"/> 10万円以下 <input type="checkbox"/> 20万円以下 <input type="checkbox"/> 30万円以下 <input type="checkbox"/> それ以上) <input type="checkbox"/> なし ⑥生活保護 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ⑦借金 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ⑧生活実態 <input type="checkbox"/> 裕福 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや困窮 <input type="checkbox"/> 困窮 ⑨交友関係 <input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> ほとんどいない ⑩素行不良者との交遊 <input type="checkbox"/> 暴力団関係者 <input type="checkbox"/> 暴走族関係者 <input type="checkbox"/> 不良仲間 <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> なし ⑪家出の有無 <input type="checkbox"/> あり( 回) <input type="checkbox"/> 家出中 <input type="checkbox"/> なし ⑫相談できる者 <input type="checkbox"/> 家族 <input type="checkbox"/> 先生 <input type="checkbox"/> 上司、同僚 <input type="checkbox"/> 先輩、友人 <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> なし ⑬健康状態 <input type="checkbox"/> 健康 <input type="checkbox"/> 不健康(加療中:病名 )
犯行の態様	①場所 <input type="checkbox"/> コンビニ <input type="checkbox"/> スーパー <input type="checkbox"/> デパート <input type="checkbox"/> 書店 <input type="checkbox"/> 量販店 <input type="checkbox"/> その他( ) ②時間帯 <input type="checkbox"/> 朝(6時~) <input type="checkbox"/> 昼前後(10時~) <input type="checkbox"/> 昼間(13時~) <input type="checkbox"/> 夕方(16時~) <input type="checkbox"/> 夜(19時~) <input type="checkbox"/> 深夜(23時~) ③目的物 <input type="checkbox"/> 日用品 <input type="checkbox"/> 食料品 <input type="checkbox"/> 衣料品 <input type="checkbox"/> 書籍 <input type="checkbox"/> 文房具 <input type="checkbox"/> CD、ゲームソフト <input type="checkbox"/> その他( ) ④被害額 約 円 ⑤共犯者 <input type="checkbox"/> あり( 人) <input type="checkbox"/> なし ⑥共犯関係 <input type="checkbox"/> 同学校( <input type="checkbox"/> 同級生 <input type="checkbox"/> 先輩 <input type="checkbox"/> 後輩) <input type="checkbox"/> 他校の仲間( <input type="checkbox"/> 同級生 <input type="checkbox"/> 先輩 <input type="checkbox"/> 後輩) <input type="checkbox"/> その他の仲間( <input type="checkbox"/> 同級生 <input type="checkbox"/> 先輩 <input type="checkbox"/> 後輩) <input type="checkbox"/> ネット仲間 <input type="checkbox"/> その他( ) ⑦計画性 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ⑧マイバッグ(エコバッグ)使用の有無 <input type="checkbox"/> あり( <input type="checkbox"/> マイバッグ <input type="checkbox"/> エコバッグ) <input type="checkbox"/> なし ⑨行為目的 <input type="checkbox"/> 売却 <input type="checkbox"/> 自己消費 <input type="checkbox"/> 友人、仲間への譲り渡し <input type="checkbox"/> 目的なし <input type="checkbox"/> その他( ) ⑩目的が売却の場合、売却先 <input type="checkbox"/> 友人、仲間 <input type="checkbox"/> 中古品店 <input type="checkbox"/> ネットオークション <input type="checkbox"/> その他( )
動機・原因等	⑤心理的背景 <input type="checkbox"/> 生き甲斐がない( <input type="checkbox"/> 生活面でスリル、刺激が欲しい <input type="checkbox"/> その他( ) ) <input type="checkbox"/> むしゃくしゃしていた <input type="checkbox"/> ゲーム感覚 <input type="checkbox"/> 誘いや指示を断れなかった <input type="checkbox"/> 認知症 <input type="checkbox"/> 孤独 ( <input type="checkbox"/> 金銭面で不安 <input type="checkbox"/> 生活面でスリル、刺激が欲しい <input type="checkbox"/> 捕まっても家族や他人と関わりを持ちたかった <input type="checkbox"/> 孤独を紛らわす為の代償行為 <input type="checkbox"/> その他( ) ) <input type="checkbox"/> お金を使いたくなかった( <input type="checkbox"/> 将来の生活不安 <input type="checkbox"/> もったいない <input type="checkbox"/> 生活が苦しい) <input type="checkbox"/> その他( )

<p>動機・原因等のつづき</p>	<p>②店舗の選定理由  <input type="checkbox"/>店員、警備員が少ない <input type="checkbox"/>防犯カメラがない <input type="checkbox"/>死角が多い  <input type="checkbox"/>理由なし <input type="checkbox"/>その他（            ）</p> <p>③時間帯の選定理由  <input type="checkbox"/>店員が忙しい時間帯 <input type="checkbox"/>店員、警備員が少ない時間帯 <input type="checkbox"/>客の多い時間帯  <input type="checkbox"/>いつも買い物をする時間帯 <input type="checkbox"/>理由なし <input type="checkbox"/>その他（            ）</p> <p>④万引きの断念理由  <input type="checkbox"/>店員から声を掛けられたら <input type="checkbox"/>警備員が巡回していたら  <input type="checkbox"/>防犯カメラがあったら <input type="checkbox"/>防犯ミラーがあったら <input type="checkbox"/>その他（            ）</p> <p>⑤犯行時の所持金  <input type="checkbox"/>あり <input type="checkbox"/>なし</p>
<p>規範意識等</p>	<p>①規範意識 <input type="checkbox"/>悪いことではない <input type="checkbox"/>捕まらない <input type="checkbox"/>捕まっても弁償で済む  <input type="checkbox"/>捕まっても将来に影響はない <input type="checkbox"/>厳しく処罰される <input type="checkbox"/>何も考えていない  <input type="checkbox"/>その他（            ）</p> <p>②万引きが犯罪であることの認識  <input type="checkbox"/>知っている <input type="checkbox"/>知らない</p> <p>③万引きが犯罪であることの教示元  <input type="checkbox"/>学校 <input type="checkbox"/>家庭 <input type="checkbox"/>職場 <input type="checkbox"/>新聞、テレビ <input type="checkbox"/>その他（            ）  <input type="checkbox"/>なし</p> <p>④今の気持ち<input type="checkbox"/>運が悪かった <input type="checkbox"/>いつかは捕まると思っていた <input type="checkbox"/>捕まって良かった  <input type="checkbox"/>その他（            ）</p>
<p>社会的支援等</p>	<p>①社会的支援～今後受けたい支援（複数回答可）  <input type="checkbox"/>就労 <input type="checkbox"/>住居 <input type="checkbox"/>生活保護 <input type="checkbox"/>医療 <input type="checkbox"/>介護 <input type="checkbox"/>その他（            ）  <input type="checkbox"/>なし</p> <p>②生き甲斐～こころの支えは何か（複数回答可）  <input type="checkbox"/>家族 <input type="checkbox"/>仕事、勉学 <input type="checkbox"/>将来への希望 <input type="checkbox"/>趣味 <input type="checkbox"/>人との触れ合い  <input type="checkbox"/>その他（            ）<input type="checkbox"/>なし</p>
<p>常習性</p>	<p>①万引きをして見つからなかったことの有無  <input type="checkbox"/>あり（        回）<input type="checkbox"/>なし</p> <p>②万引きをして通報されなかった場合の有無  <input type="checkbox"/>あり（        回）<input type="checkbox"/>なし</p> <p>※犯歴ありの場合は以降の設問に進む</p> <p>③犯歴（非行歴）～初犯の罪種と2回目以降の罪種  （犯歴：            件）（初犯の罪種：            ）  〔 初犯以降の罪種：<input type="checkbox"/>万引き    件 <input type="checkbox"/>自転車盗    件 <input type="checkbox"/>占離    件  <input type="checkbox"/>オートバイ盗    件 <input type="checkbox"/>その他（            ）    件 〕</p> <p>②初犯万引き検挙の処分  （処分結果：            ）</p> <p>③上記処分に対する感想  <input type="checkbox"/>以外と軽かった <input type="checkbox"/>何とも思わない <input type="checkbox"/>厳しく受け止め後悔した  <input type="checkbox"/>その他（            ）</p> <p>⑥モラルに対する意識  <input type="checkbox"/>守らなければいけないことは知っている <input type="checkbox"/>自分さえ良ければいい  <input type="checkbox"/>守っても意味がない <input type="checkbox"/>考えたことはない <input type="checkbox"/>その他（            ）</p> <p>⑦今後の自己展望  <input type="checkbox"/>ある程度の年齢になったら考えると思う  <input type="checkbox"/>周りから変な目で見られると思う <input type="checkbox"/>仕事、学業等ができなくなると思う  <input type="checkbox"/>またやってしまうかもしれない <input type="checkbox"/>どうなっても構わない  <input type="checkbox"/>努力して立ち直りたい <input type="checkbox"/>分からない <input type="checkbox"/>その他（            ）</p>

少年被疑者対象項目	
学識	①学識 <input type="checkbox"/> 小学( 年生) <input type="checkbox"/> 中学( 年生) <input type="checkbox"/> 高校( 年生) <input type="checkbox"/> 専門学校( 年生) <input type="checkbox"/> 大学( 年生) <input type="checkbox"/> その他学生( ) <input type="checkbox"/> 有職 <input type="checkbox"/> 無職
家庭環境	①保護者の状況 <input type="checkbox"/> 両親あり <input type="checkbox"/> 父のみ <input type="checkbox"/> 母のみ <input type="checkbox"/> 両親なし ②保護者との関係 <input type="checkbox"/> 良い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 良くない <input type="checkbox"/> その他( ) ③兄弟の状況 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ④兄弟の関係 <input type="checkbox"/> 良い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 良くない <input type="checkbox"/> その他( )
金銭関係	①小遣い金額 <input type="checkbox"/> 就労(月約 円) <input type="checkbox"/> 非就労 ②小遣いの使い道 <input type="checkbox"/> 飲食 <input type="checkbox"/> 遊興 <input type="checkbox"/> 衣類 <input type="checkbox"/> 書籍・雑誌・マンガ <input type="checkbox"/> 文房具 <input type="checkbox"/> ゲームソフト <input type="checkbox"/> CD・DVD <input type="checkbox"/> その他( )
養育関係	①保護者の接し方 <input type="checkbox"/> 過保護 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 放任 <input type="checkbox"/> その他( ) ②躰 <input type="checkbox"/> 厳しい( <input type="checkbox"/> 生活態度 <input type="checkbox"/> 勉強態度 <input type="checkbox"/> その他( )) <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 甘い( <input type="checkbox"/> 何も言わない <input type="checkbox"/> 関心がない <input type="checkbox"/> その他( )) ③保護者へ期待すること <input type="checkbox"/> あり(何を: ) <input type="checkbox"/> なし

# 万引き被害に関するアンケート

※□にし点で記入をお願いします

(店名: \_\_\_\_\_)

営業種別	①営業する業種 <input type="checkbox"/> ショッピングセンター <input type="checkbox"/> コンビニ <input type="checkbox"/> スーパー <input type="checkbox"/> デパート <input type="checkbox"/> 書店 <input type="checkbox"/> ドラッグストア <input type="checkbox"/> ホームセンター <input type="checkbox"/> 家電量販店 <input type="checkbox"/> その他 ( _____ )
影響	②万引き被害の影響 <input type="checkbox"/> 死活問題 <input type="checkbox"/> 特に影響しない ( <input type="checkbox"/> 保険で賄うので気にしていない <input type="checkbox"/> 万引き被害を価格に上乗せしている )
意識	③万引き犯への意識 (処罰意思) (複数回答可) <input type="checkbox"/> 絶対に許せない <input type="checkbox"/> 常習犯など悪質性のあるものは許せない <input type="checkbox"/> 弁償してくれれば大げさにしたくない <input type="checkbox"/> 子どもは大目に見るべき <input type="checkbox"/> 高齢者は大目に見るべき <input type="checkbox"/> 何も思わない <input type="checkbox"/> その他 ( _____ )
対応要領	④万引き被害の損害賠償への意識 <input type="checkbox"/> 処理にかかる人件費の損害賠償を請求している <input type="checkbox"/> 損害賠償請求を検討している <input type="checkbox"/> 損害賠償請求は考えていない <input type="checkbox"/> その他 ( _____ )
防犯対策	⑤不審な来店者に対する対応 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 積極的に声掛けしている <input type="checkbox"/> 声掛けはせずに動静を監視する <input type="checkbox"/> 防犯カメラ画像などをバックヤードに張るなどして共有している <input type="checkbox"/> 店内放送 (音楽・案内放送) 等をかけている <input type="checkbox"/> 特段の措置なし
防犯対策	⑥ハード面の対策 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 店内防犯カメラ <input type="checkbox"/> 店舗外防犯カメラ <input type="checkbox"/> 防犯タグ・ラベル、防犯ゲート <input type="checkbox"/> 防犯ミラー <input type="checkbox"/> その他 ( _____ )
防犯対策	⑦ソフト面の対策 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 警備員の巡回 <input type="checkbox"/> 声掛けの教養 <input type="checkbox"/> 犯人情報の共有 <input type="checkbox"/> 店内表示板 <input type="checkbox"/> 店員を多く店内に配置する <input type="checkbox"/> 視認性を確保 <input type="checkbox"/> 警察官の店内巡回を要請している <input type="checkbox"/> 特段の措置なし <input type="checkbox"/> その他 ( _____ )
確 率	⑧在庫確認の頻度 (商品を目視しての確認) <input type="checkbox"/> 毎日 <input type="checkbox"/> 週数回 <input type="checkbox"/> 週一回 <input type="checkbox"/> 月数回 <input type="checkbox"/> 月一回 <input type="checkbox"/> 前記以外
警察への届出	⑨万引き被害の届出状況 (犯人が分からない場合も含む) <input type="checkbox"/> 1~2割 <input type="checkbox"/> 3~4割 <input type="checkbox"/> 5~6割 <input type="checkbox"/> 7~8割 <input type="checkbox"/> 9割以上 <input type="checkbox"/> 全件届出
警察への届出	⑩万引き犯人を捕まえたときの届出状況 <input type="checkbox"/> 1~2割 <input type="checkbox"/> 3~4割 <input type="checkbox"/> 5~6割 <input type="checkbox"/> 7~8割 <input type="checkbox"/> 9割以上 <input type="checkbox"/> 全件届出
届出ししない理由	⑪届出ししない理由 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 時間がかかる <input type="checkbox"/> 弁償してもらえばそれでよい <input type="checkbox"/> 処理に対応する店員の代替要員がない <input type="checkbox"/> 売上にひびく <input type="checkbox"/> その他 ( _____ )
通報基準	⑫万引き犯人を捕まえた時の警察への通報基準 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 被害金いくらの場合 ( <input type="checkbox"/> 千円~ <input type="checkbox"/> 5千円~ <input type="checkbox"/> 1万円~ <input type="checkbox"/> その他 [ _____ 円] ) <input type="checkbox"/> 常習者は通報する <input type="checkbox"/> 犯行を認めないときは通報する <input type="checkbox"/> 成人だけ通報する <input type="checkbox"/> 弁済不可能なら通報する <input type="checkbox"/> 特に通報基準はない <input type="checkbox"/> その他 ( _____ )
事件処理時間	⑬今までに万引き犯人を警察に通報した場合の事件処理平均時間 <input type="checkbox"/> 1時間以内 <input type="checkbox"/> 2時間以内 <input type="checkbox"/> 3時間以内 <input type="checkbox"/> 4時間以内 <input type="checkbox"/> それ以上
事件処理時間	⑭万引き犯人を警察に通報した場合の事件処理許容時間 <input type="checkbox"/> 1時間以内 <input type="checkbox"/> 2時間以内 <input type="checkbox"/> 3時間以内 <input type="checkbox"/> 4時間以内 <input type="checkbox"/> 特に気にしない <input type="checkbox"/> その他 ( _____ )

守りたい笑顔の絆



愛知県警察

AICHI POLICE